日本語 DECprint プリンティング・サービス/VMS ソフトウェア・インストレーション・ガイド

AA-B681A-TE-JO

オペレーティング・システム:	日本語 VMS V5.3 以降
ソフトウェア・バージョン:	日本語 DECprint プリンティング・サービス/VMS V4.0

日本ディジタル イクイップメント株式会社

1991 年 **3** 月

本書の著作権は日本ディジタルイクイップメント株式会社 (日本 DEC) が保有しており，本書中の解説および図，表は日本 DEC の文書による許可なしに，その全体または一部を，いかなる場合にも再版あるいは複製することを禁じます。

また，本書に記載されている内容は，予告なく変更されることがありますので，あらかじめご承知おきください。万一，本書の記述に誤りがあった場合でも，日本 DEC は一切その責任を負いかねます。

本書で解説するソフトウェア (対象ソフトウェア) は，所定のライセンス契約が締結された場合に限り，その使用あるいは複製が許可されます。

日本 DEC は，日本 DEC または日本 DEC の指定する会社から納入された機器以外の機器で対象ソフトウェアを使用した場合，その性能あるいは信頼性について一切責任を負いかねます。

Copyright ©1991 Digital Equipment Corporation Japan

All Rights Reserved.
Printed in Japan

以下は米国 Digital Equipment Corporation の商標です。

ALL–IN–1	COMPACTape	DDIF
DEClaser	DECnet	DECprint
DECserver	LN03	LN03 Image
LN03 PLUS	LN03R	MicroVAX
PrintServer	PrintServer 20	PrintServer 40
PrintServer 40 Plus	Q-bus	ReGIS
ScriptPrinter	TK	UNIBUS
VAXBI	VAX	VAXcluster
VAXstation II	VAXstation II/GPX	
VT	VMS	digital™

以下は他社の商標です。

- CG Triumvirate は，米国 AGFA Compugraphic Division 社の商標です。
- ITC Souvenir は，米国 International Typeface 社の商標です。
- LaserJet は，米国 Hewlett-Packard 社の商標です。
- PCL は，米国 Hewlett-Packard 社の商標です。
- PostScript は，米国 Adobe Systems 社の商標です。
- Swiss は，米国 Bitstream 社の商標です。
- Tektronix は，米国 Tektronix 社の登録商標です。

目次

まえがき ix

1 概要

1.1 日本語 DECprint プリンティング・サービスから利用できるプリンタ 1–1
1.2 日本語 DECprint プリンティング・サービスの機能 1–2
1.2.1 日本語 PostrScript プリンタ，LN82R 1–3
1.2.2 DEClaser 2150/2250 プリンタ 1–4
1.2.3 PrintServer プリンタ 1–5
1.2.4 LN03 イメージ・プリンタ 1–6
1.2.5 ScriptPrinter プリンタ 1–8
1.3 印刷システムの互換性 1–9
1.3.1 VAX 日本語プリントサーバ クライアント・ソフトウェアのアップグレード 1–9
1.3.2 ScriptPrinter と LN03 イメージ・ソフトウェアのアップグレード 1–10
1.4 問題点の通知 1–10

2 インストレーションのための準備

2.1 必要なハードウェア 2–1
2.2 LN82R，DEClaser 2150/2250 と ScriptPrinter のために必要なハードウェア 2–2
2.3 PrintServer のために必要なハードウェア 2–2
2.4 LN03 イメージ・プリンタのために必要なハードウェア 2–2
2.5 必要なソフトウェア 2–3
2.6 日本語 DECprint プリンティング・サービスのソフトウェア・ディストリビューション・キット 2–3

3 ソフトウェアのインストール

3.1 VMSINSTAL の表記法 3–2
3.2 インストレーション・プロシージャ 3–3
3.2.1 リリース・ノート・オプションの選択 3–5
3.2.2 ファイルのパージ 3–6
3.2.3 LPS$LAYUP のための論理名定義の選択 3–6
3.2.4 ALL-IN-1 互換キットの選択 3–6
3.2.5 インストレーション検証プロシージャのためのチェック 3–7
3.2.6 インストレーション検証プロシージャ 3–8
3.3 日本語 DECprint プリンティング・サービス・プリント・システムの起動 3–9
3.4 プリンタ・ソフトウェアのアップグレード 3–10
3.5 プリンタとキューのテスト 3–11

4 インストレーション後の処理

4.1 シリアル・プリンタのインストール 4–1
4.1.1 ScriptPrinter の通信速度の変更 4–2
4.1.2 ボー・レートに関する制約事項 4–2
4.1.3 省略時の設定の変更 4–3
4.2 LN82R および DEClaser プリンタをインストールするための必要条件 . . . 4–4
4.3 PrintServer プリンタをインストールするための必要条件 4–5
4.3.1 PrintServer クライアント・システムでのインストール 4–5
4.3.1.1 CPS$STARTUP への PrintServer ノード名の登録 4–5
4.3.1.2 PrintServer ネットワーク・ノードの定義 4–5
4.3.1.3 既存の PrintServer クライアント・ソフトウェアからのアップデート 4–6
4.3.2 PrintServer サポーティング・ホストのリソース・ファイルの変更 4–7
4.4 LN03 イメージ・プリンタのインストール 4–8
4.5 プリンタ・パスワードの変更 4–9
4.6 プリンタ名の設定 4–9
4.7 プリンタ時間切れの設定 4–10
4.8 シリアル・プリンタのための DECserver 接続の確立 4–11
4.8.1 DECserver 接続 4–11
4.8.2 DECserver ポートの属性 4–12
4.8.3 LAT プロトコル・スタートアップ・ファイルと構成ファイルの変更 4–14
4.8.4 LAT グループ 4–15
4.9 ページ・カウンタの値の印刷 4–15

5　プリント・キューの初期化
5.1　プリント・キューのタイプ 5–1
5.2　システム・キュー・マネージャの起動 5–2
5.3　プリント・キューの定義 5–2
5.3.1　プリンタ・スタートアップ・コマンド・ファイルのコピー 5–2
5.3.2　プリンタ・スタートアップ・ファイルの編集 5–3
5.3.3　装置制御ライブラリ論理名の定義 5–4
5.3.3.1　ライブラリ・サーチ・リストの定義 5–5
5.3.3.2　カスタム装置制御モジュールの保存 5–6
5.4　実行キューの設定 5–6
5.4.1　パラメータ p2 に対する装置名の指定 5–7
5.4.2　実行キューの例 5–8
5.5　ジェネリック・キューの設定 5–10
5.6　キューの省略時のパラメータの定義 5–12
5.6.1　キューに対応づけられるパラメータの構文 5–13
5.6.2　キューに対応するパラメータ内の構文エラー 5–13
5.6.3　パラメータに対する省略時の設定の優先順位 5–14
5.7　キューに対する省略時の修飾子の変更 5–15
5.8　LPS$STARTUP.COM からの移行 5–16

A　インストレーション・セッションの例

B　スタートアップ・コマンド・ファイルの例

C　インストレーション検証からの出力

D　新しいファイルとライブラリ
D.1　新しいファイル D–1
D.2　装置制御ライブラリ D–3
D.3　PrintServer ソフトウェア・アップグレード・プロシージャのためのファイル D–5

E　システム・メッセージ

E.1　システム・メッセージの概要 E–1
E.1.1　メッセージの形式 E–2
E.1.2　重大度レベル E–2
E.2　メッセージの説明 E–2

索引

例

5–1　ライブラリ論理名定義 5–5
5–2　実行キューの設定 5–9
5–3　PrintServer 実行キューの設定 5–10
5–4　ジェネリック・キューの設定 5–11
A–1　インストレーションの例 A–1
B–1　プリンタ・スタートアップ・コマンド・ファイルの例 B–1
B–2　LPS$STARTUP.COM B–6
B–3　対応する CPS$STARUP.COM B–7

図

1–1　LN03 イメージ・プリンタ・ソフトウェア 1–7
C–1　IVP 出力のプリント・アウト —ANSI データ・ページ (1 ページ目) C–3
C–2　IVP 出力のプリント・アウト —ANSI データ・ページ (2 ページ目) C–4
C–3　IVP 出力のプリント・アウト —KANJI データ・ページ C–5
C–4　IVP 出力のプリント・アウト —KANJI78 データ・ページ (1 ページ目) C–6
C–5　IVP 出力のプリント・アウト —KANJI78 データ・ページ (2 ページ目) C–7
C–6　IVP 出力のプリント・アウト —LA_KANJI データ・ページ C–8
C–7　IVP 出力のプリント・アウト —ReGIS データ・ページ C–9
C–8　IVP 出力のプリント・アウト —ReGIS_KANJI データ・ページ C–10
C–9　IVP 出力のプリント・アウト —ReGIS_KANJI80 データ・ページ C–11
C–10 IVP 出力のプリント・アウト —TEK4014 データ・ページ C–12
C–11 IVP 出力のプリント・アウト —TEK_KANA データ・ページ C–13
C–12 IVP 出力のプリント・アウト —PostScript C–15
C–13 IVP 出力のプリント・アウト —HP PCL C–17

表

1 表記法 xiii
1–1 使用できるプリンタ 1–1
4–1 通信スイッチの省略時の設定 4–2
4–2 LN03 イメージ・プリンタで必要な SYSGEN パラメータの値 4–8
4–3 プリンタで必要とされる DECserver ポートの属性 4–12
4–4 DECserver ポート属性 4–13
5–1 実行キューのパラメータ値 5–7
5–2 ジェネリック・キューのパラメータ値 5–10
5–3 LPS$STARTUP.COM と CPS$STARTUP.COM の対応 5–16
D–1 新しいファイル D–1
D–2 削除できる PrintServer クライアント・ファイル D–5
D–3 削除できない PrintServer クライアント・ファイル D–6

まえがき

本書の対象

「日本語 DECprint プリンティング・サービス/VMS ソフトウェア・インストレーション・ガイド」は，日本語 DECprint プリンティング・サービス ソフトウェアのインストールとプリント・キューの定義および管理を担当するシステム管理者を対象にしています。

日本語 DECprint プリンティング・サービスをインストールするシステム管理者は，VMS DCL コマンドおよび「日本語 DECprint プリンティング・サービス/VMS システム・マネージャーズ・ガイド」に説明されている手続きとコマンドを十分理解しておく必要があります。

日本語 DECprint プリンティング・サービスをインストールする場合には，VMS ソフトウェアをインストールするために VMSINSTAL ユーティリティを十分理解しておかなければなりません。ネットワーク・プリンタをインストールする場合には，DECnet ネットワーク管理について，ある程度の知識が必要です。さらに，DECserver でシリアル・プリンタをインストールする場合には，DECserver ソフトウェア管理に関して，ある程度の知識が必要です。

注意　本書は，「DECprint Printing Services Software Installation Guide」を翻訳し，日本語 DECprint プリンティング・サービス独自の機能の解説を付け加えたものです。英文マニュアルにある DEClaser 2150/2250，ScriptPrinter，および LN03 イメージ・プリンタに関する記述は削除していませんが，これらに対応する日本語版製品は現時点では存在していません。それらの記述は無視してください。 ULTRIX 版 PrintServer クライアントおよび SoftFonts 製品についても，同様に日本語版は存在していません。

今後，サポートされるハードウェア/ソフトウェアの変更・追加に関しては，その時点での「ソフトウェア機能仕様書 (SPD)」および「リリース・ノート」を参照してください。

さらに，本書では，特別の指定のない限り，以下の製品名は対応する日本語製品名に読み換えることができます。

- PrintServer 40 → 日本語プリントサーバ 40(LPS40-AJ)
- PrintServer 40 Plus → 日本語プリントサーバ 40 プラス (LPS40-DJ)
- PrintServer 20 → 日本語プリントサーバ (LPS20-AJ)

本書の構成

本書は，以下のように構成されています。

- 第 1 章では，日本語 DECprint プリンティング・サービスがサポートするプリンタと各プリンタの機能を示す。
- 第 2 章では，日本語 DECprint プリンティング・サービスをインストールするために必要なハードウェアとソフトウェアを示す。VMSINSTAL ユーティリティを使用して日本語 DECprint プリンティング・サービスをインストールする場合には，その前にこの章を読んでおかなければならない。
- 第 3 章では，日本語 DECprint プリンティング・サービスをインストールするための手続きを説明する。プリンタ・システムを起動するための手続きと，プリンタをテストするための手続きについても説明する。
- 第 4 章では， VMSINSTAL を実行した後で実行しなければならないプロシージャについて説明する。これらのプロシージャは，特定のタイプのプリンタとプリンタ構成を設定するために使用する。この章は，新しい PostScript プリンタをインストールするのに役立つ。
- 第 5 章では，システムでプリント・キューを定義し，起動するプロシージャについて説明する。
- 付録 A では，インストレーション・プロシージャの例を示す。
- 付録 B では，プリンタ・スタートアップ・コマンド・ファイルの例を示す。
- 付録 C では，インストレーション検証プロシージャ (IVP) テスト・ファイルを示す。インストールした後プリント・システムをテストするために，これらのファイルを印刷できる。
- 付録 D では，インストレーション・プロシージャで作成されるファイルとライブラリを示す。
- 付録 E では，日本語 DECprint プリンティング・サービスをインストールするときに表示される可能性のあるエラー・メッセージと状態メッセージを示し，それらのメッセージに対する対応方法も説明する。

関連資料

以下の関連資料は，日本語 DECprint プリンティング・サービスに関連する文献です。

- 日本語 DECprint プリンティング・サービス/VMS システム・マネージャーズ・ガイド
- 日本語 DECprint プリンティング・サービス/VMS ユーザーズ・ガイド
- 日本語 DECprint プリンティング・サービス/VMS リリース・ノート
- VAX 日本語プリントサーバ サポーティング・ホスト インストレーション・ガイド
- Management Guide: VAX PrintServer Supporting Host
- User's Guide: PrintServer Client for ULTRIX
- Programmer's Supplement: PostScript Printers
- ページ記述言語 PostScript リファレンス・マニュアル
- 日本語 PostScript プリンタ LN82R ユーザーズ・ガイド
- PostScript Translators Reference Manual for ReGIS and Tektronix 4010/4014
- Digital ANSI-Compliant Printing Protocol Level 3 Programming Reference Manual
- Digital ANSI-Compliant Printing Protocol Level 3 Programming Supplement
- 日本語トランスレータ リファレンス・マニュアル
- VMS DCL Dictionary
- Introduction to VMS System Management
- Guide to VAX/VMS Software Installation
- VAX/VMS System Messages and Recovery Procedures Reference Manual
- VAX/VMS System Manager's Reference Manual
- Guide to Maintaining a VMS System
- VMS License Management Utility Manual
- DEClaser Printer PostScript Cartridge User's Guide
- DECserver 100 Terminal Server Operator's Guide
- DECserver 200 Management Guide

- DECserver 500 Management Guide
- Guide to Terminal Server Manager
- VMS LAT Control Program (LATCP) Manual

プリンタ・ハードウェアについての操作説明書は，それぞれのハードウェア製品に添付されるマニュアルを参照してください。

「ページ記述言語 PostScript リファレンス・マニュアル」は，株式会社アスキーより出版されています。

表記法

表 1 は，本書で使用している表記法を示しています。

表 1　　表記法

表記法	意味
英大文字	英大文字は， DCL コマンド，修飾子，パラメータを示す。
[ ]	大括弧は，囲まれている項目を省略できることを示す。
Ctrl/*x*	制御キー・シーケンスを示す。 CTRL キーを押した状態で，*x*によって表現される別のキーを同時に押さなければならない。
Return	このシンボルは， Return キーを押さなければならないとを示す。

1

概要

本書では，DEC 社の PostScript プリンタの概要を説明し，日本語 DECprint プリンティング・サービスのソフトウェア機能についても説明します。説明する項目は，以下のとおりです。

- 日本語 DECprint プリンティング・サービスから利用できるプリンタ，第 1.1 節
- 日本語 DECprint プリンティング・サービスの機能，第 1.2 節
- 日本語 DECprint プリンティング・サービスのインストールと既存のプリンタ・システム・ソフトウェアのインストールの相違点，第 1.3 節

1.1 日本語 DECprint プリンティング・サービスから利用できるプリンタ

日本語 DECprint プリンティング・サービスは，表 1–1 に示したプリンタを使用して印刷することができます。

表 1–1　使用できるプリンタ

製品名	プリンタ・モデル番号	最大印刷速度 (ページ/分)	両面印刷	通信インターフェイス	日本語対応[2]
LN82R	LN82R-AJ	5	片面	シリアル	○
ScriptPrinter	LN03R	8	片面	シリアル	×
LN03 Image	LN03Q	8	片面	ビデオ	×

[2]日本語対応に関しては，本書のリリース時点でのものである。

(次ページに続く)

表 1–1 (続き)　使用できるプリンタ

製品名	プリンタ・モデル番号	最大印刷速度 (ページ/分)	両面印刷	通信インターフェイス	日本語対応[2]
DEClaser 2150[1]	LN05R	8	片面	シリアル	×
DEClaser 2250[1]	LN06R	8	両面	シリアル	×
PrintServer 20	LPS20-AJ	20	両面	Ethernet	○
PrintServer 40	LPS40-AJ	40	片面	Ethernet	○
PrintServer 40 Plus	LPS40-DJ	40	片面	Ethernet	○

[1]DEClaser 2150 は，PostScript アップグレード・カートリッジを装備した DEClaser 2100 プリンタである。
DEClaser 2250 は，PostScript アップグレード・カートリッジを装備した DEClaser 2200 プリンタである。

[2]日本語対応に関しては，本書のリリース時点でのものである。

1.2　日本語 DECprint プリンティング・サービスの機能

DEC 社の PostScript プリンタは高品質のプリントアウトを作成するために，レーザや LED などのページ・プリンタ技術を利用して PostScript 印刷機能をサポートします。 DEC 社の PostScript プリンタは日本語 DECprint プリンティング・サービスを通じて， DDIF(Digital Data Interchange Format) 2 値イメージ・ファイル， Adobe 社の PostScript ページ記述言語， ANSI/sixel テキスト・ファイル，漢字テキスト・ファイル， ReGIS， Tektronix 4010/4014，および Hewlett-Packard 社の PCL データ構文などを印刷できます。トランスレータ・ソフトウェアがこれらのファイルを PostScript コードに変換します。

日本語 DECprint プリンティング・サービスを使用する場合，プリント・ジョブは PRINT コマンド行からキューに登録でき，また，アプリケーション・プログラム内で VMS システム・サービス$SNDJBC を使用することにより，プリント・ジョブをキューに登録し，ユーザ・ファイルを印刷できます。 PRINT コマンド行は，標準的な VMS DCL PRINT コマンドと適切な修飾子で構成されます。印刷機能を拡張するために，/PARAMETERS 修飾子に対して複数のパラメータが定義されています。また，/NOTIFY 修飾子を使用すれば，プリンタの状態をユーザに通知できます。

プリント・ジョブにセットアップ・モジュールを挿入することにより，機能を拡張できます。 PostScript セットアップ・モジュールを使用すれば，PostScript 環境を再定義できます。 ANSI セットアップ・モジュールは ANSI エスケープ・シーケンスを送信でき， ANSI プリント・ジョブに影響を与えます。詳しい説明は，「日本語 DECprint プリンティング・サービス/VMS システム・マネージャーズ・ガイド」を参照してください。

日本語 DECprint プリンティング・サービスは，LN03S-JA(漢字 LN03), および DEClaser 2300(漢字 LN05) プリンタの印刷機能をエミュレートします。このため，漢字 LN03 または漢字 LN05 プリンタを使用しているユーザはプリンタを PostScript プリンタに交換またはアップグレードでき，そのとき，プリント機能が犠牲になることはありません。また，英語版 LN03 のアップグレードに役立つように，DEC 社は PostScript プリンタでフォント・カートリッジをエミュレートするためのソフト・フォント製品を提供しています。 PRINT コマンドで FONTS_USED パラメータを使用する方法については，「日本語 DECprint プリンティング・サービス/VMS ユーザーズ・ガイド」を参照してください。

この後の節では，日本語 DECprint プリンティング・サービスでサポートされる各プリンタ・タイプと特殊な機能について説明します。

1.2.1 日本語 PostrScript プリンタ，LN82R

LN82R

LN82R は，日本語 PostScript 印刷のためのデスクトップ・プリンタです。シリアル・インターフェイスで，システムとの直接のハードウェア接続，あるいは Ethernet の DECserver 装置への接続ができます。主な特徴は，以下のとおりです。

- 解像度 400 ドット/インチ
- 手差し給紙機能
- 2 つの給紙トレイ (1 つはオプション)

機能の使用方法については，「日本語 DECprint プリンティング・サービス/VMS ユーザーズ・ガイド」を参照してください。

LN82R のためのソフトウェアのインストール

LN82R プリンタを使用するために，日本語 DECprint プリンティング・サービスをインストールする場合には，本書の以下の節を参照してください。

1. 新しい LN82R プリンタを準備する場合には，第 2 章の指示にしたがってください。 LN82R で必要なハードウェアは，第 2.2 節で示されています。
2. 次に，VMSINSTAL を使用して，日本語 DECprint プリンティング・サービスをインストールします。第 3 章の説明にしたがってください。
3. ネットワーク・アクセスのために DECserver ポートに接続されている LN82R を使用する場合には，第 4.8 節の指示にしたがってください。
4. プリント・キューを作成および変更し，プリント・ソフトウェアを設定する場合には，第 5 章を参照してください。

1.2.2　DEClaser 2150/2250 プリンタ

DEClaser プリンタ

DEClaser 2150/2250 プリンタは，欧文 PostScript 印刷のためのデスクトップ・プリンタです。

- DEClaser 2150 プリンタは基本構成の DEClaser 2100 プリンタの前面のカートリッジ・スロットに PostScript カートリッジをインストールしたものです。
- DEClaser 2250 は基本構成の DEClaser 2200 プリンタのカートリッジ・スロットに PostScript カートリッジをインストールしたプリンタです。

これらの 2 つのプリンタは，手差しで用紙を送る機能と，エンベロープ・カセットを使用してエンベロープ (封筒) を印刷する機能を備えています。これらのプリンタは ScriptPrinter プリンタと互換性があります。したがって，システムとの直接ハードウェア接続あるいは Ethernet の DECserver 装置への接続に適したシリアル・インターフェイスを備えています。

DEClaser 2250 プリンタは，DEClaser 2100 プリンタと比較すると，以下の追加機能を備えています。

- 両面印刷機能
- オプションとしてのパワー・エンベロープ・フィーダ
- 2 つの給紙トレイ・スロット

これらの機能の使用方法については，「日本語 DECprint プリンティング・サービス/VMS ユーザーズ・ガイド」を参照してください。

DEClaser 2100/2200 プリンタから，DEClaser 2150/2250 プリンタへのアップグレードに関しては，「DEClaser Printer PostScript Cartridge User's Guide」を参照してください。

DEClaser プリンタのためのソフトウェアのインストール

DEClaser 2150 または DEClaser 2250 プリンタを使用するために，日本語 DECprint プリンティング・サービスをインストールする場合には，本書の以下の節を参照してください。

1　新しい DEClaser プリンタを準備する場合には，第 2 章の指示にしたがってください。 DEClaser プリンタで必要なハードウェアは第 2.2 節に示されています。

2　次に，VMSINSTAL を使用して日本語 DECprint プリンティング・サービスをインストールします。第 3 章の説明にしたがってください。

3　ネットワーク・アクセスのために DECserver ポートに接続されている DEClaser プリンタを使用する場合には，第 4.8 節の指示にしたがってください。

4　プリント・キューを作成および変更し，プリント・ソフトウェアを設定する場合には，第 5 章を参照してください。

1.2.3　PrintServer プリンタ

PrintServer プリンタ

PrintServer 20，PrintServer 40，PrintServer 40 Plus プリンタは高速ネットワーク・プリンタであり，複数の給紙トレイと排紙トレイを備えています。 PrintServer 20 プリンタは両面印刷機能をサポートします。 PrintServer 40 と PrintServer 40 Plus プリンタは片面印刷のみをサポートします。

各 PrintServer プリンタは Ethernet ネットワークのノードであり，ネットワーク内の他のノードと通信します。日本語 DECprint プリンティング・サービスを使用して PrintServer プリンタをアクセスするノードを‘‘PrintServer クライアント’’と呼びます。 DECprint プリンティング・サービスを実行するクライアント・ノードは，日本語 DECprint プリンティング・サービスをアクセスするために DECnet ソフトウェアも実行していなければなりません。

サポーティング・ホストとは，PrintServer プリンタのためにブート・サービスとプリンタ管理サービスを実行するネットワーク・ノードです。サポーティング・ホストとして機能するノードは同時に PrintServer クライアントであってもかまいませんが，これは必ずしも必要な条件ではありません。 PrintServer サポーティング・ホスト・ソフトウェアのインストールについての説明は，「VAX 日本語プリントサーバ サポーティング・ホスト インストレーション・ガイド」を参照してください。 PrintServer サポーティング・ホストの管理についての説明は，「Management Guide: VAX PrintServer Supporting Host」を参照してください。

PrintServer プリンタのためのソフトウェアのインストール

ネットワークのクライアント・システムに，日本語 DECprint プリンティング・サービスをインストールする場合には，以下の節に示す手続きにしたがってください。

1　第 2 章の説明にしたがって，ソフトウェア・インストレーションの準備をします。 PrintServer プリンタのために必要なハードウェアについては，第 2.3 節に説明されています。

2　VMSINSTAL を使用して日本語 DECprint プリンティング・サービスをインストールします。第 3 章の説明にしたがってください。

3　日本語 DECprint プリンティング・サービスのキューを起動する前に，サポーティング・ホスト・ソフトウェアがインストールされているかどうかと，サポーティング・ホスト・ノードがブートされているかどうかを確認してください (「VAX 日本語プリントサーバ サポーティング・ホスト インストレーション・ガイド」を参照)。また，PrintServer ノード名とアドレスを DECnet ノード・データベースに入力しなければなりません。第 4.3 節を参照してください。

4 PrintServer プリンタをサポートするために日本語 DECprint プリンティング・サービスをインストールする場合には，第 4.3 節で説明する手続きにしたがってください。

5 第 5 章の説明にしたがって，プリント・キューを作成または変更し，クライアント・システムでプリンタ環境を設定してください。

注意 既存の PrintServer クライアント・ソフトウェアを使用している環境で，日本語 DECprint プリンティング・サービスをインストールする場合には，既存のキューが使用中であってもかまいませんが，インストール後にプリント・キューの設定をするときに注意が必要です。詳しくは第 4.3 節と第 5.8 節を参照してください。

1.2.4 LN03 イメージ・プリンタ

LN03 イメージ・プリンタ

LN03 イメージ・プリンタはイメージ印刷のためのデスクトップ・プリンタです。 LN03 イメージ・プリンタは，イメージを印刷するために非常に高速のインターフェイスを通じてビット・マップを受信します。このプリンタは，日本語 DECprint プリンティング・サービスがサポートする他のプリンタよりはるかに速い速度でイメージ・ファイルを印刷できます。 PostScript インタプリタが， LN03 イメージ・プリンタでデータを印刷するために， PostScript コードからビットマップ情報を作成します。

LN03 イメージ・プリンタ・ソフトウェアにファイルを印刷するには，以下のソフトウェアが必要です。

- LN03 イメージ・サービス・ソフトウェア
- 日本語 DECprint プリンティング・サービス

図 1–1 は， LN03 イメージ・プリンタで各タイプのデータ構文のファイルを印刷するための動作を示しています。

図 1–1　　LN03 イメージ・プリンタ・ソフトウェア

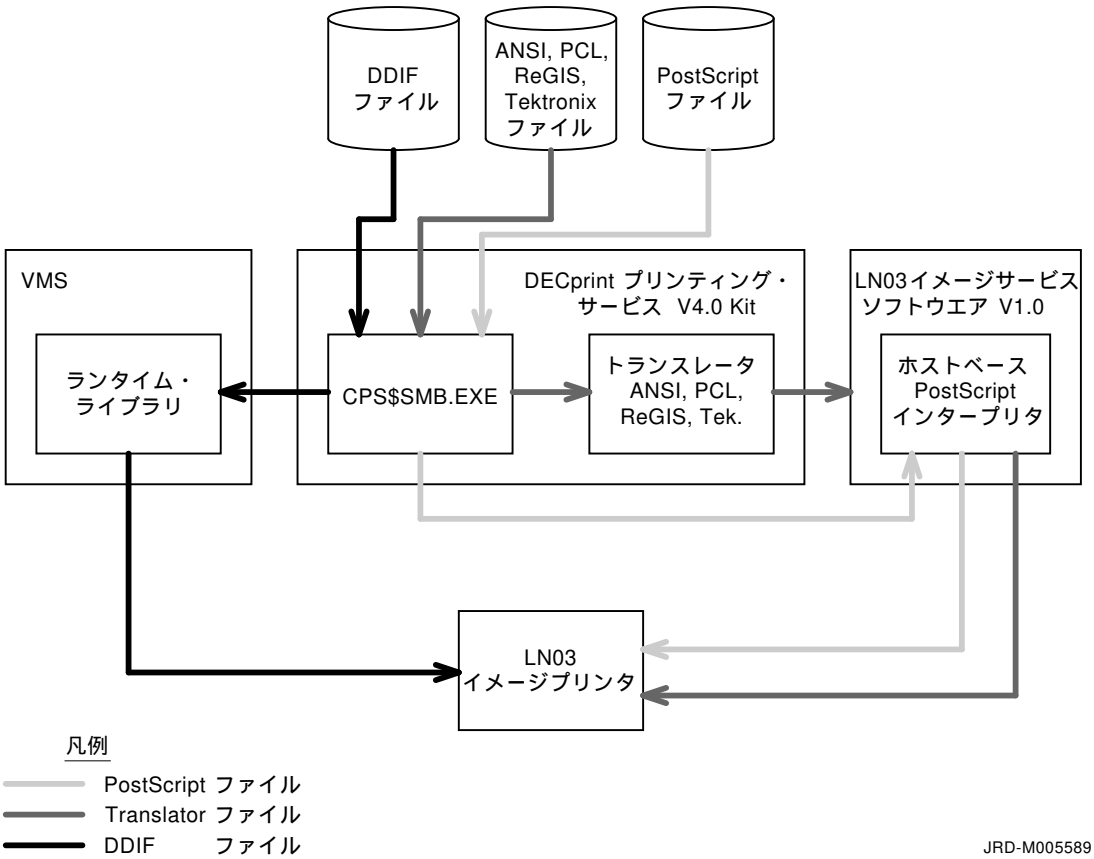


図 1–1 に示すように，以下のタイプのファイル・データ構文は， 1 つ以上のソフトウェア構成要素によって処理する必要があります。

- PostScript ファイル
- Digital Data Interchange Format(DDIF) の 2 値イメージ・ファイル
- トランスレータを必要とするファイル (ANSI, ReGIS, Tektronix 4010/4014, HP PCL データ構文)

LN03 イメージ・プリンタのためのソフトウェアのインストール

LN03 イメージ・プリンタで印刷するために日本語 DECprint プリンティング・サービスをインストールする場合には，以下の指示にしたがってください。

1 日本語 DECprint プリンティング・サービスをインストールする前に， LN03 イメージ・サポート・ソフトウェアをインストールします。

2 第 2 章の説明にしたがってシステムを準備します。 LN03 イメージ・プリンタのために必要なハードウェアは第 2.4 節に説明されています。

3 VMSINSTAL を使用して，日本語 DECprint プリンティング・サービスをインストールします。第 3 章の説明にしたがってください。

4 LN03 イメージ・プリンタを使用するために日本語 DECprint プリンティング・サービスをインストールする方法については，第 4.4 節に説明されています。

特定のシステム・パラメータを調整しなければなりません。変更しなければならない SYSGEN パラメータとその望ましい値は表 4–2 に示されています。これらのパラメータを変更する場合には，システムのリブートが必要です。

5 キューを起動する前に，第 4 章の説明にしたがって，プリント・キューを作成または変更し，印刷システムを設定してください。

1.2.5 ScriptPrinter プリンタ

ScriptPrinter プリンタ

ScriptPrinter プリンタは，欧文 PostScript 印刷のためのデスクトップ・プリンタです。このプリンタは VMS システムのためのローカル・プリンタとして機能します。 ScriptPrinter プリンタは DECsever ポートまたは直接のシリアル・ライン・インターフェイスによってホスト・システムに接続されます。

ScriptPrinter プリンタのためのソフトウェアのインストール

新しい ScriptPrinter プリンタをインストールする場合には，以下の節に示されているインストレーション・プロシージャにしたがってください。

1 第 2 章のシリアル・プリンタに関する説明を参照し，ソフトウェア・インストレーションの準備をします。特に，第 2.2 節を参照してください。

2 VMSINSTAL を使用して日本語 DECprint プリンティング・サービスをインストールします。第 3 章の説明にしたがってください。

3 ScriptPrinter プリンタを使用するために日本語 DECprint プリンティング・サービスをインストールする方法は，第 4.1 節に説明されています。ネットワーク・アクセスのために DECserver ポートに

ScriptPrinter ポートをインストールする場合には，第 4.8 節を参照してください。

4 第 4 章の説明にしたがって，プリント・キューを初期化または変更し，印刷システムを設定してください。

1.3 印刷システムの互換性

日本語 DECprint プリンティング・サービス・ソフトウェアは， VAX 日本語プリントサーバ クライアント・ソフトウェア V3.2 および VAX ScriptPrinter ソフトウェア V2.1 のソフトウェア製品に代わるものです。

1.3.1 VAX 日本語プリントサーバ クライアント・ソフトウェアのアップグレード

PrintServer プリンタ

VAX 日本語プリントサーバ クライアントに日本語 DECprint プリンティング・サービスをインストールする場合には， VMSINSTAL を実行し，プリンタ・スタートアップ・ファイルを作成し，システム・スタートアップ・ファイルを編集しなければなりません。さらに，日本語 DECprint プリンティング・サービス V4.0 を使用するには，サポーティング・ホスト・システムで VAX 日本語プリントサーバ サポーティング・ホスト・ソフトウェア V3.1 またはそれ以降のバージョンを実行していなければなりません。

VAX 日本語プリントサーバ クライアント・ソフトウェアからアップグレードする場合には，以前の LPS$STARTUP.COM ファイルが CPS$STARTUP.COM ファイルに置き替えられることに注意してください。 CPS$STARTUP.COM を使用して，キュー構造を定義できます。 CPS$STARTUP.COM で定義されているキューに PrintServer プリンタのノード名を追加することができます。

日本語 DECprint プリンティング・サービス・ソフトウェア・キットには，ジェネリック・キューと実行キューを指定するためのテンプレート・ファイル (CPS$STARTUP.TEMPLATE) が含まれています。作成したスタートアップ・ファイルは，その後のソフトウェア・インストレーションの間保存されます。第 4 章の説明を参照してください。

以前の LPS$STARTUP.COM ファイルは日本語 DECprint プリンティング・サービス V4.0 と互換性がありません。日本語 DECprint プリンティング・サービスで不必要なファイルを削除する場合には，CPS$DELETE-LPS-CLIENT.COM を使用することができます。詳しい説明は，第 4.3.1.3 節を参照してください。

1.3.2 ScriptPrinter と LN03 イメージ・ソフトウェアのアップグレード

ScriptPrinter および *LN03* イメージ・プリンタ

ScriptPrinter ソフトウェア V2.1 を現在使用しているシステムでは，第 3 章の指示にしたがって， VMSINSTAL を使用し，プリント・キューを停止した後，再度スタートさせるだけで，日本語 DECprint プリンティング・サービス V4.0 にアップグレードできます。

ScriptPrinter V2.1 のスタートアップ・コマンド・ファイルは日本語 DECprint プリンティング・サービス・ソフトウェアと互換性があります。プリンタまたはキューを変更する場合を除き，CPS$STARTUP.COM を変更する必要はありません。既存の ScriptPrinter ソフトウェアを使用しているシステムの場合，新しいソフトウェアにアップグレードをしても，インストレーションやスタートアップの変更を特に考慮する必要はありません。

ScriptPrinter ソフトウェアの V2.1 以前のバージョン (V1.0, V1.1, または V2.0) を現在使用しているシステムでは，第 1.2.5 節で示されているとおり，インストレーションを完全に行わなければなりません。

1.4 問題点の通知

本ソフトウェアについては，日本 DEC 所定のソフトウェア保証基準に定められた保証が提供されますので，その内容にしたがった処置を取ってください。

なお，ご不明な点につきましては，日本 DEC の各支店/営業所にお問い合わせください。

2

インストレーションのための準備

本章では，ホスト・システムに日本語 DECprint プリンティング・サービスをインストールするために必要なハードウェア環境とソフトウェアについて説明します。本章で説明する項目は，以下のとおりです。

- 必要なハードウェア，第 2.1 節
- LN82R， ScriptPrinter， DEClaser プリンタのために必要なハードウェア，第 2.2 節
- PrintServer プリンタのために必要なハードウェア，第 2.3 節
- LN03 イメージ・プリンタのために必要なハードウェア，第 2.4 節
- 日本語 DECprint プリンティング・サービスをインストールするのに必要なソフトウェア，第 2.5 節
- ソフトウェア・ディストリビューション・キット，第 2.6 節

2.1 必要なハードウェア

DEC 社の PostScript プリンタを使用するために日本語 DECprint プリンティング・サービスを利用するシステムでは，一般に以下のハードウェアが必要です。

- ディストリビューション・メディアを格納するための適切な入力デバイス

  日本語 DECprint プリンティング・サービスは以下の形式で配布されます。

  - 1600 BPI の磁気テープ
  - TK50 カートリッジ
- プリンタ構成にとって適切な通信ハードウェア

- 日本語 DECprint プリンティング・サービスのインストールと実行のための適切なディスク容量

さらに，日本語 DECprint プリンティング・サービスがサポートする各タイプのプリンタは，この後の各節で説明するように，それぞれ特殊なハードウェアを必要とします。

2.2 LN82R，DEClaser 2150/2250 と ScriptPrinter のために必要なハードウェア

DEClaser，*ScriptPrinter*，*LN82R*

LN82R プリンタ，DEClaser プリンタと ScriptPrinter プリンタはシリアル・プリンタであり，DECsever ポートによってホスト・システムに接続されるか，または直接のシリアル・ライン・インターフェイスによってホスト・システムに接続されます。シリアル・プリンタのための DECserver 接続の構成については，第 4.8 節を参照してください。

注意 CSA0(VAXstation II および VAXstation II/GPX システムのプリンタ・ポート 0) は，シリアル・プリンタのためのインターフェイスとしてはサポートされません。また，DEClaser および LN82R プリンタに対して，RS232C インターフェイスを使用する場合には，H8571A アダプタが必要です (該当するプリンタのハードウェアの解説書を参照してください)。

2.3 PrintServer のために必要なハードウェア

PrintServer のみ

PrintServer プリンタでファイルを印刷するために，クライアント・システムで日本語 DECprint プリンティング・サービスを実行する場合には，その前にプリントサーバ・ハードウェアを Ethernet に接続しておかなければなりません。

2.4 LN03 イメージ・プリンタのために必要なハードウェア

LN03 イメージ・プリンタのみ

LN03 イメージ・プリンタは，以下の Q-bus インターフェイスのいずれかを必要とします。

- LNV21-AA デュアル・サイズ・コントローラ (BA123/BA23 キャビネットの場合)。 BC27H-15 ケーブルを含む。
- LNV21-SA または LNV21-SF クォド・サイズ・コントローラ (BA213 キャビネットの場合)。 BC27P–15 ケーブルを含む。

2.5 必要なソフトウェア

日本語 DECprint プリンティング・サービスをインストールするには，ホスト・システムで VMS V5.3 またはそれ以降のバージョンを実行していなければなりません。また, 以下の VMS テーラリング・クラスは必須です。

- VMS Required Saveset
- Secure User's Environment

DECserver 装置に接続されたシリアル・プリンタ

DECserver 装置でシリアル・プリンタを使用する場合には，プリント・キューを起動する前に， LAT ソフトウェアを動作させておかなければなりません。また，このためには， VMS テーラリング・クラス， Utilities が必要です。

PrintServer

PrintServer プリンタの場合には，プリント・キューを起動する前に， PrintServer プリンタにソフトウェアがインストールされ，ブートされていなければなりません。また，DECnet–VAXソフトウェア (V5.3 またはそれ以降) をクライアント・システムで動作させておかなければなりません。そのためには， VMS テーラリング・クラス， Network Support, がなければなりません。

LN03 イメージ・プリンタ

LN03 イメージ・プリンタの場合には，第 4.4 節の説明にしたがってシステム・パラメータを設定し，プリント・キューを起動する前に， LN03 イメージ・サポート・ソフトウェア・キットをインストールしておかなければなりません。 VMS テーラリング・クラス， DECwindows Application Programming が必要です。

2.6 日本語 DECprint プリンティング・サービスのソフトウェア・ディストリビューション・キット

日本語 DECprint プリンティング・サービス・ソフトウェア・ディストリビューション・キットの内容をキット・リストと比較してください。ディストリビューション・キットには以下のものが含まれていなければなりません。

- 磁気テープまたは TK50 カートリッジに収められた日本語 DECprint プリンティング・サービス・ソフトウェア
- 日本語 DECprint プリンティング・サービスのドキュメンテーション・キット

3

ソフトウェアのインストール

本章では，VMSINSTAL ユーティリティを使用して，VAX ベースの VMS システムに日本語 DECprint プリンティング・サービスをインストールする方法について説明します。 VMSINSTAL ユーティリティの使い方をよく理解していない場合には，「Guide to VAX/VMS Software Installation」を参照してください。

本章では，以下の操作方法について説明します。

- VMSINSTAL ユーティリティで使用する表記法，第 3.1 節
- 日本語 DECprint プリンティング・サービスをインストールするための VMSINSTAL の実行，第 3.2 節
- 新しいプリンタ・ソフトウェアを起動するための手続き，第 3.3 節
- 日本語 DECprint プリンティング・サービスをアップグレードするための手続き，第 3.4 節
- 日本語 DECprint プリンティング・サービスのプリンタおよびキューのテスト，第 3.5 節

実際にインストレーション・プロシージャを開始する前に，以下の操作を実行してください。

1 インストレーション・プロシージャの説明をよく読み，ソフトウェアのインストールとプリント・キューの定義で指定しなければならない情報を準備しておきます。

2 インストレーション・プロシージャでは，装置制御ライブラリ CPS$DEVCTL.TLB が置換されます。 ScriptPrinter ソフトウェアの以前のバージョンを使用しており，CPS$DEVCTL.TLB ライブラリを変更している場合には，CPS$DEVCTL.TLB からシステム固有の装置制御ライブラリを取り出し，インストレーション・プロシージャの影響を受けないディレクトリにそれらのモジュールをコピーしてください。システム固有の装置制御モジュールを使用する場合には，独

自の装置制御ライブラリを作成しなければなりません (詳しい説明は第 5.3.3.2 節を参照してください)。

3 ソフトウェア・ディストリビューション・メディアのバックアップ・コピーを作成します。

4 適切な入力装置にディストリビューション・メディアをマウントします。

5 十分なディスク空間が残されているかどうかを確認してください。

- インストレーションのために必要な空間: 6600 ブロック (3.2M バイト)
- 永久的に必要な記憶空間: ALL-IN-1 互換キットを使用しない場合， 4400 ブロック (2.2M バイト)
- 永久的に必要な記憶空間: ALL-IN-1 互換キットを使用する場合， 6400 ブロック (3.2M バイト)

6 システム管理者のアカウントにログインします。

7 本ソフトウェアのインストレーションに要する時間は媒体とシステムの負荷によって異なりますが，約 30 分です。

3.1 VMSINSTAL の表記法

VMSINSTAL プロシージャは対話型ユーティリティです。システムは情報を要求するプロンプトを表示し，インストラクション，ステートメント，問い合わせ，メッセージなどを応答します。

インストラクションは，プロシージャ全体を通じてユーザに適切な指示を与え，その後の質問に関連する情報を与えます。メッセージは，インストレーション・プロシージャの状態と進捗状況を示します。

問い合わせには先頭にアスタリスク (*) が付けられ，その後に大括弧 ([ ]) で囲んだ省略時の応答が示されます。応答を入力した後，Return を押してください。省略時の応答をそのまま使用する場合には，Return を単独で押します。応答方法がわからない場合には，疑問符 (?) を入力してください。 VMSINSTAL は応答方法の説明を表示し，プロンプトを繰り返し表示します。

VMSINSTAL のメッセージは，「Guide to VAX/VMS Software Installation」に説明されています。日本語 DECprint プリンティング・サービスのインストレーション固有のメッセージは，付録 E に示されています。

3.2 インストレーション・プロシージャ

注意 この節には，インストレーション・プロシージャで画面に表示されるすべてのテキストが示されているわけではありません。付録 A に VMSINSTAL プロシージャの例が示されていますので，その例を参照してください。

以下の方法で， VMSINSTAL プロシージャを起動します。

```
$  @SYS$UPDATE:VMSINSTAL CPSJ040 device-id [OPTIONS N]
```

このコマンド行には，以下の情報を指定してください。

CPSJ040	日本語 DECprint プリンティング・サービスのセーブセットを指定する。
device-id	ディストリビューション・メディアがマウントされる装置。これはテープ装置またはディスク装置である。
[OPTIONS N]	リリース・ノート・オプションを起動する。このようにすれば，リリース・ノートのコピーを表示したり，保存できる。コマンド行のこの部分は省略可能である。このオプションを省略した場合には， VMSINSTAL との対話からリリース・ノートに関する質問 (第 3.2.1 節) が省略され，リリース・ノートは SYS$HELP に自動的にコピーされる。

次に， VMSINSTAL は VMSINSTAL が起動されたことを示すメッセージ，日付と時刻，ヘルプが必要なときはいつでも疑問符 (?) を入力できるという文章，および必要に応じて 1 つ以上の警告メッセージを表示します。この後で，インストレーションを継続するか，警告メッセージの原因となった条件を修正するために，インストレーション操作を終了することができます。

現在， SYSTEM アカウントにログインしていない場合には，以下の警告メッセージが表示されます。

```
VMSINSTAL-W-NOTSYSTEM, You are not logged in to the SYSTEM account.
```

DECnet ソフトウェアを実行している場合には，以下の警告メッセージが表示されます。

```
%VMSINSTAL-W-DECNET, Your DECnet network is up and running.
```

VMSINSTAL を実行しているときに，他のプロセスがシステムで実行されている場合には，以下のような警告メッセージが表示されます。

```
%VMSINSTAL-W-ACTIVE, The following processes are still active:
 process-name
```

これらのメッセージが表示された場合には，必要に応じて以下の質問に応答することにより， VMSINSTAL を終了し，現在の状況を修正することができます。

```
* Do you want to continue anyway [NO]?
```

操作を継続する場合には，YES と入力してください。ソフトウェア・インストレーション・プロシージャを実行している間，DECnet ソフトウェアを停止する必要はありません。

NO と応答した場合には，VMSINSTAL プロシージャはただちに終了します。疑問符 (?) を入力した場合には，以下の説明が表示されます。

```
The above conditions may cause VMSINSTAL to function improperly.
In particular, problems may occur with file ownership if you are not
logged into the SYSTEM account.
```

その後，以下の質問が表示されます。

```
* Are you satisfied with the backup of your system disk [YES]?
```

操作を継続する場合には，YES と入力してください。バックアップを作成する場合には，NO と入力して VMSINSTAL を終了し，バックアップ作成後に VMSINSTAL を再度実行します。

この質問に対する応答として疑問符 (?) を入力した場合には，VMSINSTAL は以下の説明を表示します。

```
VMSINSTAL attempts to ensure that a power failure or system crash
will not corrupt your system disk.  However, for absolute safety we
recommend that you back it up before installing new products.  Please
see the documentation for more information on crashes during
installation.
```

ディストリビューション・メディアがマウント可能な場合には，VMSINSTAL は，ディストリビューション・メディアがマウントされているかどうかを確認する質問を表示します。

```
 Please mount the first volume of the set on device-id:
* Are you ready?
```

ディストリビューション・メディアがマウントされている場合には，YES と入力してください。

VMSINSTAL は，インストールする製品の名前とバージョン，インストレーションの開始時刻，ディストリビューション・メディアの各セーブセットのリストアの確認メッセージ表示します。

```
The following products will be processed:

CPSJ V4.0

 Beginning installation of CPSJ V4.0 at 13:45

%VMSINSTAL-I-RESTORE, Restoring product saveset A
```

3.2.1　リリース・ノート・オプションの選択

VMSINSTAL コマンド行に OPTIONS N を指定した場合には，以下のリリース・ノート・オプションが表示されます。

```
   Release Notes Options:
          (1) Display release notes
          (2) Print release notes
          (3) Both of above
          (4) None of the above
```

選択するオプションの番号を入力してください。

- 1 を選択した場合には，リリース・ノートはターミナルに表示され，SYS$HELP 内の CPSJ040.RELEASE_NOTES にコピーされます。
- 2 を選択した場合には，リリース・ノートは印刷のために SYS$PRINT に登録され，SYS$HELP 内の CPSJ040.RELEASE_NOTES にコピーされます。
- 3 を選択した場合には，リリース・ノートはターミナルに表示され，SYS$PRINT に登録され，SYS$HELP 内の CPSJ040.RELEASE_NOTES にコピーされます。
- 4 を選択した場合には，リリース・ノートは印刷されず，表示もされず，SYS$HELP にもコピーされません。

オプションを選択した後，インストレーションを継続するかどうかという質問が表示されます。

```
Do you want to continue the installation [NO]?
```

この問い合せに対して，"NO"と入力すると，インストレーションは中止されます。

注意　インストレーションを途中で強制終了するときは，CTRL/Y を押します。

CTRL/Y を押すと，インストレーション・プロシージャはクリーンアップ・ルーチンを実行します。クリーンアップ・ルーチンは，クリーン・アップを終了するまで CTRL/Y を押さないように指示してきますが，この指示を無視して CTRL/Y を押し続けると，その時点までに行なわれたインストレーションが完全に消去されず，マシンが正常な状態でなくなることがあります。

VMSINSTAL コマンド行に OPTIONS N を指定しなかった場合には，リリース・ノート・オプションは表示されず，代わりに以下のメッセージが表示されます。

```
%VMSINSTAL-I-RELMOVED , The product's release notes have been
successfully moved to SYS$HELP
```

3.2.2 ファイルのパージ

VMSINSTAL は，置換するファイルを消去するかどうかを質問します。

```
* Do you want to purge files replaced by this installation [YES]?
```

ディスク空間を節約するためにファイルをパージする場合には， YES と入力してください。この後も以前のファイルを使用する可能性がある場合には， NO と入力してください。

この質問に対する応答として疑問符 (?) を入力した場合には，以下のメッセージが表示されます。

```
During this installation, new files will be provided to replace
existing versions.  You may purge these older versions to save disk
space, or keep them if you feel they may be of use.  Purging is
recommended.
```

VMSINSTAL は，インストレーションのために必要なディスク容量が十分残されているかどうかを確認します。容量が不足している場合には，必要なディスク容量とインストレーションが強制終了されたことを示すメッセージが表示されます。容量が十分である場合には，インストレーション操作が継続されます。

3.2.3 LPS$LAYUP のための論理名定義の選択

次に，インストレーション・プロシージャはエグゼクティブ・モードのシステム論理名テーブルから LPS$LAYUP の論理名定義を検索します。このような定義が登録されている場合には，以下のメッセージが表示されます。

```
%CPS-I-LAYUPDEF, LPS$LayUp is already defined
-CPS-I-LAYUPDEF, This installation will use its value
```

LPS$LAYUP 定義が登録されていない場合には，プロシージャはその定義を指定するように要求します。省略時の設定として SYS$SYSROOT:[SYSHLP.EXAMPLES.CPS]を選択する場合には，Return を単独で押してください。それ以外の場合には，ディスク・ディレクトリ指定を入力してください。

```
* Full definition for LPS$LayUp [SYS$SYSROOT:[SYSHLP.EXAMPLES.CPS]]:

% VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system disk directory
VMI$ROOT:[SYSHLP.EXAMPLES.CPS]
```

3.2.4 ALL-IN-1 互換キットの選択

VMSINSTAL プロシージャのこの質問に答えることにより，後で ALL-IN-1 互換キットをインストールすることができます。 ALL-IN-1 互換キットを使用すれば， DEC 社の PostScript プリンタに対して， ALL-IN-1 から，日本語 DECprint プリンティング・サービスが提供する機能を利用することができます。

注意　本製品に含まれる ALL-IN-1 互換キットは，日本語 ALL-IN-1 対応にはなっていません。

このオプションが必要な場合には，以下のファイルが SYS$SYSROOT:[SYSHLP.EXAMPLES.CPS]にコピーされます。

- PS-PRINTING-ALL-IN-1-COMPAT.SAV，このファイルには，セーブセットのインストール方法を説明した PostScript ファイルも含めて，ソフトウェア・セーブセットが登録されています。
- PS-PRINTING-ALL-IN-1-COMPAT.TXT，これは ASCII テキスト・ファイルであり， ALL-IN -1 互換キットのインストール方法が登録されています 。

```
* Do you want to install the ALL-IN-1 Compatibility
Kit? [Y]?
```

オプションとして ALL-IN-1 互換キットが必要な場合には， YES と入力してください。 NO と入力した場合には，日本語 DECprint プリンティング・サービスはこの機能を挿入しません。この質問に対する応答として疑問符 (?) を入力した場合には，以下の説明が表示されます。

```
1900 blocks, provides scripts for PostScript printing
```

3.2.5　インストレーション検証プロシージャのためのチェック

VMSINSTAL は，キュー・マネージャがシステムで実行されているかどうかを確認します。

キュー・マネージャが存在しない場合には，インストレーション検証プロシージャ (IVP) は実行されずに，以下のメッセージが画面に表示されます。

```
%CPS-I-NOQUEMGR, System queue manager is not running
-CPS-I-NOQUEMGR, IVP will NOT run.  Installation continuing ...
```

インストレーションを実行するときに，インストレーション検証プロシージャ (IVP) を使用したい場合には，キュー・マネージャを実行していなければなりません (第 3.2.6 節を参照)。

必要な場合には， VMSINSTAL は IVP ファイルのためのディスク・ディレクトリを作成します。

```
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system disk directory
VMI$ROOT:[SYSTEST.CPS].
```

ディレクトリがすでに存在する場合には，以下のメッセージも表示されます。

```
%CREATE-I-EXISTS, VMI$ROOT:[SYSTEST.CPS] already exists
```

VMSINSTAL はまた，サンプル・ファイルのためのディスク・ディレクトリも作成します。

```
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system disk directory
VMI$ROOT:[SYSHLP.EXAMPLES.CPS]
```

このディレクトリがすでに存在する場合には，以下のメッセージが表示されます。

```
%CREATE-I-EXISTS, VMI$ROOT:[SYSHLP.EXAMPLES.CPS] already exists
```

その後， VMSINSTAL は以下のメッセージを画面に表示します。

```
%CPS-I-NOQUES, No further questions will be asked.
```

各セーブセットを回復するときに， VMSINSTAL はその進捗状況を報告します。

```
VMSINSTAL-I-RESTORE, Restoring product saveset B ...
VMSINSTAL-I-RESTORE, Restoring product saveset C ...
```

その後， CPS$STARTUP.TEMPLATE を変更して，スタートアップ・コマンド・プロシージャを作るようにというメッセージが表示されます。

この操作が終了するには，最大 30 分かかります。

3.2.6 インストレーション検証プロシージャ

インストレーション検証プロシージャ (IVP) は，インストレーション・プロシージャが正常終了したかどうかを確認します。 IVP は自動的に実行され， SYS$COMMON:[SYSTEST.CPS]内のテスト・ファイルを CPS$IVP_TEST という一時的なプリント・キューに登録します。

IVP はインストレーションが終了した後に，いつでも実行することができます。以下のコマンドを実行します。

```
$ @SYS$COMMON:[SYSTEM]CPS$IVP.COM
```

注意 この IVP は，テスト・ファイルを印刷しません。

IVP は一時的なプリント・キュー (CPS$IVP_TEST) を作成し，この一時的なキューの内部にプリント・ジョブを作成します。以下のメッセージが表示されます。

```
%CPS-I-IVP. Beginning IVP...
JOB CPS$IVP_POST (queue CPS$IVP_TEST, entry 61) started on CPS$IVP_TEST
JOB CPS$IVP_POST (queue CPS$IVP_TEST, entry 61) completed
JOB CPS$IVP_ANSI (queue CPS$IVP_TEST, entry 62) started on CPS$IVP_TEST
JOB CPS$IVP_ANSI (queue CPS$IVP_TEST, entry 62) completed
JOB CPS$IVP_KANJI (queue CPS$IVP_TEST, entry 63) started on CPS$IVP_TEST
JOB CPS$IVP_KANJI (queue CPS$IVP_TEST, entry 63) completed
JOB CPS$IVP_KANJI78 (queue CPS$IVP_TEST, entry 64) started on CPS$IVP_TEST
JOB CPS$IVP_KANJI78 (queue CPS$IVP_TEST, entry 64) completed
JOB CPS$IVP_LA_KANJI (queue CPS$IVP_TEST, entry 65) started on CPS$IVP_TEST
JOB CPS$IVP_LA_KANJI (queue CPS$IVP_TEST, entry 65) completed
JOB CPS$IVP_REGIS (queue CPS$IVP_TEST, entry 66) started on CPS$IVP_TEST
JOB CPS$IVP_REGIS (queue CPS$IVP_TEST, entry 66) completed
JOB CPS$IVP_REGIS_KANJI (queue CPS$IVP_TEST, entry 67) started on CPS$IVP_TEST
JOB CPS$IVP_REGIS_KANJI (queue CPS$IVP_TEST, entry 67) completed
JOB CPS$IVP_REGIS_KANJI80 (queue CPS$IVP_TEST, entry 68) started on CPS$IVP_TEST
JOB CPS$IVP_REGIS_KANJI80 (queue CPS$IVP_TEST, entry 68) completed
JOB CPS$IVP_TEK4014 (queue CPS$IVP_TEST, entry 69) started on CPS$IVP_TEST
JOB CPS$IVP_TEK4014 (queue CPS$IVP_TEST, entry 69) completed
JOB CPS$IVP_TEK_KANA (queue CPS$IVP_TEST, entry 70) started on CPS$IVP_TEST
JOB CPS$IVP_TEK_KANA (queue CPS$IVP_TEST, entry 70) completed
JOB CPS$IVP_PCL (queue CPS$IVP_TEST, entry 70) started on CPS$IVP_TEST
JOB CPS$IVP_PCL (queue CPS$IVP_TEST, entry 70) completed
```

テスト・プロシージャは，IVP を実行した後，一時的なキューを自動的に削除します。 IVP は実際の印刷は行いませんが，IVP 用テスト・ファイルは後で印刷できます (第 3.5 節を参照)。

IVP が終了すると，VMSINSTAL は情報メッセージを表示します。

```
IVP successful for VMS DECprint Printing Services CPSJ V4.0
```

VMSINSTAL は最後に以下のメッセージを表示します。

```
Installation of CPSJ V4.0 completed at 14:04

VMSINSTAL procedure done at 14:08
$
```

VMSINSTAL が終了した後，VMSINSTAL から表示されたメッセージの指示にしたがってください。インストレーション・プロシージャの最終的な操作については，第 4 章で説明します。

3.3 日本語 DECprint プリンティング・サービス・プリント・システムの起動

プリンタの起動とファイルの印刷の開始のためには，VMSINSTAL を実行した後，以下の操作を行わなければなりません。

1 プリンタを準備します。インストールする各プリンタに応じて，適切な節の説明を参照してください。

- シリアル・プリンタ: 第 4.1 節
- LN82R および DEClaser プリンタ: 第 4.2 節

- PrintServer プリンタ: 第 4.3 節
- LN03 イメージ・プリンタ: 第 4.4 節
- DECserver に接続されるシリアル・プリンタ: 第 4.8 節

2 ディストリビューション・メディア内の CPS$STARTUP.TEMPLATE ファイルから CPS$ STARTUP.COM ファイルを作成します (第 5 章を参照)。ScriptPrinter V2.1 ソフトウェアからアップグレードする場合には，この操作は必要ありません。

3 システム・スタートアップ・ファイルに CPS$STARTUP.COM に対する呼び出しが登録されていない場合には，この呼び出しを登録するために，システム・スタートアップ・ファイル SYS$MANAGER:SYSTARTUP_V5.COM を編集してください (ScriptPrinter V2.1 ソフトウェアをすでに使用している場合には，スタートアップ・ファイルの編集は必要ありません)。

このファイルから以下のコマンドを探してください。

```
$ @SYS$STARTUP:CPS$STARTUP
```

このコマンドがシステム・スタートアップ・ファイルに登録されていない場合には，スタートアップ・ファイルの中の STARTNET.COM(PrintServer プリンタの場合) か LTLOAD.COM(DECserver 装置のプリンタの場合) を起動するコマンドの後に，これを追加してください。

既存の PrintServer プリンタのシステム・スタートアップ・ファイルには，以下のコマンドが登録されていることがあります。

```
$ @SYS$STARTUP:LPS$STARTUP
```

PrintServer システムの場合には，このコマンドを削除し，上記のように CPS$STARTUP に対する適切な呼び出しを登録してください。

4 エディタを終了した後，以下のコマンドを使用してプリンタ・スタートアップ・コマンド・ファイルを起動してください。

```
$  @SYS$STARTUP:CPS$STARTUP
```

3.4 プリンタ・ソフトウェアのアップグレード

既存の PostScript プリンタと日本語 DECprint プリンティング・サービス・ソフトウェアを使用している場合には，システムにプリンタを追加したり，システムからプリンタを削除したり，実行キューやジェネリック・キューを追加あるいは削除することができます。その場合， VMSINSTAL を実行する必要はありません。プリンタ・ソフトウェアをアップグレードするには，以下の操作を実行してください。

1 以下のコマンドを使用して，変更したいキューを停止します。

```
$  STOP/QUEUE/NEXT queue-name[:]
```

2 必要に応じて CPS$STARTUP.COM を変更し，必要な実行キューとジェネリック・キューに対する定義を追加および削除します (第 5 章を参照してください)。

3 キューを削除する場合には，そのキューの内部で印刷を待っているジョブが存在しないことを確認してください。キューを確認した後，キューを削除するには，以下の 2 つのコマンドを使用します。

```
$  SHOW/QUEUE/ALL queue-name[:]
$  DELETE/QUEUE queue-name[:]
```

4 日本語 DECprint プリンティング・サービス・ソフトウェアを起動する前に，シリアル・プリンタをパワー・サイクルしておかなければなりません (電源を切断した後，再投入します)。このようにすれば，プリンタが日本語 DECprint プリンティング・サービスの初期状態に設定されます。

5 以下のコマンドを使用してスタートアップ・コマンド・ファイルを起動します。

```
$  @SYS$STARTUP:CPS$STARTUP
```

この後，スタートアップ・プロシージャはキューを初期化し，起動します。

3.5 プリンタとキューのテスト

インストレーションが終了した後，プリンタをテストすることができます。

SYS$COMMON:[SYSTEST.CPS]から以下のインストレーション検証プロシージャ (IVP) ファイルを印刷してください。

- CPS$IVP_ANSI.DAT
- CPS$IVP_KANJI.DAT
- CPS$IVP_KANJI78.DAT
- CPS$IVP_LA_KANJI.DAT
- CPS$IVP_POST.DAT
- CPS$IVP_REGIS.DAT
- CPS$IVP_REGIS_KANJI.DAT
- CPS$IVP_REGIS_KANJI80.DAT
- CPS$IVP_TEK4014.DAT
- CPS$IVP_TEK_KANA.DAT
- CPS$IVP_PCL.DAT

各ファイルに対して，CPS$IVP_の後のファイル名に示されている適切なDATA_TYPE パラメータを使用することを忘れないでください。たとえば，CPS$IVP_REGIS.DAT を印刷する場合には，以下の PRINT コマンドを使用します。

```
$  PRINT/QUEUE=queue-name/PARAMETERS=(DATA_TYPE=REGIS)-
/NOTIFY SYS$COMMON:[SYSTEST.CPS]CPS$IVP_REGIS.DAT
```

付録 C に出力の例が示されていますので，参照してください。

4

インストレーション後の処理

本章では，日本語 DECprint プリンティング・サービスをインストールした後に実行しなければならないプリンタ関連操作について説明します。これらの操作は，共通プリント・シンビオント (CPS: Common Print Symbiont) を初めてインストールするシステム，および日本語 DECprint プリンティング・サービスがサポートする新しいプリンタをインストールするシステムで実行する必要があります。

この章では以下のプロシージャについて説明します。

- シリアル・プリンタの通信速度の設定，第 4.1 節
- LN82R および DEClaser 2150/2250 プリンタの設定，第 4.2 節
- PrintServer プリンタの環境の設定，第 4.3 節
- LN03 イメージ・プリンタのためのシステム・パラメータの設定，第 4.4 節
- プリンタ・パスワードの変更，第 4.5 節
- プリンタ名の設定，第 4.6 節.
- シリアル・プリンタの時間切れの設定，第 4.7 節
- ネットワーク・アクセスのためのシリアル・プリンタの構成，第 4.8 節

4.1 シリアル・プリンタのインストール

シリアル・プリンタ

シリアル・プリンタを使用する場合には，プリンタ装置に対して通信速度と時間切れの値を設定しなければなりません (シリアル・プリンタをインストールするために必要なハードウェアについては，第 2.2 節を参照してください)。

4.1.1 ScriptPrinter の通信速度の変更

ScriptPrinter

プリンタの後部にある SP1(左側) と SP2(右側) の 2 つのスイッチパックの設定は，通信モードを指定します。表 4–1 は， ScriptPrinter のソフトウェア・インストレーションのための適切な設定です。

表 4–1　通信スイッチの省略時の設定

スイッチ	設定	スイッチ	設定
SP1–1	Off	SP2–1	Off
SP1–2	On	SP2–2	Off
SP1–3	Off	SP2–3	Off
SP1–4	On	SP2–4	Off
SP1–5	Off	SP2–5	Off
SP1–6	Off	SP2–6	Off

これらの設定では，速度は 9600 ボーであり， XON/OFF フロー制御機能を有効にし，ビット数 8 ビット，パリティなしになっています。

スイッチの上部はオンであり，スイッチの下部はオフです。通信ディップ・スイッチの設定についての詳しい説明は，「LN03R ScriptPrinter Operator's Guide」を参照してください。

ScriptPrinter プリンタをインストールした後，プリンタの後部にある自己診断テスト・ボタンを押し，電源投入サマリ・シートを参照することにより，通信設定を判断することができます。

4.1.2 ボー・レートに関する制約事項

シリアル・プリンタ

省略時の設定である 9600 ボー以外のボー・レートを選択する場合には，以下の制約事項に注意してください。

- VMS ドライバは 3600 ボーおよび 7200 ボーをボー・レートとしてサポートしません。
- DMZ32 シリアル・インターフェイスのリビジョン E またはそれ以前のリビジョンの場合，速度は 4800 ボー以下でなければなりません。
- 日本語 DECprint プリンティング・サービスを組み合わせて使用できる DECserver 装置と，各装置にとって適切な通信速度は，ソフトウェア機能仕様書 (SPD:Software Product Description) に示されています。

誤った速度を選択した場合には，プリンタは動作しません。

ScriptPrinter の新しい通信設定を有効にするには，プリンタをパワー・サイクルしてください (電源を切断した後，再投入してください)。

4.1.3 省略時の設定の変更

シリアル・プリンタ

省略時の設定である 9600 ボー以外の通信速度でシリアル・プリンタを使用する場合には，以下の操作を実行してください。

1 プリンタを駆動する実行キューを停止します。

```
$ STOP/QUEUE/NEXT execution-queue-name
```

2 ScriptPrinter の場合は，プリンタの電源を切断します。

LN82R

3 プリンタを適切なボー・レートに設定します。

LN82R の場合には，通信速度の設定はプリンタの前面にあるコントロール・パネルで行います。 SETUP メニューを使用すれば，プリンタのボー・レートを確認し，変更できます。詳しい説明は「日本語 PostScript プリンタ LN82R ユーザーズ・ガイド」を参照してください。

ScriptPrinter

ScriptPrinter プリンタの場合には，プリンタ・ユニットの後部にあるボー・レート設定のための通信ディップ・スイッチを使用します。プリンタの通信ディップ・スイッチの設定方法については，「*ScriptPrinter Operator's Guide*」を参照してください。

DEClaser 2150/2250

DEClaser 2150/2250 プリンタの場合には，通信速度の設定はプリンタの前面にあるコントロール・パネルで行います。 INTERFACE メニューを使用すれば，プリンタのボー・レートを確認し，変更できます。ボー・レートの設定は，プリンタが ANSI モードか PostScript モードになっているときに行ってください。詳しい説明はそれぞれのプリンタのオペレーターズ・ガイドを参照してください。

シリアル・プリンタ

4 プリンタ・スタートアップ・ファイル SYS$STARTUP:CPS$STARTUP.COM に設定されているプリンタの実行キュー定義を編集します。パラメータ**p6**は通信速度のために使用されます。このパラメータは， DECserver 装置のプリンタの場合は必要ありません。複数のホストがプリンタをアクセスする場合には，各ホスト・システムでこれらの調整操作を実行してください。

ScriptPrinter

5 プリンタに電源を投入します。プリンタが電源投入テスト・ページを排出するのを待ち，その後，テスト・ページを確認し，そのテスト・ページに適切な設定が示されているかどうかを確認してください。

シリアル・プリンタ

6 以下の DCL コマンドを使用することにより， CPS$STARTUP を起動します。

```
$ @SYS$STARTUP:CPS$STARTUP
```

4.2 LN82R および DEClaser プリンタをインストールするための必要条件

LN82R, DEClaser 2150/2250

日本語 DECprint プリンティング・サービスを使用する場合には，LN82R および DEClaser 2150/2250 プリンタのフロント・コントロール・パネルで工場出荷時の省略時の設定を変更しなければなりません。この節では，フロント・パネルの設定について簡単に説明します。

LN82R

LN82R のフロント・パネルの操作方法についての詳細は，「日本語 PostScript プリンタ LN82R ユーザーズ・ガイド」を参照してください。

1 SETUP スイッチにより，セットアップ・モードに設定し，PRINTER メニューの HOST I/F を選択し，現在の設定が PARALLEL であることを確認してください。 SERIAL であった場合には，設定を変更する必要はありません。

PARALLEL であった場合には， MENU と SET により SERIAL を選択します。

2 PRINTER メニューで，以下の機能が以下の値に設定されているかどうかを確認してください。

- RS232C メニューで適切なボーレートが選択されている。
- RS232C メニューの DATA PARITY STOP が 8BITS P=N 1STOP に設定されている。
- RS232C メニューの FLOW CONTROL が XON/XOFF に設定されている。
- SOFTWARE が PostScript に設定されている。

DEClaser 2150/2250

DEClaser 2150/2250 プリンタのフロント・パネルの操作方法と PostScript カートリッジの確認方法については，「DEClaser Printer PostScript Cartridge User's Guide」を参照してください。

警告 PostScript カートリッジを挿入する場合や，取り出す場合には，その前にプリンタの電源を切断してください。電源を切断しないと，カートリッジが破損する可能性があります。

1 PostScript カートリッジがプリンタのスロット A(左側のスロット) にインストールされていることを確認します。

2 I/F: Serial Comm メニューで，以下の機能が以下の値に設定されているかどうかを確認してください。

- I/F: Serial comm がセットされている。
- 適切なボー・レートが選択されている。
- Parity が no に設定されている。
- Flow Control が xon/xoff に設定されている。

- Data bits が eight に設定されている。
- Stop bits が one に設定されている。

3 MISCELLANEOUS メニューで，TIMEOUT=INF に設定されているかどうかを確認してください。

4 プリンタの動作モードを PostScript モードにセットしてください。

4.3 PrintServer プリンタをインストールするための必要条件

PrintServer

PrintServer 20，PrintServer 40，PrintServer 40 Plus プリンタはネットワーク・プリンタであり，日本語 DECprint プリンティング・サービスが実行される VMS システムで VMS DECnet ソフトウェアも実行しておかなければなりません (PrintServer プリンタをインストールするために必要なハードウェアについては第 2.3 節を参照してください)。

4.3.1 PrintServer クライアント・システムでのインストール

日本語 DECprint プリンティング・サービスで PrintServer プリンタをアクセスするには，以下の操作を実行してください。

4.3.1.1 CPS$STARTUP への PrintServer ノード名の登録

CPS$STARTUP を編集する際に，第 5.3.2 節の説明にしたがって，実行キュー定義にプリンタ・ノード名を指定してください。 VAXcluster 内のプリンタの場合には，日本語 DECprint プリンティング・サービスがインストールされるシステムの scsnode-name を指定してください。 DECnet データベースには，システムからアクセスできる各 PrintServer プリンタのエントリが登録されていなければなりません。

4.3.1.2 PrintServer ネットワーク・ノードの定義

システム管理者が，登録される DECnet ノード名とノード・アドレスをユーザに提供します。 NCP プログラムを実行し，プリンタ・ノードをネットワーク・データベースに追加してください。以下のコマンドを使用して PrintServer ネットワーク・ノードを定義します。

```
$  MCR NCP
NCP>  SET NODE node-name ADDRESS  node-address
NCP>  DEFINE NODE node-name ADDRESS  node-address
NCP>  EXIT
$
```

この NCP コマンドに以下の変数を指定してください。

node-name	プリンタ・ノード名
node-address	プリンタ・ノード・アドレス

たとえば，ABLE というプリンタ (DECnet アドレス 5.85) をネットワーク・データベースに追加する場合には，以下のコマンドを入力します。

```
$  MCR NCP
NCP>  SET NODE ABLE ADDRESS 5.85
NCP>  DEFINE NODE ABLE ADDRESS 5.85
NCP>  EXIT
$
```

4.3.1.3　既存の PrintServer クライアント・ソフトウェアからのアップデート

既存の LPS$STARTUP.COM ファイルは今後はサポートされず，日本語 DECprint プリンティング・サービスとの互換性もありません。このファイルは，CPS$STARTUP.COM を編集した後，削除してください。このファイルを削除するには，以下の操作を実行します。

注意　LPS$STARTUP.COM で生成されたキューとは別の名前のキューを CPS$STARTUP.COM で生成する場合には，これらのスタートアップ・コマンド・プロシージャは 1 つのシステム上で共存できますが，同じ名前のキューを生成する場合には共存できません。以下の操作を実行してください。

1　STOP/QUEUE/RESET コマンドで，既存のプリント・キューを停止します。このとき，キューにジョブが残っていないことを確認してください。

2　既存の PrintServer プリント・キューをすべて削除します。CPS$STARTUP.COM で作成しようとするキューが既存のキューと同じ名前でないなら，この操作は必要ありません。

3　PrintServer プリンタのための新しいプリント・キューを CPS$STARTUP.COM に追加します。第 5.8 節に LPS$STARTUP.COM からの移行方法を示します。

4　LPS$STARTUP.COM ファイル内の定義を変更している場合には，それらの定義も SYS$STARTUP:CPS$STARTUP.COM に移行してください。

5　SYS$MANAGER:SYSTARTUP_V5.COM を編集し，SYS$STARTUP:LPS$STARTUP.COM に対する参照を削除してください。

6　コマンド・ファイル CPS$DELETE-LPS-CLIENT.COM を使用して，LPS$STARTUP.COM やその他の不必要なファイルを削除することができます。削除されるファイルは，第 D.3 節を参照してください。

```
$ @SYS$COMMON:[SYSUPD]CPS$DELETE-LPS-CLIENT.COM
```

このファイルを実行すると，以下のような警告メッセージが出ますが，これは無視してください。この警告メッセージは，ファイルの場所が VMS のバージョンによって異なるために出力されます。

```
%DELETE-W-SEARCHFALL, error searching for SYS$COMMON:[SYSMGR]LPS$STARTUP.COM;*
-RMS-E-FNF, file not found
```

4.3.2 PrintServer サポーティング・ホストのリソース・ファイルの変更

テキスト・トランスレータは，印刷ジョブの開始時に，大量の PostScript プロローグ処理 (初期設定) を行います。この処理は，印刷ジョブの内容によらず，常に同じなので，初めからプリンタに常駐させておけば，ジョブの最初の 1 ページが出力されるまでの時間を短縮することができます。VAX 日本語プリントサーバ サポーティング・ホスト・ソフトウェアでは，LPS$SUPPORT:LPS_RESxxx.DAT(xxx は，プリントサーバのノード名) というファイルによって，このプロローグ部分をリソース・ファイルとして常駐させることができます。

日本語 DECprint プリンティング・サービスのテキスト・トランスレータのプロローグは，VAX 日本語プリントサーバ サポーティング・ホスト V3.2 が提供しているプロローグとバージョンが異なるため，サポーティング・ホストのプロローグを入れ替えないと，テキスト・トランスレータは，各プリント・ジョブに対して，常にプロローグをプリンタに送ってしまいます。

これは，テキスト印刷のスループットを下げることになるので，サポーティング・ホストのリソース・ファイルを更新して，プロローグを日本語 DECprint プリンティング・サービスのものと同じものにする必要があります。以下にその方法を述べます。

1 以下のファイルをサポーティング・ホスト・ノードの LPS$SUPPORT ディレクトリにコピーします。

```
SYS$COMMON:[SYSHLP.EXAMPLES.CPS]LPS_MAKERESFILE.EXE
SYS$COMMON:[SYSHLP.EXAMPLES.CPS]LPS_MAKERES.COM
SYS$COMMON:[SYSHLP.EXAMPLES.CPS]LPS_DECKANJI_PROLOGUE.PS
```

2 サポーティング・ホストのシステムにログインし，以下のコマンドを実行します。

```
$  SET DEFAULT LPS$SUPPORT
$  @LPS_MAKERES

Name of PrintServer?: xxx [return]
Name of the resource to be downloaded?: [return]
Do you wish to exit this procedure?: yes [return]

$  SET PROTECTION=W:RE LPS_RESxxx.DAT
```

ここで，xxx はプリントサーバのノード名です。プリントサーバが複数ある場合には，各プリントサーバに対して，同じ操作を行います。

3 プリントサーバをパワーサイクルします (電源を切り，再度電源を投入します)。

4.4 LN03 イメージ・プリンタのインストール

LN03 イメージ・プリンタ

LN03 イメージ・プリンタで印刷するには，DECprint プリンティング・サービスのプリント・キューを起動する前に，LN03 イメージ・サポート・ソフトウェアをインストールしなければなりません (LN03 イメージ・プリンタのインストールと動作に必要なハードウェアについては，第 2.4 節を参照してください)。

また，LN03 イメージ・プリンタをサポートする場合には，DECprint プリンティング・サービスを実行する前に，この節の説明にしたがって，システム・パラメータを調整しなけれはなりません。 SYSGEN パラメータの値が不十分なときは，CPS$STARTUP.COM ファイルはプリント・キューをスタートさせずに，SYSGEN パラメータの値が小さいこと，および正しい値を示すエラー・メッセージを戻します。

LN03 イメージ・プリンタでは，以下の SYSGEN パラメータを，少なくとも表 4–2 に示されている値に設定しなければなりません。

表 4–2 LN03 イメージ・プリンタで必要な SYSGEN パラメータの値

SYSGEN パラメータ	最小値
PROCSECTCNT	64
WSMAX	10000
VIRTUALPAGECNT	25000
NPAGEDYN	500000
NPAGEVIR	2000000

値を確認するには，以下のコマンドを使用します。

```
$  RUN SYS$SYSTEM:SYSGEN
SYSGEN>  SHOW parameter
```

パラメータのかわりに，実際のパラメータ名を指定してください。

SYSGEN パラメータの値を変更しなければならない場合には，SYS$SPECIFIC:[SYSEXE] MODPARAMS.DAT を変更し，その後，AUTOGEN コマンド・プロシージャを使用して値を変更するようにしてください。

たとえば，WSMAX パラメータを変更するには，以下の操作を実行します。

1 SYS$SPECIFIC:[SYSEXE]MODPARAMS.DAT を編集し，以下の行を追加してください。

```
MIN_WSMAX=10000
```

2 システムを再ブートするときに，以下の AUTOGEN コマンドを使用してシステムに新しい WSMAX パラメータをインストールします。

```
$  @SYS$UPDATE:AUTOGEN SAVPARAMS GENPARAMS
$  @SYS$UPDATE:AUTOGEN SETPARAMS REBOOT
```

AUTOGEN コマンド・プロシージャについての詳しい説明は，「Guide to VAX/VMS Software Installation」を参照してください。

4.5 プリンタ・パスワードの変更

シリアル・プリンタのみ

DEC 社の PostScript プリンタには，特権を制限するためのパスワードがあります。ユーザは，パスワードを変更することができますが，パスワードを変更した場合， ANSI/漢字プリント・ジョブの印刷に要する時間が長くなります。特に必要がないなら，パスワードは変更すべきではありません。

以下の PostScript プロシージャでは，プリンタ・パスワードが使用されています。パスワードを変更した場合には，以下のファイルの中のパスワードも変更する必要があります。

- LPS$SET_PRINTER_NAME.PS: プリンタ名の変更に使用します (第 4.6 節を参照してください)。
- LPS$SET_TIMEOUT.PS: プリンタの時間切れの値の変更に使用します (第 4.7 節を参照してください)。

ScriptPrinter プリンタの工場出荷時のパスワードは，‘‘(LN03R)’’で，括弧が必要です。 LN82R および DEClaser プリンタの工場出荷時のパスワードは，‘‘0’’で，括弧は必要ありません。

4.6 プリンタ名の設定

シリアル・プリンタ

場合によっては，システム・メッセージ内でプリンタ名が参照されることがあります。プリンタには固有の名前を与えることができます。

PrintServer のみ

PrintServer プリンタの場合には，プリンタ名はサーバ管理ソフトウェアによって設定されます (プリンタ名の設定については，「Management Guide: VAX PrintServer Supporting Host」を参照してください)。

シリアル・プリンタのみ

シリアル・プリンタの場合には，プリンタ名は不揮発性メモリに格納され，エラー・メッセージに挿入されることがあります。

プリンタ名を設定するには， SYS$MANAGER 内の LPS$SET_PRINTER_NAME.PS というファイルのコピーを編集し，適切な名前とパスワードを登録します。プリンタ名の長さは最大 31 文字です。

その後， PostScript ジョブとして印刷するために，ファイルをキューに登録してください。

```
$  PRINT/QUEUE=queue-name-
/PARAMETER=(DATA_TYPE=POSTSCRIPT) LPS$SET_PRINTER_NAME.PS
```

プリンタ名を設定していない場合には，メッセージに省略時のプリンタ名が示されます。以下のメッセージでは，これは*printer-type*として示されています。省略時のプリンタ名は， LN82R， LN03R または DEClaser です。

```
%CPS-I-TRAYSUBST, Output will be delivered to the only tray on
printer-name
```

プリンタ名が設定されている場合には，メッセージにはそのプリンタの名前が表示されます。以下の例では，‘‘David’s printer’’として示されています。

```
%CPS-I-TRAYSUBST, Output will be delivered to the only tray on
David’s printer
```

4.7 プリンタ時間切れの設定

PrintServer

PrintServer プリンタの場合には，時間切れの値はサーバ管理ソフトウェアで設定されます (「Management Guide: VAX PrintServer Supporting Host」を参照してください)。

DEClaser, LN82R

LN82R および DEClaser プリンタの場合には，時間切れの値はフロント・パネルの制御機構によって設定されます。詳しい説明は，各プリンタのオペレーターズ・ガイドを参照してください。

ScriptPrinter

40 秒以内にプリンタがデータを受信しなかった場合には，プリンタはプリント・ジョブを強制終了します。時間切れの値は， "0"に変更する (つまり，時間切れの設定はされなくなる) ことをお勧めします。 LN82R および DEClaser では，省略時の値は 0 になっています。したがって，この設定を変更する必要はありません。

この値は，**settimeouts**という PostScript オペレータを使用して変更できます。標準的なファイルである SYS$COMMON:[SYSMGR]LPS$SET_TIMEOUT を使用すれば，時間切れの値を 0 に変更できます。

PostScript ジョブとして，以下のコマンドを使用して，ファイルをキューに登録します。

```
$  PRINT/QUEUE=queue-name-
/PARAMETER=(DATA_TYPE=POSTSCRIPT) LPS$SET_TIMEOUT.PS
```

プリント・ジョブが処理されるときに，時間切れの値が正しく変更されたことを示すページが印刷されます。

4.8 シリアル・プリンタのための DECserver 接続の確立

シリアル・プリンタ

以下の条件が満足される場合には，同じ Ethernet に接続された複数のシステムがシリアル・プリンタをアクセスできます。

- プリンタが DECserver に接続されていること。
- プリンタを使用する各ホスト・システムが日本語 DECprint プリンティング・サービスを実行していること。日本語 DECprint プリンティング・サービス以外の手段によってプリンタがアクセスされた場合には，障害が発生します。

共用プリンタ・アクセス方式を使用した場合には，以下の影響があります。

- プリンタに対して集中アカウンティング処理は実行されません。各システムは，そのシステムで実行されるプリント操作に対して，それぞれ単独にアカウンティング情報を管理します。
- 日本語 DECprint プリンティング・サービスを実行する複数のシステムが同じプリンタを使用する場合には，システム間の調整は特にしません。プリンタがジョブを受け付けられる状態であるときに，最初に印刷要求を出したシステムがサービスを受けられます。
- プリンタに対して集中化されたプリント・キューは存在しません。すなわち，
  - SHOW QUEUE コマンドは，ネットワーク・プリンタのキューは表示しません。
  - システムは，複数のプリンタ間のプリント・ジョブ・スケジューリングや負荷調整は行いません。

4.8.1 DECserver 接続

シリアル PostScript プリンタは， DECserver と Ethernet の接続を通じてネットワークからアクセスできるように設定できます。この構成の場合，システム・スタートアップ・プロシージャを以下のように変更しなければなりません。

- 必要な DECserver ポートとプリンタのサーバ属性を設定します。

注意　日本語 DECprint プリンティング・サービスは，この目的でサンプル・コマンド・ファイルを提供しています。このコマンド・ファイル

は，ターミナル・サーバ・マネージャ (TSM) ソフトウェアを使用して DECserver のための属性を設定し， TSM データベースにデータを記録します (TSM は DEC が提供するソフトウェア製品です)。

コマンド・ファイルは，以下のとおりです。

```
SYS$COMMON:[SYSHLP.EXAMPLES.CPS]CPS$CONFIG-PRINTER-PORT.COM
```

このコマンド・ファイルは， DECserver 100， DECserver 200， DECserver 500 の属性の例を示しています。

- SYS$MANAGER:LTLOAD.COM を必要に応じて変更します。このファイルは，ローカル・エリア・トランスポート (LAT)・プロトコルを起動し，リモート・プリンタのためにアプリケーション・デバイスを構成するコマンド・プロシージャです。

4.8.2 DECserver ポートの属性

表 4–3 は，専用プリントのために必要な DECserver ポート属性を示しています。

表 4–3 プリンタで必要とされる DECserver ポートの属性

属性	DECserver ポート
ACCESS	REMOTE
AUTOBAUD	DISABLED
AUTOCONNECT	DISABLED
AUTOPROMPT	DISABLED
BREAK	DISABLED
BROADCAST	DISABLED
FLOW CONTROL	XON
INPUT FLOW CONTROL[1]	ENABLED
OUTPUT FLOW CONTROL[1]	ENABLED
INACTIVITY LOGOUT	DISABLED
LOSS NOTIFICATION	DISABLED
MESSAGE CODES	DISABLED
QUEUING	ENABLED
VERIFICATION	DISABLED

[1]DECserver 500 ではサポートされない属性。

注意 DECserver の多くのバージョンでは， QUEUING はポート属性ではなく，サーバ属性であり，省略時の設定は ENABLED です。

表 4–4 では，プリンタの通信設定と一致しなければならない DECserver ポート属性を示します。

表 4–4　DECserver ポート属性

Character size	8
Parity	None
Input speed	9600
Output speed	9600

さらに，キュー・リミットが 0 になっているかどうか，および第 4.8.4 節に記述されているサービス・グループについても確認してください。以下の DECserver サーバ属性を確認してください。

DECserver ターミナル・サーバとポート属性を変更するには，特権が必要です。必要な特権を獲得した後， DEFINE PORT コマンドと SET PORT コマンドを使用してください。

DEFINE コマンドは，サーバのパーマネント・データベースに登録されているポートの属性を変更します。これらの変更は，ポートに対して次にログインするまで有効になりません。 SET コマンドはただちに有効になりますが，変更したポート属性は，現在のセッションが終了するまでしか有効ではありません。

たとえば， PORT_6 の INPUT SPEED と OUTPUT SPEED の値を 19200 ボーに変更するには (DECserver 200 で)，コンソール・サーバ・マネージャから以下のコマンドを入力します。

```
LOCAL>  SET PRIVILEGED
PASSWORD>  password
```

```
LOCAL>  SET PORT 6 SPEED 19200
LOCAL>  DEFINE PORT 6 SPEED 19200
```

- DECserver 100 のコマンドと変更方法についての詳しい説明は，「DECserver 100 Terminal Server Operator's Guide」を参照。
- DECserver 200 ターミナル・サーバ・コマンドについては，「DECserver 200 Management Guide」を参照。
- DECserver 500 ターミナル・サーバ・コマンドと必要な DEFINE コマンドについては，「DECserver 500 Management Guide」を参照。

4.8.3 LAT プロトコル・スタートアップ・ファイルと構成ファイルの変更

SYS$MANAGER:LTLOAD.COM ファイルは，ホスト・ノード・サービス属性を定義します。プリント・キューを起動する前に，LAT ドライバが実行されており，ポートが使用可能な状態であることを確認してください。

注意 この節で参照するコマンドは LATCP コマンドです。 LATCP コマンドについての詳しい説明は，「VMS LAT Control Program (LATCP) Manual」を参照してください。

LTLOAD.COM を編集し，以下のコマンドを追加することにより，プリンタをサポートするホスト・ノード (サービス・ノード) にアプリケーション・ポートを作成します。

```
CREATE PORT LTAd:/NOLOG/APPLICATION
```

このコマンド形式で，*d*のかわりにアプリケーション・ポートの番号を指定してください。この番号は 1 ~ 9999 の範囲の固有の番号でなければなりません。

注意 LTA 装置は，常にプリンタ専用ではなく，他の装置と共有されます。 LTA 装置と他の装置の接続は，使用可能なポートのうち，ポート番号の最小のポートを使用して動的に確立されます。プリンタにつけるポート番号を大きくすると，そのプリンタのポートを安全に使用するのに役立ち，他の装置からの妨害を防止できます。

LTLOAD.COM に以下のコマンドを追加することにより，アプリケーション・ポートとサーバのリモート・ポートを対応づけます。

```
SET PORT LTAd:/NODE=server_name/PORT=port_n_name/QUEUE/APPLICATION
```

このコマンドに，以下の値を指定してください。

LTAd:	アプリケーション・ポートの名前。
server_name	DECserver ポート・デバイスに割り当てた名前。
port_n_name	DECserver ポートの名前。

以下の例では，LTA9000: というアプリケーション・ポートを，LN82RDS という名前のリモート DECserver 200 の PORT_7 という名前のポートに対応づけています。

```
SET PORT LTA9000:/NODE=LN82RDS/PORT=PORT_7/QUEUE/APPLICATION
```

また，プリンタに対する LAT 接続を CPS$STARTUP.COM ファイルに定義することもできます。 DECserver をプリント・サービス専用として使用する場合には，このように定義する方法の方が適しています。この構成では，問題が発生しても容易に解決できるからです。しかし，DECserver がプリンタだけでなく，ターミナルもサポートする場合には，ポートを LAT スタートアップ・ファイルに定義する方が望ましいでしょう。

4.8.4 LAT グループ

LAT 接続を正しく確立するには，以下の要素は少なくとも 1 つの LAT グループを共通に持たなければなりません。

- DECserver の場合: authorized groups と current groups
- サービス・ノードの場合: enabled groups

これらのグループを正しく設定しなかった場合には，プリント・ジョブをキューに登録するときに，以下のエラー・メッセージが表示されます。

```
%CPS-E-LRJACCESSDENIED, Access denied
```

必要な LAT グループ指定を登録するには， LATCP コマンドを使用します。詳しい説明は，「*VMS LAT Control Program (LATCP) Manual*」を参照してください。

4.9 ページ・カウンタの値の印刷

ハードウェアにページ・カウンタの装備されていないプリンタに対して， PostScript の*pagecount*を使用して，プリンタで印刷された用紙の累積枚数を印刷する PostScript ファイル (SYS$COMMON:[SYSHLP.EXAMPLES.CPS]CPS$PAGE_COUNT.PS) が提供されます。以下のコマンドを使用して，ファイルをキューに登録します。

```
$  PRINT/QUEUE=queue-name-
/PARAMETER=(DATA_TYPE=POSTSCRIPT) CPS$PAGE_COUNT.PS
```

これによって印刷されるページ・カウントは，機械的なページ・カウントと異なります。 PostScript 以外のモードで印刷された用紙 (たとえば，テスト・ページ) はカウントされません。また， PostScript プリンタのコントローラ・ボードを交換した場合にも，機械的ページ・カウントとは異なった値になります。

5

プリント・キューの初期化

本章では，プリント・キューの作成，起動，および変更方法について説明します。本章では次のことを説明します。

- プリント・キューのタイプ, 第 5.1 節
- キュー・マネージャの起動, 第 5.2 節
- プリント・キューの定義, 第 5.3 節
- 実行キューの設定, 第 5.4 節
- ジェネリック・キューの設定, 第 5.5 節
- 省略時のキュー・パラメータの変更, 第 5.6 節
- 省略時のキュー修飾子の変更, 第 5.7 節
- LPS$STARTUP.COM からの移行，第 5.8 節

注意 この章で説明する内容は，日本語 DECprint プリンティング・サービスをインストールする場合と，プリント・システムを管理する場合に必要です。したがって，この章の内容は，「日本語 DECprint プリンティング・サービス/VMS ソフトウェア・インストレーション・ガイド」と「日本語 DECprint プリンティング・サービス/VMS システム・マネージャーズ・ガイド」の両方に掲載されています。

5.1 プリント・キューのタイプ

プリント・キューは実行キューとジェネリック・キューに分類されます。

実行キューは，シンビオントによる処理のためにジョブをスケジュールし，印刷ファイルを出力装置に送ります。実行キューは特定の装置に対応づけられます。

ジェネリック・キューは，特定の装置に対応づけられるのではなく，実行キューに対応します。ジェネリック・キューは 1 つ以上の実行キューに対応づけることができ，複数の実行キューの間でプリント・ジョブを分散できます。また，ジェネリック・キューを使用すれば，特定の日本語 DECprint プリンティング・サービス機能をプリント・ジョブに対応づけることができます。

CPS$STARTUP.COM ファイルの中で， PRINT コマンドの省略時の修飾子およびパラメータの値を，実行プリント・キューとジェネリック・プリント・キューに対して設定することができます。キューに対する省略時の修飾子については，第 5.7 節に記述されています。また，キューに対する省略時のパラメータについては，第 5.6 節に記述されています。

5.2 システム・キュー・マネージャの起動

システム・ジョブ・キュー・マネージャは，キュー管理コマンドを使用する前，あるいはプリント・ジョブをキューに登録する前に起動しておかなければなりません。

START/QUEUE/MANAGER コマンドは一般に，システム・スタートアップ・プロシージャに登録されています。このコマンドはシステム・キュー・マネージャを起動します。システム・キュー・マネージャは，キューへのジョブの登録，プリント・キューの起動，プリント・ジョブのスケジュールなどを制御します。このコマンドを使用しなければならないのは，コマンドがシステム・スタートアップ・プロシージャに登録されていない場合か，あるいはキュー・ファイルが破壊され，新しいキュー・ファイルを作成しなければならない場合だけです。システム・キュー・マネージャを起動するためのコマンドが正確かどうか，システム・スタートアップ・プロシージャを確認してください。

5.3 プリント・キューの定義

日本語 DECprint プリンティング・サービスでは，すべてのキューが CPS$STARTUP.COM に定義されている必要があります。本章で説明する手続きは， CPS$STARTUP.COM の作成と編集の方法について説明しています。新しくインストールする場合には， CPS$STARTUP.COM を作成しなければなりません。日本語 DECprint プリンティング・サービス・サイトにプリンタを追加する場合には，既存の CPS$STARTUP.COM ファイルを編集するだけです。

5.3.1 プリンタ・スタートアップ・コマンド・ファイルのコピー

既存の CPS$STARTUP.COM ファイルがない場合には，テンプレート・ファイルをコピーし，独自のキュー構造を反映するようにそのファイルを変更しなければなりません。日本語 DECprint プリンティング・サービス・ソフトウェアは，プリンタ・スタートアップ・ファイルのテンプレートとして， SYS$STARTUP:CPS$STARTUP.TEMPLATE を提供します。

プリンタ・スタートアップ・テンプレート・ファイルは，以下の COPY コマンドを使用してコピーします。

```
$  COPY SYS$COMMON:[SYS$STARTUP]CPS$STARTUP.TEMPLATE -
SYS$COMMON:[SYS$STARTUP]CPS$STARTUP.COM
```

5.3.2　プリンタ・スタートアップ・ファイルの編集

自分のキュー構造を反映するように，以下の情報も含めて，CPS$STARTUP.COM ファイルを変更してください。

1　装置制御ライブラリのサーチ・リストに対する論理名。第 5.3.3 節を参照

2　実行プリント・キュー。第 5.4 節を参照。

3　ジェネリック・プリント・キュー。第 5.5 節を参照。

プリンタ・スタートアップ・テンプレート・ファイルには，装置制御ライブラリ定義のサンプルが 1 つ，実行キュー定義のサンプルが 1 つとジェネリック・キュー定義のサンプルがいくつか登録されています。テンプレート・ファイルからこの部分を探し，自分自身のプリント・キュー構造に対応するようにキュー定義を変更してください。

以下の節では，CPS$STARTUP.TEMPLATE コマンド・ファイルに登録されているテキストの一部を示します。感嘆符 (!) からその行の最後までのテキストはコメントであり，スタートアップ・プロシージャはこれらのコメントを実行しません。

CPS$STARTUP.COM に登録されている例と指示にしたがって，適切なエディタを使用して，システムのキュー構造を定義するためにファイルを編集してください。テンプレート・ファイル内で，指示は例の後にあります。コメント・フラグを削除して，このファイル内のコマンドを有効にする場合には，継続コマンド行のコメント・フラグも含めて，コマンド行内のすべてのコメント・フラグ ($!) を確実に削除してください。

注意　CPS$STARTUP.COM 内のコマンドの順序は変更しないでください。プリンタ・スタートアップ・コマンド・ファイルの最初の部分は，日本語 DECprint プリンティング・サービス・ソフトウェアを実行するための適切な環境を作成するのに必要です。 CPS$STARTUP.COM 以外の CPS$*file-name*.COM ファイルは修正しないでください。

スタートアップ・ファイルの最初の部分には，以下に示すように，CPS$REQUIRED.COM という別のファイルに対する呼び出しが登録されています。

```
$  @sys$startup:cps$required
```

CPS$REQUIRED.COM は以下の操作を実行します。

- キュー・マネージャが実行中であるかどうかを確認する。

- 特権を確認する。
- CPS$DEFAULT という省略時のフォーム設定を定義する。
- LPS$LAYUP という論理名を定義する。

CPS$STARTUP.COM ファイルの次の数行は，論理名 PSM$ANNOUNCE と対応づけられた文字列を定義します。PSM$ANNOUNCE を定義する DEFINE/SYS/EXE コマンドのあとに，フォームを定義するコマンドをいくつか挿入することができます。

フォームを定義するコマンド，およびフォーム定義に対して設定できる機能に関しては，「日本語 DECprint プリンティング・サービス/VMS システム・マネージャーズ・ガイド」を参照してください。

5.3.3 装置制御ライブラリ論理名の定義

スタートアップ・プロシージャは日本語 DECprint プリンティング・サービスの装置制御ライブラリの論理名を定義します。装置制御ライブラリ定義の追加が必要であるようなシステム固有のセットアップ・モジュールを使用する場合には，CPS$STARTUP.COM ファイルのこの部分を変更しなければなりません。

例 5–1 は，プリンタ・スタートアップ・コマンド・ファイルの中でライブラリ論理名を定義する部分を示しています。テンプレートは，装置制御ライブラリをサーチ・リストとしてライブラリ論理名定義をする例で，定義例はコメント・アウトしてあります。続いて，日本語 DECprint プリンティング・サービス・ソフトウェアの標準的なライブラリ論理名定義を示しています。この定義を変更することにより，必要に応じて，システム固有の装置制御ライブラリをサーチ・リストに追加できます。 (第 5.3.3.1 節を参照)。

例 5–1　ライブラリ論理名定義

```
$!+-----------
$! Define your device control library logical name here.  The first
$! "define/system" (commented out) is an example of how to define a
$! search list of device control libraries.  Note that CPS$devctl
$! should always be first in the list.
$!
$! define /system /exec /nolog cps_lib cps$devctl, "ansi/data=ansi", -
$!      "kanji/data=kanji", "ps/data=post"
$!
$
$ define /system /exec /nolog cps_lib cps$devctl
$
$!-----------
```

5.3.3.1　ライブラリ・サーチ・リストの定義

カストマイズした PostScript セットアップ・モジュールを独自のライブラリに登録する場合には，装置制御ライブラリ定義に対するライブラリ・サーチ・リストを CPS$STARTUP.COM ファイルで定義しなければなりません。ライブラリの検索順序は， CPS$DEVCTL ライブラリの後にシステム固有の装置制御ライブラリを指定することにより設定します。

装置制御ライブラリ・サーチ・リストを定義するには，以下の形式のコマンド行を使用してください。

```
$  DEFINE/SYSTEM/EXEC/NOLOG logical-name search-list
```

このコマンド行に，以下の情報を指定してください。

logical-name　ライブラリ・サーチ・リストに割り当てる名前。CPS$STARTUP.COM 内で実行キューを定義する時に，この論理名を使用する (第 5.4 節の**p3**パラメータを参照)。

search-list　/DATA_TYPE 修飾子を含む各ライブラリに対して，ライブラリ名と修飾子を引用符で囲む。/DATA_TYPE 修飾子を使用しない場合には，ライブラリ名を引用符で囲む必要はない。ライブラリの省略時のデータ・タイプは PostScript である。

例

この後の例では，ライブラリ論理名として MY_LIB を定義しています。以下の 3 つのライブラリには PostScript モジュールが登録されています。

- CPS$DEVCTL, 標準の装置制御ライブラリ
- PS1
- PS2

ANSI1 というライブラリには， ANSI セットアップ・モジュールが登録されています。

ライブラリ検索順序は，以下のとおりです。

CPS$DEVCTL, PS1, ANSI1, PS2

必ず，標準装置制御ライブラリ (CPS$DEVCTL) をリストの最初に指定してください。次の例を参照してください。

```
$  DEFINE/SYS/EXEC/NOLOG MY_LIB –
CPS$DEVCTL,"PS1/DATA_TYPE=POST","ANSI1/DATA_TYPE=ANSI",PS2
```

注意　装置制御ライブラリの新しい論理名定義を使用するには，すべての実行キューを停止した後，再起動しなければなりません。ライブラリの内容だけを変更する場合には，キューを停止し，再起動する必要はありません。

5.3.3.2　カスタム装置制御モジュールの保存

日本語 DECprint プリンティング・サービス・ソフトウェアをインストールすると， CPS$DEVCTL.TLB という， DEC 社から提供される装置制御ライブラリの新しいバージョンが SYS$LIBRARY に作成されます。インストレーション・プロシージャ内のパージ・プロンプト (*Do you want to purge files replaced by this installation[YES]?*) に対して， YES と応答した場合には，既存の装置制御ライブラリはパージされます。

装置制御モジュールを追加する場合には，新しいライブラリを作成し，それをライブラリ・サーチ・リスト内で参照するようにしてください。このようにすれば，今後の日本語 DECprint プリンティング・サービスのアップグレード処理を簡略化できます。

プリントサーバのみ

既存の PrintServer クライアント・ソフトウェアを日本語 DECprint プリンティング・サービスにアップグレードする場合には，既存の装置制御ライブラリ (LPS$DEVCTL.TLB) は無視されます。インストール前に既存の装置制御ライブラリのカスタム定義を確認してください。

日本語 DECprint プリンティング・サービスで使用される LPS$$*name* という名前の装置制御ライブラリ・モジュールは変更してはなりません。

注意　標準 CPS$DEVCTL ライブラリ内の標準装置制御モジュールは変更しないでください。これらの変更は，日本語 DECprint プリンティング・サービスのアップグレード時に失われてしまうからです。

5.4　実行キューの設定

各 PostScript プリンタに対して実行キューを作成しなければなりません。独自の実行キュー構造を作成するには， CPS$STARTUP.COM ファイル内で各キューに対して 1 回ずつ， CPS$EXECUTION_QUEUE.COM を呼び出して，パラメータ**p1** ~ **p8**に対する選択を指定しなければなりません。表 5–1 は実行キューを設定するためのパラメータ値を示しています。

表 5–1　実行キューのパラメータ値

パラメータ	値
p1 (必須)	実行キューの名前。
p2 (必須)	実行キューが駆動する装置の名前。第 5.4.1 節を参照。
p3 (省略可能)	ライブラリ論理名: 標準装置制御ライブラリ (CPS$DEVCTL) の論理名であるか，またはライブラリ・サーチ・リストの論理名である (省略時の設定は CPS_LIB である)。
p4 (省略可能)	実行キュー・パラメータの省略時の設定。第 5.6 節を参照。
p5 (省略可能)	キューに対する修飾子に追加される値またはこの修飾子を変更する値。第 5.7 節を参照。
p6 (省略可能)	シリアル・プリンタの場合は通信速度。省略時の設定は 9600 ボーである。他のすべてのプリンタの場合には，このパラメータは無視される。
p7 (省略可能)	SET DEVICE コマンドに対する修飾子。たとえば，シリアル・プリンタを SPOOLED 状態に設定するには，‘‘/SPOOLED=(*queue-name, disk-device-name*)’’を指定する。このパラメータはシリアル・プリンタにのみ有効。
p8 (省略可能)	検証機能のオン/オフを設定する。コマンド・プロシージャに対して SET VERIFY を有効にする。省略時の設定は NOVERIFY であり，ログ・ファイルとコンソール・ログのためのディスク・スペースが節約される。**p8**が 1 の場合には， SET VERIFY は有効になる (SET [NO]VERIFY についての詳しい説明は， VMS DCL Dictionary を参照)。

5.4.1　パラメータ p2 に対する装置名の指定

p2には，実行キューが起動するプリンタのノード名と装置名を指定します。

装置名の形式は，装置およびホスト・システムが VAXcluster の一部であるかどうかに依存します。

VAXcluster の一部でないシステムの場合には，装置名は以下の形式のいずれかでなければなりません。

- *Txyn:* シリアル・ラインのシリアル・プリンタ。
- *LTAn:* DECserver ポートのシリアル・プリンタ。
- *LDA1:* LN03 イメージ・プリンタ。
- *node-name::* PrintServer プリンタ, ただし，*node-name*はプリントサーバのノード名。

システムが VAXcluster の一部である場合には，日本語 DECprint プリンティング・サービスが実行されるシステムの SCS ノード名を追加しなければなりません。

- *scsnode::Txyn:* シリアル・ラインのシリアル・プリンタ。
- *scsnode::LTAn:* DECserver ポートのシリアル・プリンタ。
- *scsnode::LDA1:* LN03 イメージ・プリンタ。
- *scsnode::node-name::* PrintServer。 node-name はノード名。

注意 装置指定では，1 つのコロンと 2 つのコロンを使い分けなければなりません。物理装置名の場合は 1 つのコロンを使用し，ノード名の場合は 2 つのコロンを使用します。

装置属性とパラメータ p2

CPS$EXECUTION_QUEUE.COM はシリアル通信装置の装置属性を設定します。パラメータ**p2**は，このコマンド・ファイル内の SET TERMINAL コマンドと SET DEVICE コマンドに対して装置名を与えます。**p2**が論理名の場合には，コマンド・ファイルはこの名前を変換します。論理名変換を禁止するには，**p2**内の装置名に対してアンダースコア (_) 接頭辞を使用します。

5.4.2 実行キューの例

例 5–2 は，表 5–1 に示したパラメータを使用して， LN82R プリンタに対して実行キューを設定する方法を示しています。この実行キューは省略時の設定により，各用紙の片面に 2 ページを印刷し (NUMBER_UP=2)，フォーム・タイプとして MYFORM を使用します。

例 5–2　実行キューの設定

```
$ @SYS$STARTUP:CPS$EXECUTION_QUEUE -
❶   2UP -              ! P1 - Execution queue name
❷   FOO::TTB4: -       ! P2 - Device name
❸   CPS_LIB -          ! P3 - Logical name for your library search list
❹   "NUMBER_UP=2" -    ! P4 - Defines a default queue parameter
❺   "/DEFAULT=(FLAG,FORM=MYFORM,NOFEED)" -
                         ! P5 - Value to override/add to default qualifiers
❻   "" -               ! P6 - Communication speed
❼   "/SPOOL=(2UP,DISK1$:) " -
      -                  ! P7 - Set device qualifier
❽   ""                 ! P8 - Verify on/off
```

❶ パラメータ **p1**は，プリント・ジョブが実行される 2UP という実行キューの名前です。

❷ パラメータ **p2**は, FOO::TTB4: であり，この実行キューが駆動する FOO ノードの TTB4 という装置を指定します (VAXcluster 内プリンタなので， FOO は scsnode-name です)。

❸ パラメータ **p3**は，ライブラリ・サーチ・リストの論理名として CPS_LIB という値を与えます。サーチ・リストを定義し，同じ CPS$STARTUP コマンド・ファイル内の他の場所にある CPS_ LIB 論理名定義でこのサーチ・リストを対応づけていなければなりません。

❹ パラメータ**p4**は，“NUMBER_UP=2”であり，これは実行キューの省略時のパラメータです。

❺ パラメータ **p5**は， "/DEFAULT=(FLAG， FORM=MYFORM， NOFEED)"であり，これは各ファイルの前にフラグ・ページの印刷を追加し，この実行キュー内のジョブに対して省略時のフォーム (MYFORM) を指定します。

❻ パラメータ **p6**は，ヌル文字列 (“”) であり， 9600 ボーという省略時の通信速度をそのまま使用します。たとえば，通信速度を 4800 ボーに変更するには，ヌル文字列 (“”) の代わりに 4800 を使用します (このパラメータはシリアル・プリンタにのみ適用されます)。

❼ パラメータ **p7**は, /SPOOL= (2UP， DISK1$:) であり， SET DEVICE の省略時の属性である NOSPOOLED を SPOOLED に変更します。この機能はシリアル・プリンタにのみ適用されます。

❽ パラメータ **p8**は， SET VERIFY コマンドの値であり，変更されません (省略時の値は， SET NOVERIFY)。

例 5–3 は，表 5–1 に示したパラメータを使用して， PrintServer プリンタの実行キューを設定する方法を示しています。この実行キューは，省略時の設定により，用紙の両面にジョブを印刷します (SIDES=2)。

例 5–3　PrintServer 実行キューの設定

```
$ @SYS$STARTUP:CPS$EXECUTION_QUEUE -
❶   LPS20$BULL09 -     ! P1 - execution queue name
❷   BULL09:: -         ! P2 - device name (PrintServer node name)
❸   CPS_LIB -          ! P3 - logical name for your library search list
❹   "/PARAM=SIDES=2" -     ! P4 - defines a default queue parameter
❺   "" -               ! P5 - value to override/add to default qualifiers
❻   "" -               ! P6 - communication speed
❼   "" -               ! P7 - set device qualifier
❽   ""                 ! P8 - verify on/off
```

❶ パラメータ **p1**は，プリント・ジョブが実行される実行キューの名前です (LPS20$BULL09)。

❷ パラメータ **p2**は, BULL09:: であり，プリンタ・ノード名を指定します。

❸ パラメータ **p3**は，はライブラリ・サーチ・リストの論理名として CPS_LIB という値を与えます。サーチ・リストを定義し，同じ CPS$STARTUP コマンド・ファイル内の他の場所にある CPS_LIB 論理名定義でこのサーチ・リストを対応づけていなければなりません。

❹ パラメータ**p4**は，省略時のパラメータ値 (SIDES=2) です。

p5 ~ **p8**パラメータは使用されません。

5.5 ジェネリック・キューの設定

ジェネリック・キュー構造を定義するには，スタートアップ・ファイル内の指定された場所で，表 5–2 に示したパラメータに対して値を指定してください。

表 5–2　ジェネリック・キューのパラメータ値

パラメータ	値
p1 (必須)	ジェネリック・キューの名前
p2 (必須)	ジェネリック・キューがジョブを送信する宛先となる実行キューの名前。各ジェネリック・キュー定義に対して少なくとも 1 つの実行キュー名を指定しなければならない。

(次ページに続く)

表 5–2 (続き)　ジェネリック・キューのパラメータ値

パラメータ	値
p3 (省略可能)	ジェネリック・キュー・パラメータの省略時の設定。
p4 (省略可能)	省略時の修飾子に追加されるか，またはこの修飾子を変更する値。
p5 (省略可能)	検証機能のオン/オフを設定する。 DCL の SET VERIFY コマンドを制御する。省略時は SET NOVERIFY である。
p6	DEC が使用するために確保されている。
p7	DEC が使用するために確保されている。
p8	DEC が使用するために確保されている。

ジェネリック・キューの例

例 5–4 は，表 5–2 に示したパラメータを使用して， ReGIS プリント・ジョブのためにジェネリック・キューを設定する方法を示しています。このジェネリック・キューは， 2 つの ScriptPrinter 実行キューのいずれかにプリント・ジョブを送信します。

例 5–4　ジェネリック・キューの設定

```
$ @SYS$STARTUP:CPS$GENERIC_QUEUE -
❶     LN03R_REGIS -             ! P1 - Generic queue name
❷     "LN03R_TTB4,LN03R_TTB7" - ! P2 - Execution queue names
❸     "DATA_TYPE=REGIS"         ! P3 - Default queue parameter
```

❶ パラメータ**p1**は，LN03R_REGIS という値であり， ReGIS プリント・ジョブを印刷するためのジェネリック・キューの名前を指定します。

❷ パラメータ**p2**は，実行キューの名前として LN03R_TTB4 と LN03R_TTB7 を指定します。これらの実行キューは，ジェネリック・キューが実行のために ReGIS プリント・ジョブを送信する宛先です。

❸ パラメータ**p3**は，“DATA_TYPE=REGIS”であり，ジェネリック・キューの PRINT/PARAMETERS の省略時のデータ構文として ReGIS を指定します。

p4 ~ **p5**パラメータは使用されません。

注意 LN82R プリンタでは，各用紙サイズの周囲約 5mm ~ 7mm には印刷できません。このため，周囲にマージンをとっていないようなフォーマットの場合，文字や図が紙の周囲で欠けることがあります。これを避けるために， LN82R 用のジェネリック・キューでは，レイアップ・ファイルを用いて印刷イメージをやや縮小して，ページがプリンタの印刷可能領域内に確実におさまるようにすることを強くお勧めします。このために，LPS$LN82RMARGIN というレイアップ定義が提供されています。パラメータ**p3**でこれを指定する例を以下に示します。

```
"DATA_TYPE=KANJI, LAYUP=LPS$LN82RMARGIN"
```

5.6 キューの省略時のパラメータの定義

多くの PRINT パラメータは， PRINT コマンドを使用して設定するか，または省略時の設定としてキューに対応づけることができます。 PRINT パラメータに関しては，「日本語 DECprint プリンティング・サービス/VMS ユーザーズ・ガイド」に記述されています。

日本語 DECprint プリンティング・サービス・スタートアップ・ファイルを編集して，各キューに対して省略時のパラメータを設定できます。キューに対する省略時のパラメータは，ユーザが PRINT コマンド・ラインで異なるパラメータ値を指定しない限り，キューのプリント・ジョブが印刷されるときに使用されます。 PRINT コマンド・ラインで指定したパラメータ値は，キューに対する省略時のパラメータ値よりも優先されます。

たとえば， TTB4 というプリンタに対して ReGIS ファイルをプリントするためのジェネリック・キューを設定するには，以下の定義を SYS$STARTUP:CPS$STARTUP.COM に追加します。

```
@sys$startup:cps$generic_queue -     ! ReGIS queue
      REGIS_TTB4 -                   ! P1 - Generic queue name
      TTB4 -                         ! P2 - /GENERIC = execution queues
      "DATA_TYPE=REGIS"              ! P3 - Default queue parameters
```

CPS$STARTUP.COM を実行する途中で，CPS$GENERIC_QUEUE.COM は，システム全体で有効な論理名として CPS$REGIS_TTB4_PARAMETER を定義し，DATA_TYPE=REGIS を設定します。

この定義を有効にするためには，プリント・スタートアップ・コマンド・ファイルを再実行しなければなりません。

```
$  @SYS$STARTUP:CPS$STARTUP.COM
```

5.6.1　キューに対応づけられるパラメータの構文

CPS$STARTUP.COM の中で，キューに対する省略時のパラメータとして指定されたパラメータは，PRINT/PARAMETERS コマンドに入力するパラメータと同じ規則にしたがわなければなりません。しかし，特殊文字や区切り文字を含むパラメータは，PRINT コマンドでは二重引用符 (") で囲みます。キュー定義では二重引用符で囲んではいけません。

たとえば，以下の PRINT コマンドでは，FONTS_USED パラメータとその引数を二重引用符で囲まなければなりません。

```
$  PRINT/PARAMETER=(PAGE_ORIENTATION=LANDSCAPE,-
"FONTS_USED=(CGTIMES8-10-12_MCS,CGTRIUM8-10-12_MCS)",NUMBER_UP=2)
```

以下の論理名定義では，FONTS_USED パラメータとその引数を二重引用符で囲みません。

```
@sys$startup:cps$generic_queue -      ! ANSI queue
     ANSI_TTB4 -                      ! P1 - Generic queue name
     TTB4 -                           ! P2 - Execution queue name(s)
     "PAGE_ORIENTATION=LANDSCAPE,-"
     "FONTS_USED=(CGTIMES8-10-12_MCS,CGTRIUM8-10-12_MCS),NUMBER_UP=2"
                                      ! P3 - Default queue parameters
```

この例では，CPS$GENERIC_QUEUE.COM は，システム全体で有効な論理名として CPS$ANSI_TTB4_PARAMETER を作成します。この論理名には，以下の省略時のプリント・パラメータが割り当てられます。

- PAGE_ORIENTATION=LANDSCAPE
- FONTS_USED=(CGTIMES8-10-12_MCS,CGTRIUM8-10-12_MCS)
- NUMBER_UP=2

5.6.2　キューに対応するパラメータ内の構文エラー

CPS$STARTUP.COM にパラメータを入力するときに，入力ミスした場合には，プリント・ジョブは印刷されますが，そのパラメータと後続のパラメータは処理されません。しかし，前のパラメータは影響を受けません。プリント・システムはエラー・メッセージを生成します。このメッセージは，画面に表示される他，該当するプリント・ジョブのジョブ・トレーラ・ページにも印刷されます。処理されなかったパラメータは，標準的な省略時の設定になります (第 5.6.3 節を参照してください)。

構文エラーと対応するエラー・メッセージの例

以下の例では，PAGE_ORIENTATION パラメータに対する引数に余分な‘‘L’’が指定されています。したがって，プリント・システムは 2 番目と 3 番目のパラメータ (PAGE_ORIENTATION と SHEET_COUNT) を無視します。プリント・システムは DATA_TYPE=TEK4014 という値だけを処理します。

```
@SYS$STARTUP:CPS$TEK$PRINT -          ! Tektronix 4010/4014 queue
```

```
TEK4014_TTB4 -                    ! P1 - Generic queue name
TTB4 -                            ! P2 - Execution queue name(s)
"DATA_TYPE=TEK4014,PAGE_ORIENTATION=LLANDSCAPE,SHEET_COUNT=5"
                                  ! P3 - Default queue parameters
```

このキューに対応する各プリント・ジョブに対して，以下のようなエラー・メッセージが画面とジョブ・トレーラ・ページのメッセージ・セクションに表示されます。

```
10-APR-1989 15:21 %LPS-E-PARSYNERR, Syntax error in the /PARAMETERS
qualifier at or near PAGE_O=LLANDSCAPE)
```

5.6.3 パラメータに対する省略時の設定の優先順位

ジェネリック・キューに対する省略時のパラメータは，実行キューに対して定義した省略時のパラメータより優先します。しかし，ジェネリック・キューの設定で構文エラーが検出されると，実行キューの設定が採用され，ジェネリック・キューによって設定された値より優先します。

PRINT コマンドの/PARAMETERS 修飾子によって設定されたパラメータは，キューに対して設定された省略時の値より優先します。シンビオントは以下に示すように，優先順位の高い順から低い順にパラメータの省略時の値を選択します。

1 PRINT コマンドで指定されたパラメータ。

2 DATA_TYPE パラメータの場合には，タグ付きファイルによってデータ・タイプが指定されます。

3 CPS$STARTUP.COM ファイルに指定されているジェネリック・キューの省略時の設定。

4 CPS$STARTUP.COM ファイルに指定されている実行キューの省略時の設定。

5 日本語 DECprint プリンティング・サービスに組み込まれているパラメータ値。

- DATA_TYPE=ANSI
- INPUT_TRAY=プリンタに依存
- LAYUP_DEFINITION=定義されない
- MESSAGES=NOMESSAGES
- NUMBER_UP=0
- OUTPUT_TRAY=プリンタに依存
- PAGE_LIMIT=制限なし
- PAGE_ORIENTATION=PORTRAIT
- PAGE_SIZE=(SHEET_SIZE と同じ)

- SHEET_COUNT=1
- SHEET_SIZE=省略時の設定に関する規則については日本語 DECprint プリンティング・サービス/VMS ユーザーズ・ガイドを参照。
- SIDES=プリンタに依存
- TAB=NOTAB

プリンタに依存する項目は，日本語 DECprint プリンティング・サービスの外部で設定されます。プリントサーバは，サーバ管理ソフトウェア上で設定できますし， DEClaser や LN82R は，プリンタの制御パネルによる設定ができます。

5.7 キューに対する省略時の修飾子の変更

省略時の設定では，プリンタ・スタートアップ・コマンド・プロシージャは以下の修飾子を使用してプリント・キューを作成します。

- /SEPARATE=(BURST,TRAILER,NORESET)
- /DEFAULT=(NOFEED)
- /FORM=CPS$DEFAULT

これらの修飾子に対応する省略時の値は，スタートアップ・コマンド・ファイル， CPS$STARTUP.COM で再定義できます。必要な値を実行キュー定義のパラメータ**p5**に指定してください (例 5–2 を参照)。たとえば，以下の省略時の修飾子を定義できます。

- /SEPARATE=(FLAG)
- /DEFAULT=(FEED)
- /FORM=MYFORM

これらの省略時の修飾子の値を定義するには， CPS$STARTUP.COM の**p5**に以下の修飾子を指定します。

```
/DEFAULT=(FLAG,FEED,FORM=MYFORM)
```

CPS$STARTUP.COM を編集し，エディタを終了した後，プリント・キューを停止しなければなりません。続いて，第 3.3 節の説明にしたがってプリント・キューを起動できます。

5.8 LPS$STARTUP.COM からの移行

VAX 日本語プリントサーバ・クライアント・ソフトウェアを使用している場合で，同じキューの定義を CPS$STARTUP.COM で行うようにしたいときは， LPS$STARTUP.COM で定義されていたキューやライブラリ・サーチ・リストは CPS$STARTUP.COM に移行させなければなりません。表 5–3 に， LPS$STARTUP.COM の中の定義と CPS$STARTUP.COM での定義の対応を示します。表 5–3 の小文字のイタリック体で示された部分を CPS$STARTUP.COM の対応する部分にコピーすることによって，同じキューの定義ができます。

表 5–3　LPS$STARTUP.COM と CPS$STARTUP.COM の対応

LPS$STARTUP.COM	CPS$STARTUP.COM
デフォルト・フォーム定義 DEFINE/FORM ・ ・ ・ LPS$$FORM	必要なし
LAYUP ディレクトリ定義 $DEFINE/SYSTEM/EXECUTIVE LPS$LAYUP	必要なし
装置制御ライブラリ・サーチ・リスト定義 （カスタム定義）	カスタム定義をしていないならば，必要なし
$DEFINE/SYSTEM/EXECUTIVE *logical-name* LPS$DEVCTL...	$define/system/executive/nolog *logical-name* CPS$DEVCTL... （... の部分を LPS$STARTUP.COM と同じにする）
実行キュー定義	
$INITIALIZE ・・・	
/ON=*node-name*	実行キュー・パラメータ**p2**
/LIBRARY=*logical-name*	実行キュー・パラメータ**p3**
・・・	(論理名を定義していなければ， cps_lib のままでよい。)
/SEPARATE=[RESET =(CPS$$EOJ),...	フラグ/バースト/トレーラ・ページの設定をする場合は，実行キュー・パラメータの**p5**で "/SEPARATE=(...)"とする。バースト・ページを出力しない場合は明示的に NOBURST を指定すること。
・・・	このとき， RESET は指定してはならない。

(次ページに続く)

表 5–3 (続き)　LPS$STARTUP.COM と CPS$STARTUP.COM の対応

LPS$STARTUP.COM	CPS$STARTUP.COM
/FORMS=LPS$$FORM	
queue-name	実行キュー・パラメータの**p1**
ジェネリック・キュー定義	
$INITIALIZE/QUEUE	
/GENERIC=*queue-name*	ジェネリック・キュー・パラメータの**p2**
・・・	
generic-queue-name	ジェネリック・キュー・パラメータの**p1**
$DEFINE/SYSTEM/EXECUTIVE	ジェネリック・キュー・パラメータの**p3**
..."*parameter*"	

付録 B の例 B–2 に LPS$STARTUP.COM の例を，例 B–3 にそれに対応した CPS$STARTUP.COM の例を示します。

A

インストレーション・セッションの例

例 A–1 は，VMS 日本語 DECprint プリンティング・サービス・ソフトウェア，V4.0 のインストレーションの例を示しています。

例 A–1　インストレーションの例

```
@sys$update:vmsinstal cpsj040 kits$:

       VAX/VMS Software Product Installation Procedure V5.4

It is 14-DEC-1990 at 11:24

Enter a question mark (?) at any time for help.

* Are you satisfied with the backup of your system disk [YES]?  Y
The following products will be processed:

   CPSJ V4.0

        Beginning installation of CPSJ V4.0 at 11:31

%VMSINSTAL-I-RESTORE, Restoring product saveset A ...

%VMSINSTAL-I-RELMOVED, The product's release notes have been
moved to SYS$HELP.

* Do you want to purge files replaced by this installation [YES]? Y

* Full definition for LPS$LayUp [sys$sysroot:[syshlp.examples.cps]]:

* Do you want to install the ALL-IN-1 Compatibility Kit [YES]?) Y

%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system disk directory
VMI$ROOT:[SYSTEST.CPS].

%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system disk directory
VMI$ROOT:[SYSHLP.EXAMPLES.CPS].

%CPS-I-NOQUES, No further questions will be asked
%VMSINSTAL-I-RESTORE, Restoring product saveset B ...
%VMSINSTAL-I-RESTORE, Restoring product saveset C ...
```

(次ページに続く)

例 A–1 (続き)　インストレーションの例

```
Software installer:

        Please remember to copy SYS$StartUp:CPS$StartUp.Template to
        SYS$StartUp:CPS$StartUp.Com.  Then edit this file following
        the instructions to create your queues.  Finally execute
        this file to establish and start the queues.  Also remember
        to edit SYS$Manager:SyStartUp_V5.Com to establish your queues
        at system startup time.

        If you use LAT devices, this file should be executed after the
        LAT devices are created.  If you use PrintServers, this file
        should be executed after DECnet is running.  If you use both
        types of printers, both of the above conditions should be
        satisfied before the startup file is executed.

%VMSINSTAL-I-MOVEFILES, Files will now be moved to their target
directories...

%CPS-I-IVP, Beginning IVP...
Job CPS$IVP_POST (queue CPS$IVP_TEST, entry 2) started on
                                                    CPS$IVP_TEST

Job CPS$IVP_POST (queue CPS$IVP_TEST, entry 2) completed

Job CPS$IVP_ANSI (queue CPS$IVP_TEST, entry 3) started on
                                                    CPS$IVP_TEST

Job CPS$IVP_ANSI (queue CPS$IVP_TEST, entry 3) completed

Job CPS$IVP_REGIS (queue CPS$IVP_TEST, entry 4) started on
                                                    CPS$IVP_TEST

Job CPS$IVP_REGIS (queue CPS$IVP_TEST, entry 4) completed

Job CPS$IVP_REGIS_KANJI (queue CPS$IVP_TEST, entry 5) started on
                                                         CPS$IVP_TEST

Job CPS$IVP_REGIS_KANJI (queue CPS$IVP_TEST, entry 5) completed

Job CPS$IVP_REGIS_KANJI80 (queue CPS$IVP_TEST, entry 6) started on
                                                           CPS$IVP_TEST

Job CPS$IVP_REGIS_KANJI80 (queue CPS$IVP_TEST, entry 6) completed

Job CPS$IVP_TEK4014 (queue CPS$IVP_TEST, entry 7) started on
                                                      CPS$IVP_TEST

Job CPS$IVP_TEK4014 (queue CPS$IVP_TEST, entry 7) completed

Job CPS$IVP_TEK_KANA (queue CPS$IVP_TEST, entry 8) started on
                                                       CPS$IVP_TEST

Job CPS$IVP_TEK_KANA (queue CPS$IVP_TEST, entry 8) completed

Job CPS$IVP_PCL (queue CPS$IVP_TEST, entry 9) started on
                                                    CPS$IVP_TEST

Job CPS$IVP_PCL (queue CPS$IVP_TEST, entry 9) completed
```

(次ページに続く)

例 A–1 (続き)　インストレーションの例

```
Job CPS$IVP_KANJI (queue CPS$IVP_TEST, entry 10) started on
                                                    CPS$IVP_TEST

Job CPS$IVP_KANJI (queue CPS$IVP_TEST, entry 10) completed

Job CPS$IVP_KANJI78 (queue CPS$IVP_TEST, entry 11) started on
                                                      CPS$IVP_TEST

Job CPS$IVP_KANJI78 (queue CPS$IVP_TEST, entry 11) completed

Job CPS$IVP_LA_KANJI (queue CPS$IVP_TEST, entry 12) started on
                                                       CPS$IVP_TEST

Job CPS$IVP_LA_KANJI (queue CPS$IVP_TEST, entry 12) completed

 IVP successful for DECprint Printing Services CPSJ V4.0
 Installation of CPSJ V4.0 completed at 12:26

 VMSINSTAL procedure done at 12:44
```

B

スタートアップ・コマンド・ファイルの例

例 B–1 は，プリンタ・スタートアップ・ファイル・テンプレートを示しています。

例 B–1　プリンタ・スタートアップ・コマンド・ファイルの例

```
$! CPS$Startup.Com is the startup file that is executed to startup CPS.  It is
$! template driven to allow you to fully specify the queue structure yet at the
$! same time allow Digital to update the software without disturbing your
$! customizations.
$!
$! Version:  V4.0
$!
$! The first part of the file is mandatory and MUST be executed FIRST.  The
$! second part is for your customizations.
$
$! Protect against environment running in.
$ set symbol /scope=(nolocal, noglobal)
$
```

(次ページに続く)

例 B–1 (続き)　プリンタ・スタートアップ・コマンド・ファイルの例

```
$ @sys$startup:cps$required
$ if .not. $status then exit
$
$!
$! Modify definition of PSM$ANNOUNCE here. Just remember it will effect
$! all queues on the system.
$!
$! def/sys/exe  psm$announce "DECprint printing services system"
$!+----------
$! Define your device control library logical name here.  The first
$! "define/system" (commented out) is an example of how to define a
$! search list of device control libraries.  Note that CPS$devctl
$! should always be first in the list.
$!
$! define /system /exec /nolog cps_lib cps$devctl, "ansi/data=ansi", -
$!      "kanji/data=kanji", "ps/data=post"
$!
$
$ define /system /exec /nolog cps_lib cps$devctl
$
$!-----------
$
$!+----------
$! If a printer is connected via a DECserver (LAT), you may want to consider
$! defining the application port here instead of in Sys$manager:ltload.com
$! to keep everything in one place.  Here is an example of a port definition:
$!
$! run sys$system:latcp
$! crea port lta1 /application /nolog
$! set port lta1 /node=YOUR_DECSERVER_NAME_HERE /port=port_3 /application /queue
$!-----------
$
```

(次ページに続く)

例 B–1 (続き)　プリンタ・スタートアップ・コマンド・ファイルの例

```
$!+----------
$! Enter your queue structure below this line
$!----------
$
$! Here is a sample queue structure:  One execution queue on device TZZ0:,
$! and three generic queues (one ANSI, one Kanji, one PostScript).  Modify these
$! commands and add additional ones to reflect your desired queue structure.
$
$ on error then continue
$ @sys$startup:cps$execution_queue -
      cps -                             ! P1 - Execution queue name
      tzz0: -                           ! P2 - Serial Device name or
        -                               !      PrintServer node name
      cps_lib -                         ! P3 - Logical name for library(ies)
      ""-                               ! P4 - Default queue parameters
      ""-                               ! P5 - Default queue qualifiers
      ""-                               ! P6 - Communication speed(serial
        -                               !      devices only)
      ""-                               ! P7 - Device characteristics
      ""                                ! P8 - Verify on/off
$
$ on error then continue
$ @sys$startup:cps$generic_queue -      ! ANSI generic queue
        cps_ansi -                      ! P1 - Generic queue name
        cps -                           ! P2 - Execution queue name(s)
        "data=ansi"-                    ! P3 - Default queue parameters
          -                             !      (For LN82R include following:
          -                             !       layup_def=lps$ln82rmargin)
        ""-                             ! P4 - reserved
        ""                              ! P5 - Verify on/off
$
$ on error then continue
$ @sys$startup:cps$generic_queue -      ! Kanji generic queue
        cps_kanji -                     ! P1 - Generic queue name
        cps -                           ! P2 - Execution queue name(s)
        "data=kanji"-                   ! P3 - Default queue parameters
          -                             !      (For LN82R include following:
          -                             !       layup_def=lps$ln82rmargin)
        ""-                             ! P4 - reserved
        ""                              ! P5 - Verify on/off
$
$ on error then continue
$ @sys$startup:cps$generic_queue -      ! PostScript generic queue
        cps_ps -                        ! P1 - Generic queue name
        cps -                           ! P2 - Execution queue name(s)
        "data=post"-                    ! P3 - Default queue parameters
          -                             !      (For LN82R include following:
          -                             !       layup_def=lps$ln82rmargin)
        ""-                             ! P4 - reserved
        ""                              ! P5 - Verify on/off
```

(次ページに続く)

例 B–1 (続き)　プリンタ・スタートアップ・コマンド・ファイルの例

```
$
$ exit
$! Parameter definition and example for execution and generic queues.
$!
$! CPS$execution_queue.com:
$!
$!      P1 is the queue name.
$!
$!      P2 is the device name for /On.  For example:
$!          txa0:               ! For a ScriptPrinter on a serial line
$!          lta1:               ! For a ScriptPrinter on a DECserver port
$!          lda1:               ! For the LN03 Image Printer
$!          foo::txa4:          ! Txa4 on node foo - for clusters
$!          iguana::            ! PrintServer node name(must not be used on
$!                              ! a cluster)
$!          foo::iguana::       ! PrintServer node name for clusters
$!
$!      P3 is the logical name for the /library qualifier.  If you want to
$!         have a library list to pick up your custom library, you must define
$!         a logical name that defines the libraries.  See cps_lib in this file
$!         for an example.
$!
$!      P4 is used to define the queue defaults for /Parameter.  For example,
$!         a queue might be default to make 2 copies with room to punch holes.
$!         Here is what would be supplied to do make that the queue default:
$!          "sheet_count=2, layup_def=lps$holes"
$!
$!      P5 is used to override, or specify other qualifiers to init/que.  Here
$!         are some examples:
$!          /wsquota=10000              ! Needed for the LN03 Image Printer
$!          "/form=my_form /schedule=size"
$!
$!      P6 is used to specify the device speed for a serial line.  Note that
$!         it has no effect for LAT devices.  The default is 9600.  If you
$!         have a DMZ32, you should set the speed to 4800.
$!
$!      P7 is used to specify other device characteristics.  For example, if
$!         you want the device spooled, you would say:
$!          /spooled=(my_queue, my_disk)
$!
$!      P8 is used to set VERIFY on/off; Specify "1" to set VERIFY on.
$!
$! CPS$Generic_queue.com:
$!
$!      P1 is the queue name.
$!
$!      P2 is list of execution queues for /GENERIC.  For example:
$!          "queue1, queue2"
$!
$!      P3 is used to define the queue defaults for /Parameter.  For example,
```

(次ページに続く)

例 B–1 (続き)　プリンタ・スタートアップ・コマンド・ファイルの例

```
$!          a queue might be default to make 2 copies with room to punch holes.
$!          Here is what would be supplied to do make that the queue default:
$!          "sheet_count=2, layup_def=lps$holes"
$!          For LN82R, following queue default SHOULD be included:
$!          "layup_def=lps$ln82rmargin"
$!
$!      P4 is used to override, or specify other qualifiers to init/que.
$!
$!      P5 is used to set VERIFY on/off; Specify "1" to set VERIFY on.
```

例 B–2，例 B–3 は，VAX 日本語プリントサーバ・クライアント・ソフトウェアの LPS$STARTUP.COM を CPS$STARTUP.COM へ移行させる例です。例 B–2 が LPS$STARTUP.COM，例 B–3 がそれに対応した CPS$STARTUP.COM の関連する部分です。

例 B–2　LPS$STARTUP.COM

```
$ !+
$ !            L P S $ S T A R T U P . C O M
$ !
$ !                    LPSVJ V3.2
$ !
.
.
.
$ DEFINE/SYS/EXEC all_devctl lps$devctl,"my_devctl/data=kanji",-
                             "my_devctl/data=ansi",post_devctl
$ !
$ START_QUEUE = "NOSTART"
$ CLIENT_INSTALLED_NODE = "JRDABS"
$ CLUSTER_NODE_NAME = F$GETSYI("NODENAME") - "::"
$ IF (CLIENT_INSTALLED_NODE .EQS. CLUSTER_NODE_NAME) THEN $ START_QUEUE = "START"
$ !+
$ ! Initialize and start queue for PrintServer JLPS
$ !-
$! Initialize physical queue LPS40$JLPS
$ INITIALIZE    /QUEUE-
                /'START_QUEUE'-
                /ON=JLPS -
                /LIBRARY=ALL_DEVCTL-
               /NOENABLE_GENERIC-
                /SEPARATE=(RESET=(LPS$$EOJ),FLAG,NOTRAILER)-
                /DEFAULT=(FORM=LPS$$FORM,NOFEED)-
                /SCHEDULE=NOSIZE-
                /PROCESSOR=LPS$SMB-
               /FORMS=LPS$$FORM-
                LPS40$JLPS
$ !+
$ ! Setup generic queue of data type ANSI for print server JLPS
$ !-
$ INITIALIZE/QUEUE/GENERIC=(LPS40$JLPS)/START/SCHEDULE=SIZE  ANSI_JLPS
$ DEFINE/SYSTEM/EXECUTIVE LPS$ANSI_JLPS_PARAMETER "DATA_TYPE=ANSI"
$ !+
$ ! Setup generic queue of data type KANJI for print server JLPS
$ !-
$ INITIALIZE/QUEUE/GENERIC=(LPS40$JLPS)/START/SCHEDULE=SIZE  KANJI_JLPS
$ DEFINE/SYSTEM/EXECUTIVE LPS$KANJI_JLPS_PARAMETER "DATA_TYPE=KANJI"
$ !+
$ ! Setup generic queue of data type POSTSCRIPT for print server JLPS
$ !-
```

(次ページに続く)

例 B–2 (続き)　LPS$STARTUP.COM

```
$ INITIALIZE/QUEUE/GENERIC=(LPS40$JLPS)/START/SCHEDULE=NOSIZE  PS_JLPS
$ DEFINE/SYSTEM/EXECUTIVE LPS$PS_JLPS_PARAMETER "DATA_TYPE=POSTSCRIPT"
```

例 B–3　対応する CPS$STARUP.COM

```
$! CPS$Startup.Com is the startup file that is executed to startup CPS.  It is
$! template driven to allow you to fully specify the queue structure yet at the
$! same time allow Digital to update the software without disturbing your
$! customizations.
$!
$! Version:  V4.0
$!
.
.
.
$!+----------
$! Define your device control library logical name here.  The first
$! "define/system" (commented out) is an example of how to define a
$! search list of device control libraries.  Note that CPS$devctl
$! should always be first in the list.
$!
$ define /system /exec /nolog all_devctl cps$devctl, "my_devctl/data=kanji", -
      "my_devctl/data=ansi", "post_devctl/data=post"
$
$!-----------
.
.
.
$
$ on error then continue
$ @sys$startup:cps$execution_queue -
      lps40$jlps -                        ! P1 - Execution queue name
      jrdabs::jlps:: -                    ! P2 - Serial Device name or
        -                                 !      PrintServer node name
      all_devctl -                        ! P3 - Logical name for library(ies)
      ""-                                 ! P4 - Default queue parameters
      "/separate=(flag,noburst,notrailer)"-     ! P5 - Default queue qualifiers
      ""-                                 ! P6 - Communication speed(serial
        -                                 !      devices only)
      ""-                                 ! P7 - Device characteristics
      ""                                  ! P8 - Verify on/off
$
$ on error then continue
$ @sys$startup:cps$generic_queue -      ! ANSI generic queue
        ansi_jlps -                     ! P1 - Generic queue name
        lps40$jlps -                    ! P2 - Execution queue name(s)
        "data=ansi"-                    ! P3 - Default queue parameters
          -                             !      (For LN82R include following:
```

(次ページに続く)

例 B–3 (続き)　対応する CPS$STARUP.COM

```
          -                                !       layup_def=lps$ln82rmargin)
        ""-                                ! P4 - reserved
        ""                                 ! P5 - Verify on/off
$
$ on error then continue
$ @sys$startup:cps$generic_queue -         ! Kanji generic queue
        kanji_jlps -                       ! P1 - Generic queue name
        lps40$jlps -                       ! P2 - Execution queue name(s)
        "data=kanji"-                      ! P3 - Default queue parameters
          -                                !      (For LN82R include following:
          -                                !       layup_def=lps$ln82rmargin)
        ""-                                ! P4 - reserved
        ""                                 ! P5 - Verify on/off
$
$ on error then continue
$ @sys$startup:cps$generic_queue -         ! PostScript generic queue
        ps_jlps -                          ! P1 - Generic queue name
        lps40$jlps -                       ! P2 - Execution queue name(s)
        "data=post"-                       ! P3 - Default queue parameters
          -                                !      (For LN82R include following:
          -                                !       layup_def=lps$ln82rmargin)
        ""-                                ! P4 - reserved
        ""                                 ! P5 - Verify on/off
$
$ exit
```

C

インストレーション検証からの出力

日本語 DECprint プリンティング・サービス V4.0 のインストレーション検証プロシージャ (IVP) は用紙に実際に印刷されるわけではありません。しかし，IVP ファイルは SYS$COMMON:[SYSTEST.CPS]に登録されます。これらのファイルをプリンタで印刷すれば，キュー構成とプリンタ操作が正しいかどうかを確認できます。

これらのファイルの印刷方法については，第 3.5 節を参照してください。

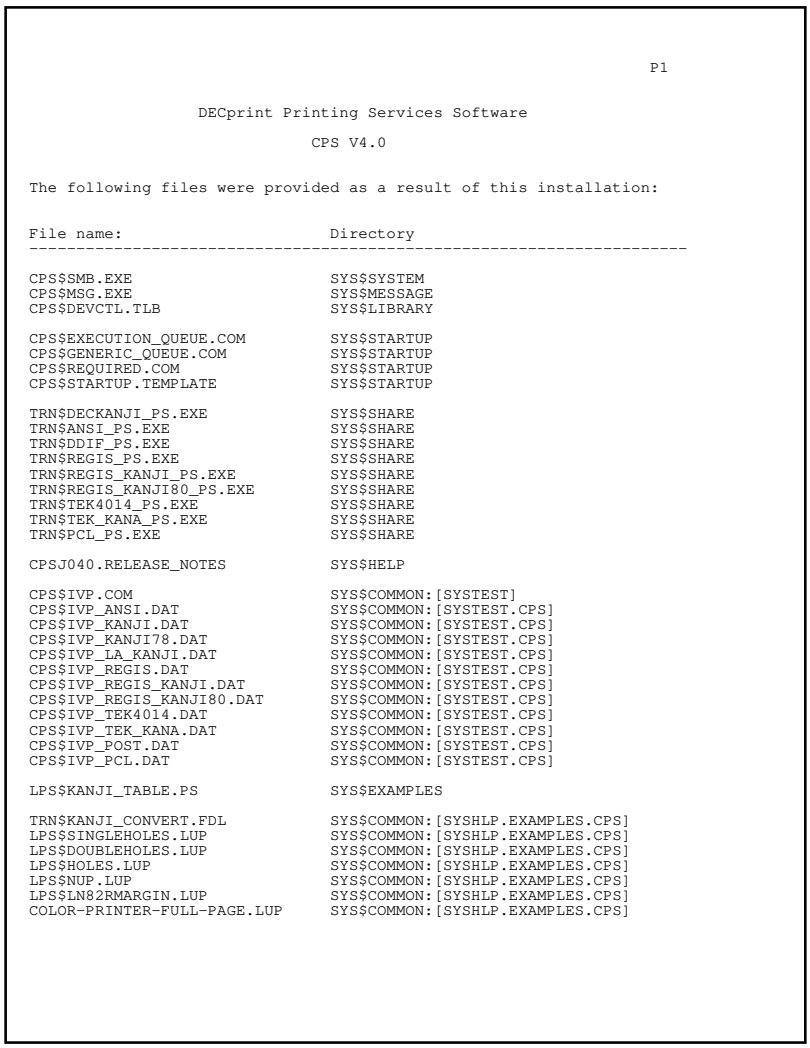
図 C–1 ~図 C–13 は，インストレーション検証プロシージャ (IVP) からの出力ファイルを印刷したもののコピーです。実際のプリンタ出力をこれらのコピーと注意深く比較してください。ここにはフラグ・ページとトレーラ・ページは示されていません。これらのページは，インストレーションを実行するシステムおよびユーザに応じて異なるからです。データ出力に相違点がある場合には，DEC 社のカスタマ・サービスの担当者にご連絡ください。

図 C–1 は ANSI データ構文のテスト・ファイルのプリント・アウトです。このファイルは以下のコマンドを使用して印刷できます。

```
$PRINT/QUEUE=queue-name/PARAMETERS=(DATA_TYPE=ANSI)/NOTIFY -
SYS$COMMON:[SYSTEST.CPS]CPS$IVP_ANSI.DAT
```

以下，図 C–11 までのプリント・アウトは，上記のコマンドの ANSI の部分をそれぞれのデータ・タイプに置き換えることによって印刷できます。

図 C–1　　IVP 出力のプリント・アウト —ANSI データ・ページ (1 ページ目)



```
                                                                    P1

                  DECprint Printing Services Software

                              CPS V4.0

The following files were provided as a result of this installation:

File name:                      Directory
-------------------------------------------------------------------------

CPS$SMB.EXE                     SYS$SYSTEM
CPS$MSG.EXE                     SYS$MESSAGE
CPS$DEVCTL.TLB                  SYS$LIBRARY

CPS$EXECUTION_QUEUE.COM         SYS$STARTUP
CPS$GENERIC_QUEUE.COM           SYS$STARTUP
CPS$REQUIRED.COM                SYS$STARTUP
CPS$STARTUP.TEMPLATE            SYS$STARTUP

TRN$DECKANJI_PS.EXE             SYS$SHARE
TRN$ANSI_PS.EXE                 SYS$SHARE
TRN$DDIF_PS.EXE                 SYS$SHARE
TRN$REGIS_PS.EXE                SYS$SHARE
TRN$REGIS_KANJI_PS.EXE          SYS$SHARE
TRN$REGIS_KANJI80_PS.EXE        SYS$SHARE
TRN$TEK4014_PS.EXE              SYS$SHARE
TRN$TEK_KANA_PS.EXE             SYS$SHARE
TRN$PCL_PS.EXE                  SYS$SHARE

CPSJ040.RELEASE_NOTES           SYS$HELP

CPS$IVP.COM                     SYS$COMMON:[SYSTEST]
CPS$IVP_ANSI.DAT                SYS$COMMON:[SYSTEST.CPS]
CPS$IVP_KANJI.DAT               SYS$COMMON:[SYSTEST.CPS]
CPS$IVP_KANJI78.DAT             SYS$COMMON:[SYSTEST.CPS]
CPS$IVP_LA_KANJI.DAT            SYS$COMMON:[SYSTEST.CPS]
CPS$IVP_REGIS.DAT               SYS$COMMON:[SYSTEST.CPS]
CPS$IVP_REGIS_KANJI.DAT         SYS$COMMON:[SYSTEST.CPS]
CPS$IVP_REGIS_KANJI80.DAT       SYS$COMMON:[SYSTEST.CPS]
CPS$IVP_TEK4014.DAT             SYS$COMMON:[SYSTEST.CPS]
CPS$IVP_TEK_KANA.DAT            SYS$COMMON:[SYSTEST.CPS]
CPS$IVP_POST.DAT                SYS$COMMON:[SYSTEST.CPS]
CPS$IVP_PCL.DAT                 SYS$COMMON:[SYSTEST.CPS]

LPS$KANJI_TABLE.PS              SYS$EXAMPLES

TRN$KANJI_CONVERT.FDL           SYS$COMMON:[SYSHLP.EXAMPLES.CPS]
LPS$SINGLEHOLES.LUP             SYS$COMMON:[SYSHLP.EXAMPLES.CPS]
LPS$DOUBLEHOLES.LUP             SYS$COMMON:[SYSHLP.EXAMPLES.CPS]
LPS$HOLES.LUP                   SYS$COMMON:[SYSHLP.EXAMPLES.CPS]
LPS$NUP.LUP                     SYS$COMMON:[SYSHLP.EXAMPLES.CPS]
LPS$LN82RMARGIN.LUP             SYS$COMMON:[SYSHLP.EXAMPLES.CPS]
COLOR-PRINTER-FULL-PAGE.LUP     SYS$COMMON:[SYSHLP.EXAMPLES.CPS]
```

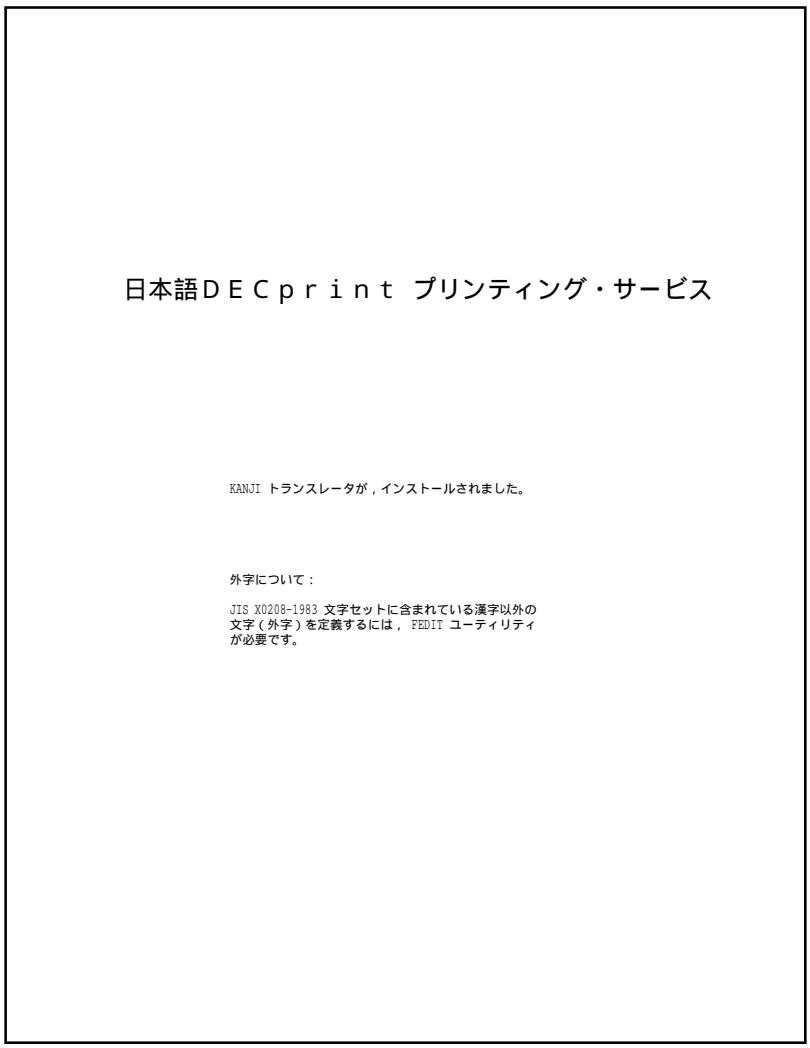
JRD-U0005

図 C–2　　IVP 出力のプリント・アウト —ANSI データ・ページ (2 ページ目)

```
                                                                P2

                  DECprint Printing Services Software

                              CPS V4.0

The following files were provided as a result of this installation:

File name:                      Directory
-----------------------------------------------------------------------

CPS$COMMON-PORT-SETTING.COM     SYS$COMMON:[SYSHLP.EXAMPLES.CPS]
CPS$CONFIG-PRINTER-PORT.COM     SYS$COMMON:[SYSHLP.EXAMPLES.CPS]
CPS$DS100-PORT-SETTINGS.COM     SYS$COMMON:[SYSHLP.EXAMPLES.CPS]
CPS$DS200-PORT-SETTINGS.COM     SYS$COMMON:[SYSHLP.EXAMPLES.CPS]
CPS$DS500-PORT-SETTINGS.COM     SYS$COMMON:[SYSHLP.EXAMPLES.CPS]
CPS$GET-DS100-PORT-GROUPS.COM   SYS$COMMON:[SYSHLP.EXAMPLES.CPS]
CPS$SET-DS-GROUPS.COM           SYS$COMMON:[SYSHLP.EXAMPLES.CPS]
CPS$SET-DS100-GROUPS.COM        SYS$COMMON:[SYSHLP.EXAMPLES.CPS]
CPS$SAVE-DS500-PORT.COM         SYS$COMMON:[SYSHLP.EXAMPLES.CPS]
PS-PRINTING-ALL-IN-1-COMPAT.SAV SYS$COMMON:[SYSHLP.EXAMPLES.CPS]*
PS-PRINTING-ALL-IN-1-COMPAT.TXT SYS$COMMON:[SYSHLP.EXAMPLES.CPS]*
LPS$STATUSDICT.PS               SYS$COMMON:[SYSHLP.EXAMPLES.CPS]
CPS$PAGE_COUNT.PS               SYS$COMMON:[SYSHLP.EXAMPLES.CPS]
CPS$DELETE-LPS-CLIENT.COM       SYS$COMMON:[SYSUPD]

LPS$SET_TIMEOUT.PS              SYS$MANAGER
LPS$SET_PRINTER_NAME.PS         SYS$MANAGER
CPS$USERSTART.PS                SYS$MANAGER

LPS_MAKERESFILE.EXE             SYS$COMMON:[SYSHLP.EXAMPLES.CPS]
LPS_MAKERES.COM                 SYS$COMMON:[SYSHLP.EXAMPLES.CPS]
LPS_DECKANJI_PROLOGUE.PS        SYS$COMMON:[SYSHLP.EXAMPLES.CPS]

* Optional files for ALL-IN-1 compatibility kit

The system help library was also modified as a result of this installation.
```

JRD-U0006

図 C–3　　IVP 出力のプリント・アウト —KANJI データ・ページ



JRD-U0007

図 C–4　　IVP 出力のプリント・アウト —KANJI78 データ・ページ (1 ページ目)

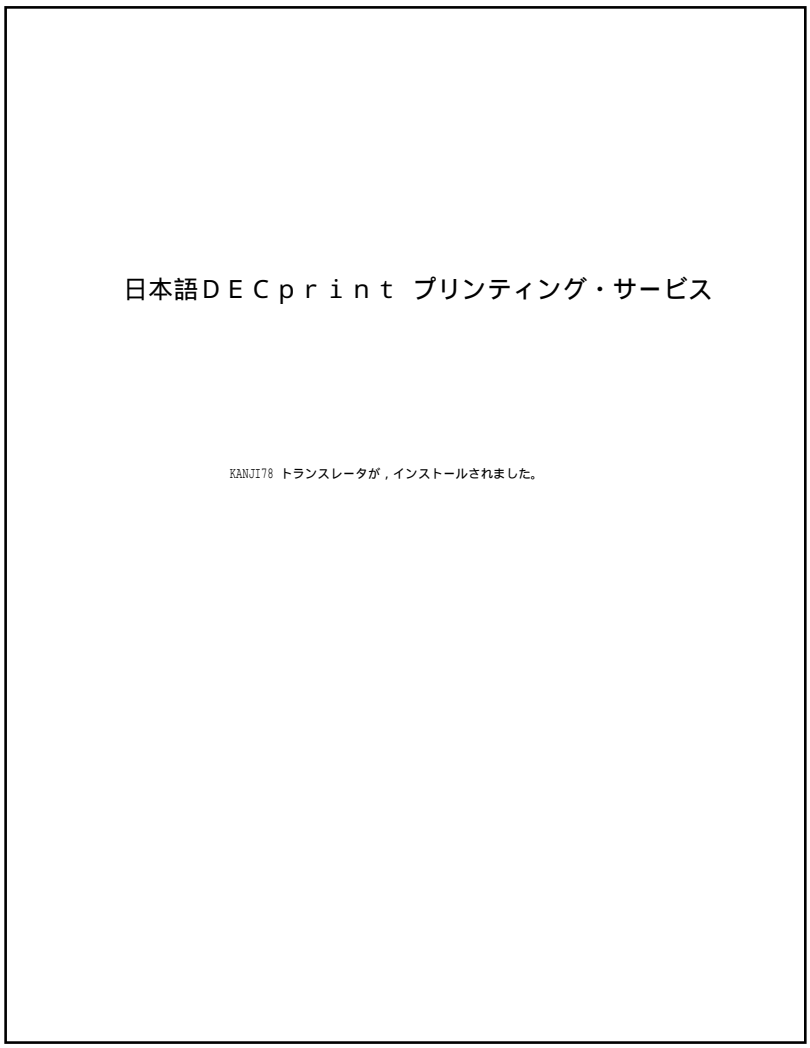


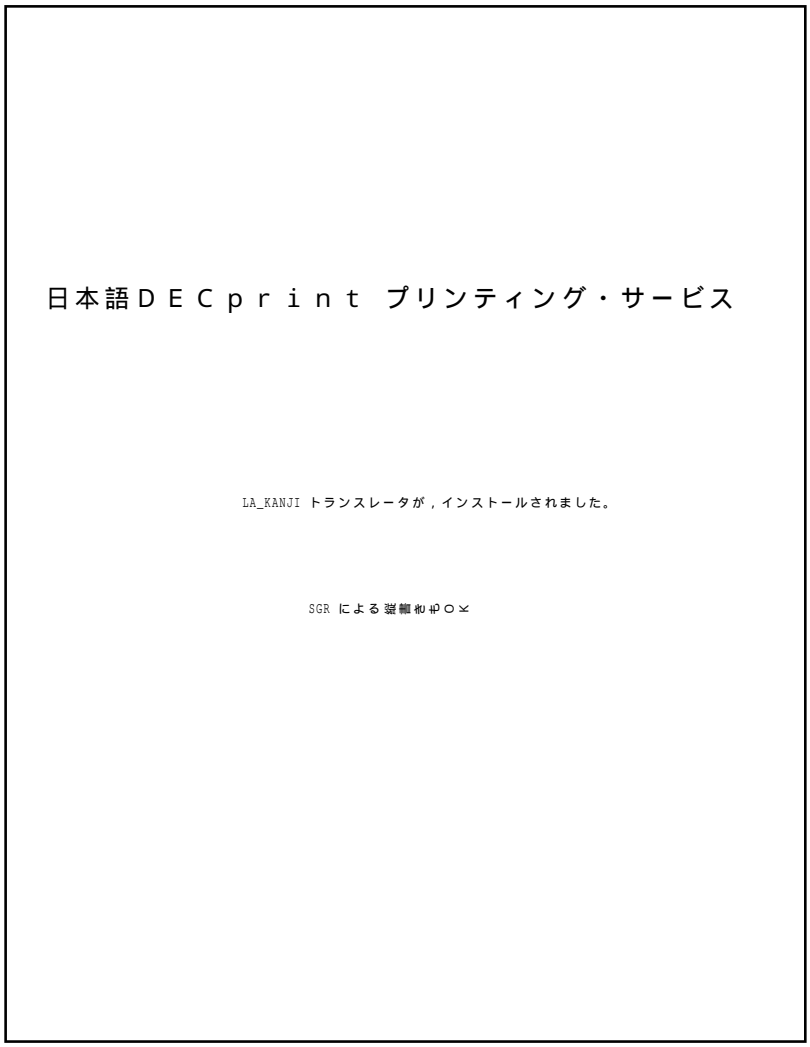
図 C–5　　IVP 出力のプリント・アウト —KANJI78 データ・ページ (2 ページ目)

○ 第１水準と第２水準の位置が交換された漢字（２２組４４文字）

鯵(16-19) ←→ 鰺(82-45)
鴛(18-09) ←→ 鵞(82-84)
蠅(19-34) ←→ 蛎(73-58)
攪(19-41) ←→ 撹(57-88)
竈(19-86) ←→ 竃(67-62)
灌(20-35) ←→ 潅(62-85)
諫(20-50) ←→ 諌(75-61)
頴(23-59) ←→ 頚(80-84)
礦(25-60) ←→ 砿(66-72)
薬(28-41) ←→ 葯(73-02)
靱(31-57) ←→ 靭(80-55)
賤(33-08) ←→ 賎(76-45)
壺(36-59) ←→ 壷(52-68)
礪(37-55) ←→ 砺(66-74)
橋(37-78) ←→ 栴(59-77)
濤(37-83) ←→ 涛(62-25)
遷(38-86) ←→ 迩(77-78)
蝿(39-72) ←→ 蠅(74-04)
槍(41-16) ←→ 桧(59-56)
儘(43-89) ←→ 侭(48-54)
數(44-89) ←→ 薮(73-14)
龍(47-22) ←→ 竜(68-38)

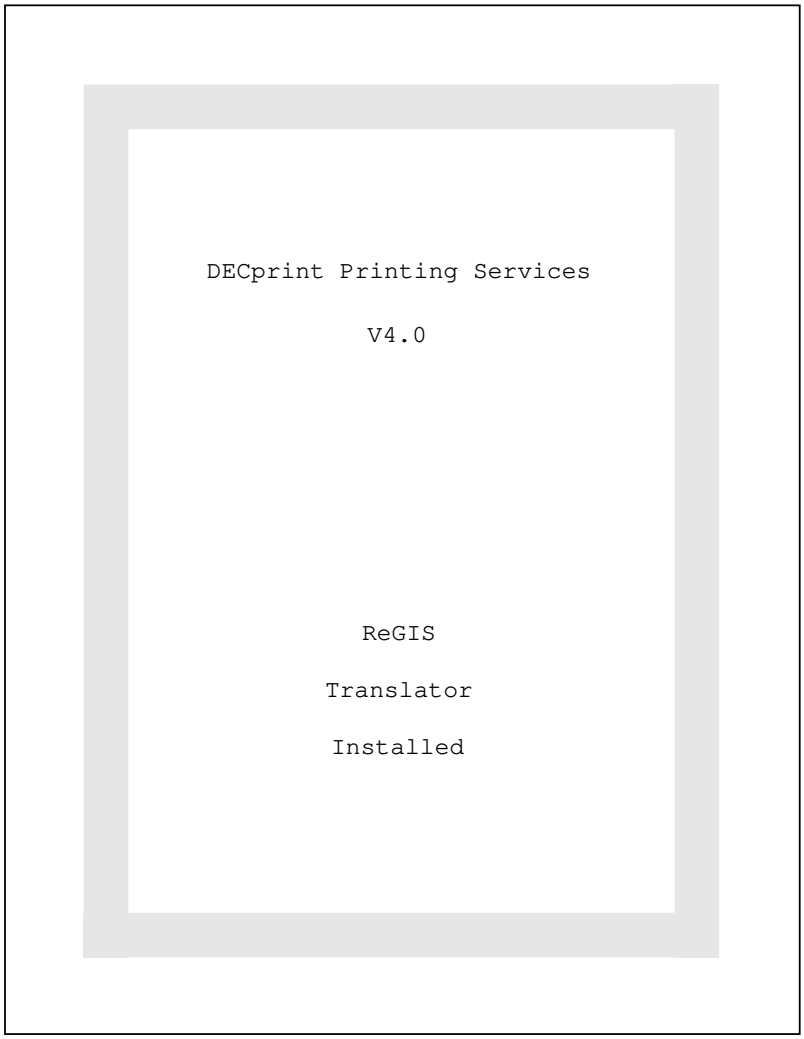
JRD-U0009

図 C–6　　IVP 出力のプリント・アウト —LA_KANJI データ・ページ



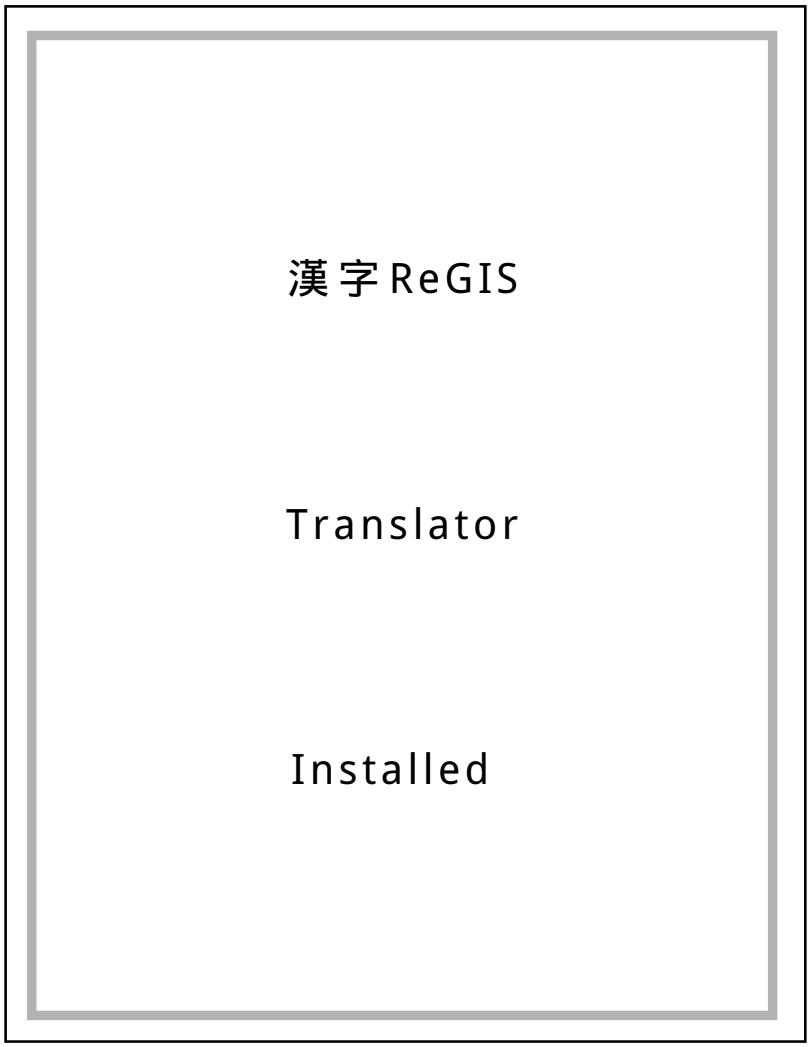
JRD-U0010

図 C–7　　IVP 出力のプリント・アウト —ReGIS データ・ページ



MLO-005406

図 C–8　　IVP 出力のプリント・アウト —ReGIS_KANJI データ・ページ

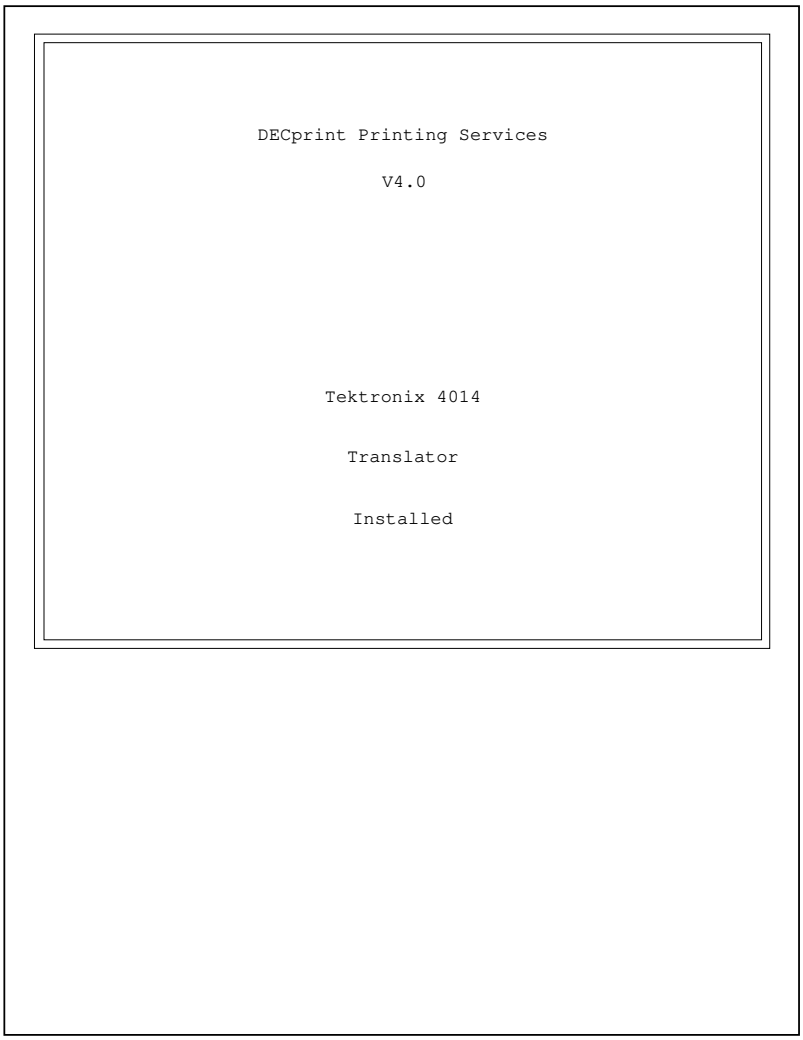


JRD-U0011

図 C–9　　IVP 出力のプリント・アウト —ReGIS_KANJI80 データ・ページ

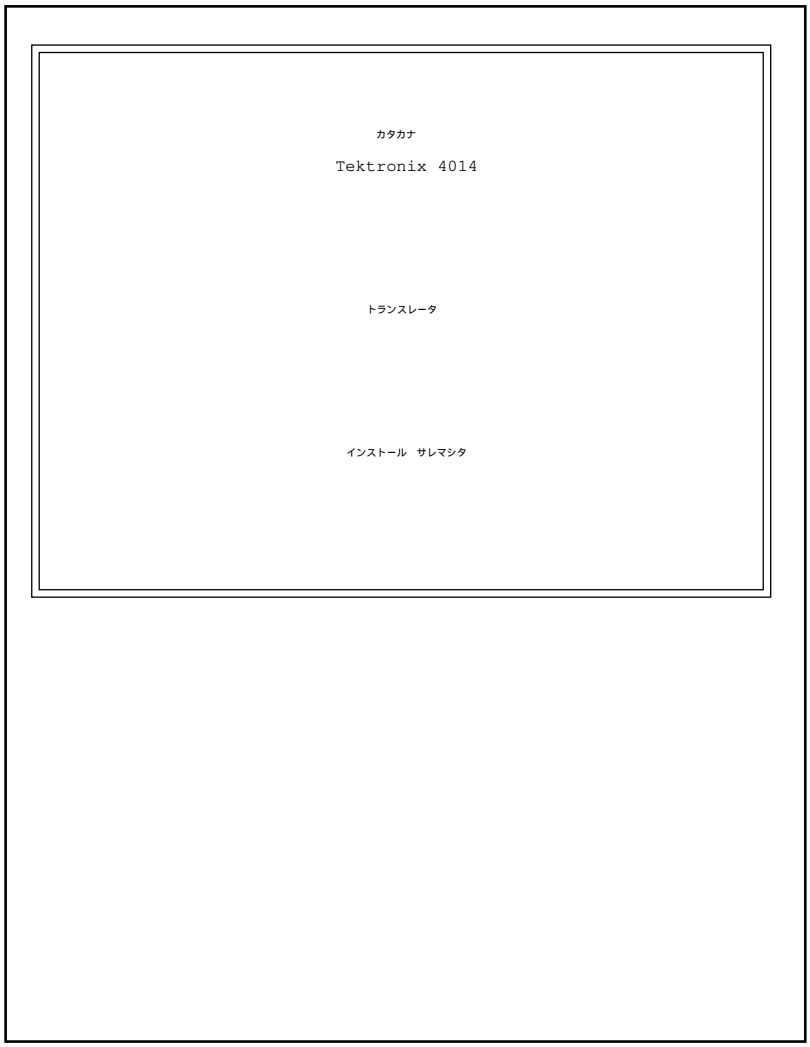
JRD-U0012

図 C–10　　IVP 出力のプリント・アウト —TEK4014 データ・ページ



MLO-005407

図 C–11　　IVP 出力のプリント・アウト —TEK_KANA データ・ページ



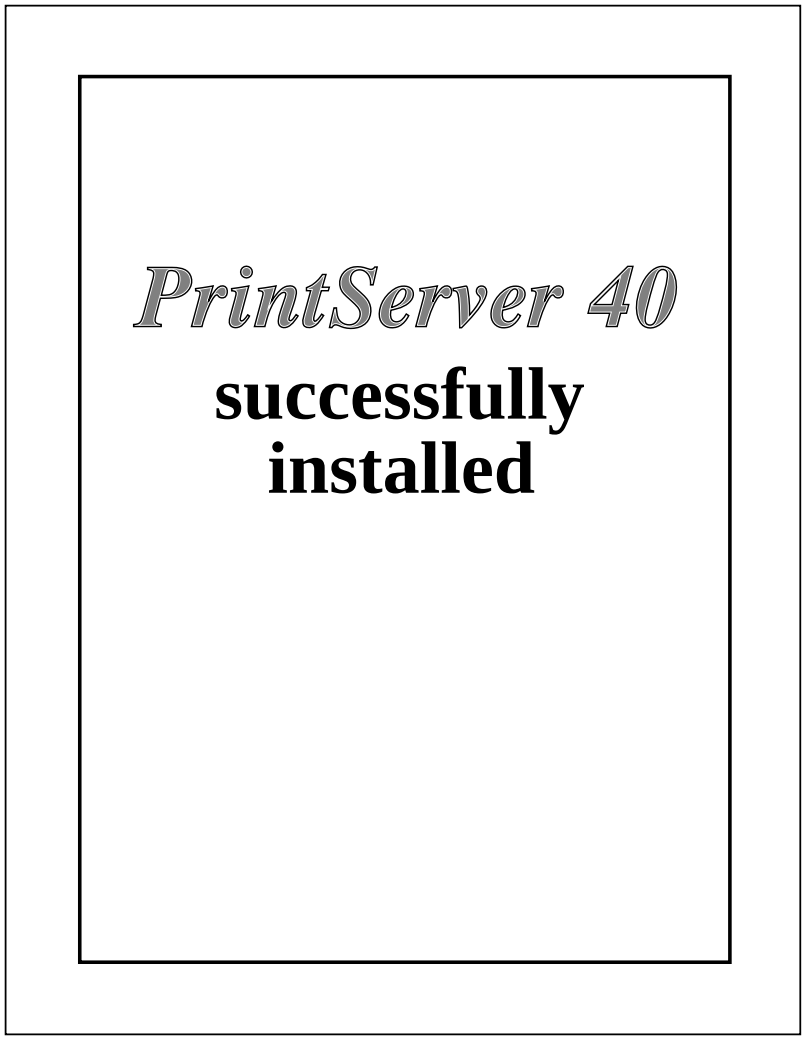
JRD-U0013

図 C–12 は PostScript データ構文のテスト・ファイルのプリント・アウトです。この IVP テスト・ファイルにはプリンタ・モデル名が含まれています。したがって，このページの実際のプリント・アウトは，各プリンタ・モデルに応じて異なります。

このファイルは以下のコマンドを使用して印刷できます。

```
$PRINT/QUEUE=queue-name/PARAMETERS=(DATA_TYPE=POSTSCRIPT)/NOTIFY -
SYS$COMMON:[SYSTEST.CPS]CPS$IVP_POST.DAT
```

図 C–12　　IVP 出力のプリント・アウト —PostScript



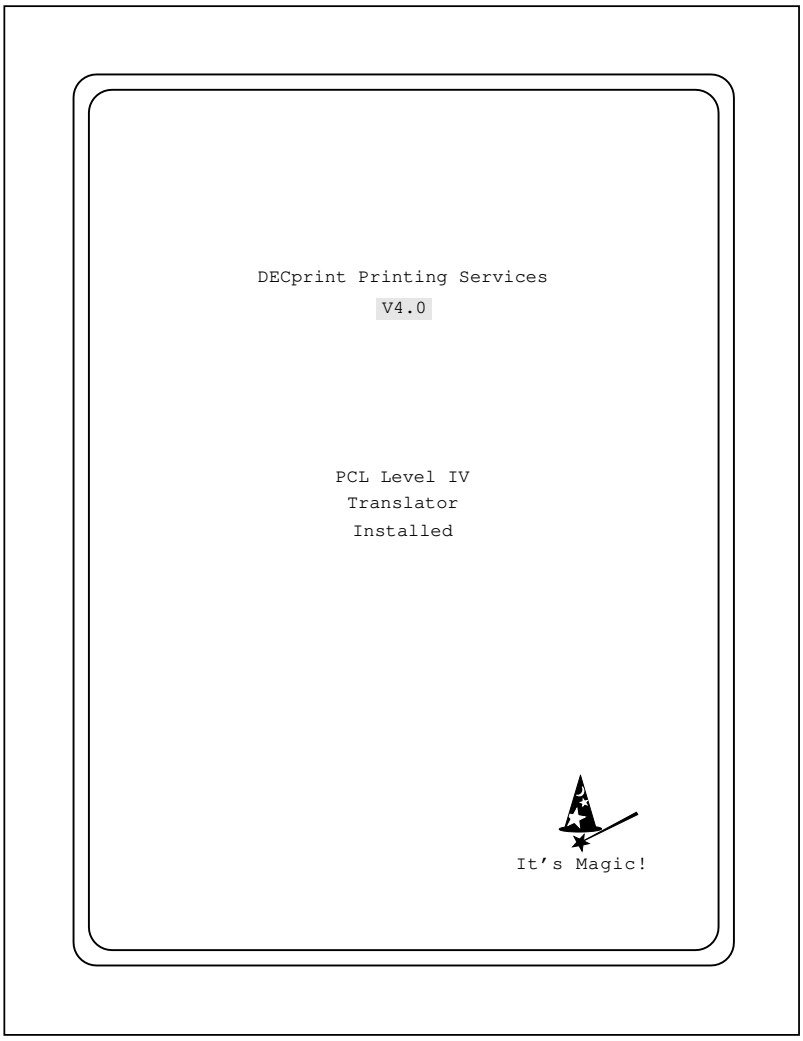
MLO-005408

図 C–13 は Hewlett-Packard Corporation の PCL データ構文のテスト・ファイルのプリント・アウトです。

このファイルは以下のコマンドを使用して印刷できます。

```
$PRINT/QUEUE=queue-name/PARAMETERS=(DATA_TYPE=PCL)/NOTIFY -
SYS$COMMON:[SYSTEST.CPS]CPS$IVP_PCL.DAT
```

図 C–13　　IVP 出力のプリント・アウト —HP PCL



MLO-005588

D

新しいファイルとライブラリ

日本語 DECprint プリンティング・サービスをインストールする場合，新しいファイルとライブラリがシステムに追加されます。この付録では以下のファイルを示します。

- インストール中に追加される新しいファイル，第 D.1 節
- 新しい装置制御ライブラリ，第 D.2 節
- PrintServer クライアント・ソフトウェアをアップグレードするときに削除しなければならないファイル，第 D.3 節

D.1 新しいファイル

ScriptPrinter，バージョン 2.1 からアップグレードされるプリント・システムを除き，他のプリント・システムを使用する場合には，表 D–1 に示すファイルがインストレーション・プロシージャで指定されたディレクトリに追加されます。

表 D–1　新しいファイル

ファイル名	ディレクトリ
CPS$SMB.EXE	SYS$SYSTEM
CPS$MSG.EXE	SYS$MESSAGE
CPS$DEVCTL.TLB	SYS$LIBRARY
CPS$EXECUTION_QUEUE.COM	SYS$STARTUP
CPS$GENERIC_QUEUE.COM	SYS$STARTUP
CPS$REQUIRED.COM	SYS$STARTUP

(次ページに続く)

表 D–1 (続き)　新しいファイル

ファイル名	ディレクトリ
CPS$STARTUP.TEMPLATE	SYS$STARTUP
TRN$DECKANJI_PS.EXE	SYS$SHARE
TRN$ANSI_PS.EXE	SYS$SHARE
TRN$DDIF_PS.EXE	SYS$SHARE
TRN$REGIS_PS.EXE	SYS$SHARE
TRN$REGIS_KANJI_PS.EXE	SYS$SHARE
TRN$REGIS_KANJI80_PS.EXE	SYS$SHARE
TRN$TEK4014_PS.EXE	SYS$SHARE
TRN$TEK_KANA_PS.EXE	SYS$SHARE
TRN$PCL_PS.EXE	SYS$SHARE
CPSJ040.RELEASE_NOTES	SYS$HELP
CPS$IVP.COM	SYS$COMMON:[SYSTEST]
CPS$IVP_ANSI.DAT	SYS$COMMON:[SYSTEST.CPS]
CPS$IVP_KANJI.DAT	SYS$COMMON:[SYSTEST.CPS]
CPS$IVP_KANJI78.DAT	SYS$COMMON:[SYSTEST.CPS]
CPS$IVP_LA_KANJI.DAT	SYS$COMMON:[SYSTEST.CPS]
CPS$IVP_REGIS.DAT	SYS$COMMON:[SYSTEST.CPS]
CPS$IVP_REGIS_KANJI.DAT	SYS$COMMON:[SYSTEST.CPS]
CPS$IVP_REGIS_KANJI80.DAT	SYS$COMMON:[SYSTEST.CPS]
CPS$IVP_TEK4014.DAT	SYS$COMMON:[SYSTEST.CPS]
CPS$IVP_TEK_KANA.DAT	SYS$COMMON:[SYSTEST.CPS]
CPS$IVP_POST.DAT	SYS$COMMON:[SYSTEST.CPS]
CPS$IVP_PCL.DAT	SYS$COMMON:[SYSTEST.CPS]
LPS$KANJI_TABLE.PS	SYS$EXAMPLES
TRN$KANJI_CONVERT.FDL	SYS$COMMON:[SYSHLP.EXAMPLES.CPS]
LPS$SINGLEHOLES.LUP	SYS$COMMON:[SYSHLP.EXAMPLES.CPS]
LPS$DOUBLEHOLES.LUP	SYS$COMMON:[SYSHLP.EXAMPLES.CPS]
LPS$HOLES.LUP	SYS$COMMON:[SYSHLP.EXAMPLES.CPS]
LPS$NUP.LUP	SYS$COMMON:[SYSHLP.EXAMPLES.CPS]
LPS$LN82RMARGIN.LUP	SYS$COMMON:[SYSHLP.EXAMPLES.CPS]

(次ページに続く)

表 D–1 (続き)　新しいファイル

ファイル名	ディレクトリ
COLOR-PRINTER-FULL-PAGE.LUP	SYS$COMMON:[SYSHLP.EXAMPLES.CPS]
CPS$COMMON-PORT-SETTING.COM	SYS$COMMON:[SYSHLP.EXAMPLES.CPS]
CPS$CONFIG-PRINTER-PORT.COM	SYS$COMMON:[SYSHLP.EXAMPLES.CPS]
CPS$DS100-PORT-SETTINGS.COM	SYS$COMMON:[SYSHLP.EXAMPLES.CPS]
CPS$DS200-PORT-SETTINGS.COM	SYS$COMMON:[SYSHLP.EXAMPLES.CPS]
CPS$DS500-PORT-SETTINGS.COM	SYS$COMMON:[SYSHLP.EXAMPLES.CPS]
CPS$GET-DS100-PORT-GROUPS.COM	SYS$COMMON:[SYSHLP.EXAMPLES.CPS]
CPS$SET-DS-GROUPS.COM	SYS$COMMON:[SYSHLP.EXAMPLES.CPS]
CPS$SET-DS100-GROUPS.COM	SYS$COMMON:[SYSHLP.EXAMPLES.CPS]
CPS$SAVE-DS500-PORT.COM	SYS$COMMON:[SYSHLP.EXAMPLES.CPS]
LPS$STATUSDICT.PS	SYS$COMMON:[SYSHLP.EXAMPLES.CPS]
CPS$PAGE_COUNT.PS	SYS$COMMON:[SYSHLP.EXAMPLES.CPS]
CPS$DELETE-LPS-CLIENT.COM	SYS$COMMON:[SYSUPD]
LPS$SET_TIMEOUT.PS	SYS$MANAGER
LPS$SET_PRINTER_NAME.PS	SYS$MANAGER
CPS$USERSTART.PS	SYS$MANAGER
LPS_MAKERESFILE.EXE	SYS$COMMON:[SYSHLP.EXAMPLES.CPS]
LPS_MAKERES.COM	SYS$COMMON:[SYSHLP.EXAMPLES.CPS]
LPS_DECKANJI_PROLOGUE.PS	SYS$COMMON:[SYSHLP.EXAMPLES.CPS]
ALL-IN-1 互換キット用オプション・ファイル	
PS-PRINTING-ALL-IN-1-COMPAT.SAV	SYS$COMMON:[SYSHLP.EXAMPLES.CPS]
PS-PRINTING-ALL-IN-1-COMPAT.TXT	SYS$COMMON:[SYSHLP.EXAMPLES.CPS]

このインストレーションの結果として，システム・ヘルプ・ライブラリも変更されています。

D.2　装置制御ライブラリ

日本語 DECprint プリンティング・サービス・ソフトウェア・ディストリビューション・キットに含まれている装置制御ライブラリには，PostScript プリンタの操作を定義するために使用される PostScript モジュールが登録されています。このライブラリ (CPS$DEVCTL.TLB) は，SYS$LIBRARY として定義された SYS$COMMON:[SYSLIB]ディレクトリに登録されています。このライブラリには以下のモジュールが登録されています。

- LPS$$CHECKPROLOGUE

- LPS$$COLORMATEPS_INITPSDEVICE
- LPS$$COLORMATEPS_SETINPUTTRAY
- LPS$$COLORMATEPS_SETOUTPUTTRAY
- LPS$$COLORPRINTER_SETCONTEXT
- LPS$$EXITSERVERLOOP
- LPS$$FLUSHPAGES
- LPS$$GETSHEETCOUNT
- LPS$$GETSHEETSIZE
- LPS$$LN03Q_INITPSDEVICE
- LPS$$LN03Q_LOADSERVER
- LPS$$LN03Q_SETPAPERSIZE
- LPS$$LN03R_INITPSDEVICE
- LPS$$LN03_SETCONTEXT
- LPS$$LN03_SETINPUTTRAY
- LPS$$LN03_SETOUTPUTTRAY
- LPS$$LN05R_SETINPUTTRAY
- LPS$$LN05R_SETOUTPUTTRAY
- LPS$$LN06R_SETINPUTTRAY
- LPS$$LN06R_SETOUTPUTTRAY
- LPS$$LNXX_INITPSDEVICE
- LPS$$LNXX_SETCONTEXT
- LPS$$LOADDICT
- LPS$$LPS_JOBJOG
- LPS$$LPS_SETCONTEXT
- LPS$$LPS_SETINPUTTRAY
- LPS$$LPS_SETOUTPUTTRAY
- LPS$$NEWSHEET
- LPS$$OCE_INITPSDEVICE
- LPS$$OCE_SETINPUTTRAY
- LPS$$OCE_SETOUTPUTTRAY

- LPS$$PRINTERTYPE
- LPS$$SETNUMBERUP
- LPS$$SETPAGELIMIT
- LPS$$SETPAGEORIENTATION
- LPS$$SETPAGESIZE
- LPS$$SETSHEETCOUNT
- LPS$$SETSHEETSIZE
- LPS$$SETSIDES
- LPS$$SYSTEMPAGES
- LPS$$VMSTATUS
- LPS$DECMCSENCODING
- LPS$ERRORHANDLER
- LPS$FINDFONT_ISOLATIN1_DECMCS_V40
- LPS$ISOLATIN1ENCODING
- LPS$NOGOTHIC
- LPS$STATUSDICT
- LPS$DECFONT_FALLBACK

D.3 PrintServer ソフトウェア・アップグレード・プロシージャのためのファイル

PrintServer のみ

VAX 日本語プリントサーバ クライアント V3.2 をインストールした結果として，以下のファイルが準備されますが，日本語 DECprint プリンティング・サービスをインストールした後，これらのファイルは削除することができます。

表 D–2　削除できる PrintServer クライアント・ファイル

ファイル名	ディレクトリ
LPS$SMB.EXE	SYS$SYSTEM
LPS$MSG.EXE	SYS$MESSAGE
LPS$DEVCTL.TLB	SYS$SHARE

(次ページに続く)

表 D–2 (続き)　削除できる PrintServer クライアント・ファイル

ファイル名	ディレクトリ
LPS$STARTUP.COM	SYS$MANAGER または SYS$STARTUP
TRN$KANJI_PS.EXE	SYS$SHARE
TRN$KANJI78_PS.EXE	SYS$SHARE
TRN$LA_KANJI_PS.EXE	SYS$SHARE
TRN$LAYUPDEF_PS.EXE	SYS$SHARE
LPS$FONT_METRICS.TLB	SYS$SHARE
LPSVCJ032.RELEASE_NOTES	SYS$HELP
LPS$IVP.COM	SYS$SYSROOT:[SYSTEST]
LPS$IVP_ANSI.DAT	SYS$SYSROOT:[SYSTEST.LPSVC]
LPS$IVP_REGIS.DAT	SYS$SYSROOT:[SYSTEST.LPSVC]
LPS$IVP_TEK4014.DAT	SYS$SYSROOT:[SYSTEST.LPSVC]
LPS$IVP_KANJI.DAT	SYS$SYSROOT:[SYSTEST.LPSVC]
LPS$IVP_KANJI78.DAT	SYS$SYSROOT:[SYSTEST.LPSVC]
LPS$IVP_LA_KANJI.DAT	SYS$SYSROOT:[SYSTEST.LPSVC]
LPS$IVP_REGIS_KANJI.DAT	SYS$SYSROOT:[SYSTEST.LPSVC]
LPS$IVP_REGIS_KANJI80.DAT	SYS$SYSROOT:[SYSTEST.LPSVC]
LPS$IVP_TEK_KANA.DAT	SYS$SYSROOT:[SYSTEST.LPSVC]
LPS$IVP_LAYUPDEF.DAT	SYS$SYSROOT:[SYSTEST.LPSVC]

以下のファイルは，PrintServer クライアント・ソフトウェアと日本語 DECprint プリンティング・サービスの両方に共通です。これらのファイルは削除しないでください。

表 D–3　削除できない PrintServer クライアント・ファイル

File Name	Directory
TRN$ANSI_PS.EXE	SYS$SHARE
TRN$REGIS_PS.EXE	SYS$SHARE
TRN$TEK4014_PS.EXE	SYS$SHARE
TRN$REGIS_KANJI_PS.EXE	SYS$SHARE
TRN$REGIS_KANJI80_PS.EXE	SYS$SHARE

(次ページに続く)

表 D–3 (続き)　削除できない PrintServer クライアント・ファイル

File Name	Directory
TRN$TEK_KANA_PS.EXE	SYS$SHARE
LPS$SINGLEHOLES.LUP	LPS$LAYUP
LPS$DOUBLEHOLES.LUP	LPS$LAYUP
LPS$HOLES.LUP	LPS$LAYUP
LPS$NUP.LUP	LPS$LAYUP

E

システム・メッセージ

本章では，日本語 DECprint プリンティング・サービス・メッセージを示します。

- メッセージの概要，第 E.1 節
- プリント・ジョブ・メッセージ，第 E.2 節

E.1 システム・メッセージの概要

日本語 DECprint プリンティング・サービス・メッセージは，そのメッセージがどこに送られるかに応じて 2 種類に分類されます。送信先はホスト・システム・オペレータまたはユーザです。

ユーザ・メッセージを受信するには，PRINT コマンドで/NOTIFY 修飾子を指定します。メッセージはユーザの印刷要求に対して送信されるか，または印刷要求に影響を与えるシステム条件に対応して送信されます。

オペレータ・メッセージを受信するには，OPER(オペレータ) 特権が必要であり，REPLY/ENABLE= PRINTER コマンドを実行しなければなりません。その後，ホスト・システムに適用されるオペレータ・メッセージを受信できるようになります。

注意 確実にオペレータ・メッセージを受信するには，OPCOM を起動します。以下のコマンドを実行して，OPCOM を起動します。

```
$  @SYS$SYSTEM:STARTUP OPCOM
```

OPCOM は，REPLY/ENABLE=PRINTER コマンドを実行する前に起動してください。

E.1.1　メッセージの形式

日本語 DECprint プリンティング・サービス・システム・メッセージは，以下のいずれかの形式です。

%fac-s-ident, text
-fac-s-ident, text

コード	意味
fac	機能コード: 日本語 DECprint プリンティング・サービスの場合は CPS または LPS
%	すべての基本メッセージに対する接頭辞
–	すべての継続メッセージに対する接頭辞
s	メッセージの重大度
ident	メッセージ・テキストの短縮形
text	メッセージを展開したテキスト

E.1.2　重大度レベル

日本語 DECprint プリンティング・サービスのシステム・メッセージの重大度レベルは，以下のとおりです。

コード	意味	説明
S	正常終了	要求は正常終了した。
I	情報	ユーザの処置が必要な場合と，必要でない場合がある。
W	警告	要求は正常終了していない可能性があり，ユーザの処置が必要かもしれない。
E	エラー	システムが回復可能なエラーを検出した。
F	回復不可能	システムが回復不可能なエラーを検出し，この要求の処理を継続できない。

E.2　メッセージの説明

この後のメッセージの説明は，メッセージ・コードの*ident*の部分のアルファベット順になっています。メッセージ接頭辞，機能コード，重大度コードは示されていません。機能コードが CPS/LPS 以外の場合には，そのメッセージについて，「VAX/VMS System Messages and Recovery Procedures Reference Manual」を参照してください。

ユーザの処置で SPR(ソフトウェア・パフォーマンス・レポート) の提出が要求されている場合には，その方法について，「Introduction to VMS System Management」を参照してください。

ACTIVE, The following processes are still active:

説明: VMSINSTAL がシステムで実行中の他のプロセスを検出しました。これらのプロセスは，このメッセージの後の行に表示されます。他のプロセスが実行されている場合には， VMSINSTAL は何らかの妨害を受ける可能性があります。

ユーザの処置: VMSINSTAL を終了し，必要に応じて他のプロセスをログアウトするようにしてください。

BADSPEC, File spec AI1TXT cannot be parsed

説明: ALL-IN-1 互換性キットを使用するには，PS-PRINTING-ALL-IN-1-COMPAT.TXT ファイルが必要です。しかし，このファイルが存在しません。

ユーザの処置: VMSINSTAL プロシージャが終了した後，適切なディスク容量を準備し，すべてのプロダクト・セーブセットを回復してください。その後，インストレーション・プロシージャを再開します。

CLEANING_UP, Restoring system and network, DO NOT USE CTRL/Y.

説明: 障害が発生するまでに変更されたシステム・パラメータはもとの値に復元されつつあります。

ユーザの処置: Ctrl/Y を使用しないでください。この制御シーケンスを使用すると，システム・パラメータの完全な回復が妨害されます。

DECNET, Your DECnet network is up and running.

説明: DECnet ネットワーク・ソフトウェアが起動され，システムで実行されている状態です。

ユーザの処置: 処置は必要ありません。

EXISTS, *directory* already exists

説明: VMSINSTAL プロシージャは，ディストリビューション・メディアから回復された日本語 DECprint プリンティング・サービス・ソフトウェアのために，適切なディスク・ディレクトリを作成します。このメッセージは，適切なディスク・ディレクトリがすでに定義されていることを示します。

ユーザの処置: 処置は必要ありません。

INSNPAGEVIR, NPAGEVIR *current-npagevir* insufficient, need at least *required-npagevir*

説明: *NPAGEVIR*が不十分な値です。この値では，LN03 イメージ・プリンタは動作できません。

ユーザの処置: SYSGEN を使用して，NPAGEVIR の値を*required-npagevir*によって示される値に変更し，システムを再ブートしてください。

INSPAGEDYN, PAGEDYN *current-pagedyn* insufficient, need at least *required-pagedyn*

説明: *PAGEDYN*が不十分な値です。この値では，LN03 イメージ・プリンタは動作できません。

ユーザの処置: SYSGEN を使用して，PAGEDYN の値を*required-pagedyn*によって示される値に変更し，システムを再ブートしてください。

INSPROCSECTCNT, PROCSECTCNT *current-procsectcnt* insufficient, need at least *required-procsectcnt*

説明: *PROCSECTCNT*が不十分な値です。この値では，LN03 イメージ・プリンタは動作できません。

ユーザの処置: SYSGEN を使用して，PROCSECTCNT の値を*required-procsectcnt*によって示される値に変更し，システムを再ブートしてください。

INSVIRTUALPAGECNT, VIRTUALPAGECNT *current-virtualpagecnt* insufficient, need at least *required-virtualpagecnt*

説明: *VIRTUALPAGECNT*が不十分な値です。この値では，LN03 イメージ・プリンタは動作できません。

ユーザの処置: SYSGEN を使用して，VIRTUALPAGECNT の値を*required-virtualpagecnt*によって示される値に変更し，システムを再ブートしてください。

INSWSMAX, WSMAX *current-wsmax* insufficient, need at least *required-wsmax*

説明: *WSMAX*が不十分な値です。この値では，LN03 イメージ・プリンタは動作できません。

ユーザの処置: SYSGEN を使用して，WSMAX の値を*required-wsmax*によって示される値に変更し，システムを再ブートしてください。

INVRES, Invalid response, please type YES or NO.

説明: このプロンプトに対して指定できる応答は YES と NO だけです。他の応答を入力した場合には，このメッセージが表示されます。

ユーザの処置: YES または NO を入力してください。

IVLOGNAM, invalid logical name

説明: VMSINSTAL を起動するためのコマンド行で，*device-id*に対して誤った論理名が指定されています。

ユーザの処置: このメッセージが表示されると， VMSINSTAL プロシージャは終了します。 VMSINSTAL コマンド行に指定した論理名を確認し，適切な*device-id*を使用するようにしてください。

IVP, Beginning IVP...

説明: VMSINSTAL はソフトウェア・インストレーションを確認するために，インストレーション検証プロシージャ (IVP) を実行しています。

ユーザの処置: 処置は必要ありません。

LAYUPDEF, This installation will use its value

説明: インストレーションは LPS$LAYUP に対して既存の論理名を使用します。

ユーザの処置: 処置は必要ありません。これは単なる情報メッセージです。

MOVEFILES, Files will now be moved to their target directories . . .

説明: VMSINSTAL プロシージャはディストリビューション・メディアのソフトウェアを適切なディスク・ディレクトリにコピーしています。

ユーザの処置: 処置は必要ありません。

NOFILE, New file *file-name* does not exist

説明: ディストリビューション・メディア内の*file-name*は適切なディスク・ディレクトリに復元されていません。

ユーザの処置: 前のエラーの結果として，必要なファイルをディスク・ディレクトリにコピーできないことがあります。その場合には， VMSINSTAL を終了し，問題の原因を修正してください。その後， VMSINSTAL を再度実行し，脱落しているファイルを入手してください。

NO_QUEMAN, This product requires the queue management facility to install.

説明: キュー・マネージャを見つけることができませんでした。インストレーション・プロシージャは強制終了されます。

ユーザの処置: キュー・マネージャを起動してください。詳しい説明は，「VAX/VMS System Manager's Reference Manual」または「Guide to Maintaining a VMS System」を参照してください。

NOQUEMGR, IVP will NOT be run. Installation continuing . . .

説明: キュー・マネージャがシステムで実行されていません。インストレーション操作は継続されますが，インストレーション検証プロシージャを実行することはできません。

ユーザの処置: VMSINSTAL を再実行することにより，IVP をテストするか，またはソフトウェアをインストールした後，PRINT コマンドでファイルをキューに登録してください (第 3.5 節を参照)。

NOQUES, No further questions will be asked

説明: VMSINSTAL プロシージャはこの時点から，ターミナル入力を要求せずに終了します。

ユーザの処置: 処置は必要ありません。

NOSAVESET, Saveset *n* cannot be restored.

説明: *n*によって示されるセーブセットをディスクに復元できません。

ユーザの処置: このメッセージの他に，この問題の原因を説明するメッセージも表示されます。ディスク容量が不十分な場合には，VMSINSTAL プロシージャは異常終了します。このプロダクトをインストールするために，十分なディスク容量が残されているかどうかを確認した後，VMSINSTAL プロシージャを再度起動してください。

NO_SPACE, This product requires *decimal-number* blocks of disk space to install.

説明: このソフトウェアをインストールするために必要な未使用ディスク・ブロックが不十分です。インストレーション・プロシージャは強制終了されます。

ユーザの処置: 少なくとも指定された数の未使用ディスク・ブロックが存在するかどうかを確認した後，インストレーションを再起動してください。

NOTSYSTEM, You are not logged in to the SYSTEM account.

説明: SYSTEM 特権を持たないプロセスから VMSINSTAL が実行されています。

ユーザの処置: SYSTEM 特権がない場合には，インストレーション・プロセスでファイルの所有権に関して問題が発生することがあります。その場合には， VMSINSTAL を終了し，次に VMSINSTAL を実行する前に， SYSTEM アカウントにログインしてください。

OPENOUT, error opening *file-spec* as output

説明: ディストリビューション・メディアからディスクにファイルを回復できません。

ユーザの処置: このメッセージの前に， VMSINSTAL プロシージャで問題が発生したことを示すメッセージが表示されます。 VMSINSTAL プロシージャを終了した後，ディスク容量クォータを調べ，ディストリビューション・メディアのソフトウェアを回復するために，十分なディスク容量が残されているかどうかを確認してください。この条件が満足される場合には， VMSINSTAL を再度実行してください。

RELMOVED, The product's release notes have been successfully moved to SYS$HELP.

説明: このソフトウェアのリリース・ノートは SYS$HELP にすでに移動されました。

ユーザの処置: 処置は必要ありません。

RESTORE, Restoring product saveset *n*

説明: VMSINSTAL はディストリビューション・メディアからソフトウェアの回復操作を開始しました。

ユーザの処置: 処置は必要ありません。

SYSDIR, This product creates system disk directory *directory*.

説明: VMSINSTAL はソフトウェアを回復するために，指定されたディレクトリを作成しました。

ユーザの処置: 処置は必要ありません。

UNEXPECTED, Installation terminated due to unexpected event.

説明: 問題が発生したために，VMSINSTAL プロシージャが終了しました。このメッセージの原因はおそらく，VMSINSTAL プロシージャからこの前に出力されたメッセージによって示されます。

ユーザの処置: エラーの原因を判断し，問題を修正してください。ソフトウェアを回復するための十分なディスク空間が残されているかどうかを確認してください。その後，VMSINSTAL を再度実行し，ソフトウェアをインストールします。

索引

C

CPS$STARTUP
　変更,　5–2
　編集,　5–2

D

DECserver
　ターミナル・サーバ,　4–11
　プリンタで必要とされるポートの属性,　4–12
DIP スイッチ通信設定
　省略時の設定,　4–2
　省略時の設定の変更,　4–3

E

Ethernet の使用, シリアル・プリンタ,　4–11

L

LAT スタートアップ・ファイル,　4–11
LAT プロトコル, 編集,　4–14
LN03R
　ScriptPrinter,　1–8
LN03 イメージ・プリンタ
　SYSGEN パラメータ,　4–8
　概要,　1–6
LN03 イメージプリンタ
　必要なソフトウェア,　2–3
LPS$STARTUP.COM,　5–16
LPS$LAYUP の論理名定義,　3–6

O

/ON 修飾子,　5–7

P

Printer
　キュー,　5–1
PRINT コマンド
　/NOTIFY 修飾子,　E–1

S

ScriptPrinter
　通信
　　設定, 判断,　4–2
　　速度，変更,　4–2
START/QUEUE/MANAGER コマンド,　5–2
SYSGEN パラメータ, 調整,　4–8

V

VMSINSTAL
　インストレーション時の質問,　3–3 ~ 3–9
　表記法,　3–2

ア

新しいファイルとライブラリ, D–1
アップグレード・プロシージャ, 3–10

イ

インストレーション・プロシージャ
セッションの例, A–1
イメージ・プリンタ, 概要, 1–6
インストレーション・プロシージャ
メッセージ (メッセージを参照)
インストレーション検証からの出力, C–1
インストレーション後の作業
プリンタ・スタートアップ・ファイル, 5–2
インストレーション中に追加される新しいファイル, D–1
インストレーション中に追加されるライブラリ, D–3
インストレーションのための準備, 2–1
ソフトウェア, 2–3
ハードウェア, 2–1
インストレーション・プロシージャ
質問, 3–3 ~ 3–9
中に追加されるファイル, D–1
中に追加されるライブラリ, D–3

カ

カスタマイズされた装置制御モジュール, 5–6
カスタム装置制御モジュール, 5–6

キ

キュー
プリント・キュー
キュー構造
実行キューの定義, 5–6
キュー論理名
パラメータ
優先順位, 5–14
キュー論理名
再設定, 5–12
省略時の設定, 5–12
キュー論理名 (続き)
パラメータ
構文, 5–13

サ

再インストレーションのための準備, 3–10

シ

ジェネリック・キュー, 5–2
定義, 5–10
例, 5–11
ジェネリック・キューの設定, 5–10
実行キュー, 5–1, 5–6
/ON 修飾子の定義, 5–7
例, 5–8
システム・メッセージ
メッセージを参照
システム・スタートアップ・ファイル，編集, 3–10
使用できるプリンタ, 1–1
省略時のキュー修飾子, 5–15
省略時の修飾子の変更, 5–15
ジョブ・キュー・マネジャー
起動, 5–2
シリアル・プリンタ
Ethernet 上での使用, 4–11

ス

スタートアップ・ファイル
ジェネリック・キューの定義, 5–10
実行キューの定義, 5–6
のライブラリ・サーチ・リスト, 5–5

ソ

装置名の指定, 5–7
ソフトウェア
機能, 1–2
ソフトウェア
ディストリビューション・キット, 2–3

ツ

通信設定, ScriptPrinter のための,　4–2

ヒ

必要なディスク空間,　3–2

フ

プリンタ
　必要なソフトウェア,　2–3
　必要なハードウェア,　2–1
プリンタ・スタートアップ・ファイル,　5–2
プリンタ・パスワードの変更,　4–9
プリンタ名
　設定の方法,　4–9
プリント・キュー
　パラメータ
　　省略時の設定,　5–14
プリント・キュー
　コマンド,　5–2
　ジェネリック,　5–2
　実行,　5–1
　省略時の設定の変更,　5–12
　パラメータ
　　構文,　5–13
　　構文エラー,　5–13

ヘ

変更
　省略時のキュー修飾子,　5–15
　省略時のキュー・パラメータ,　5–12

ホ

ポートの属性,　4–12
ボー・レートに関する制約事項,　4–2

メ

メッセージ,　E–1
　PRINT/NOTIFY コマンド,　E–1
　オペレータ,　E–1
　形式,　E–2
　重大度レベル,　E–2
　説明,　E–2 ~ E–8

ラ

ライブラリ・サーチ・リストの定義,　5–5

日本語 DECprint プリンティング・サービス/VMS
ソフトウェア・インストレーション・ガイド

１９９１年３月 初版 発行
日本ディジタルイクイップメント 株式会社
〒 170 東京都豊島区東池袋 3-1-1 サンシャイン 60 35 階
電話 (03)3989-7111 (大代表)

AA-B681A-TE-JO